

公田東 Ⅰ区1号周溝墓(4)

番号	種類・形制	出土位置	残存状態	計測値(cm)	胎土・焼成・色調	特徴・その他
P-25	土師器 底部穿孔小型 甕	№83周溝部	残存1/3残 存	残存高10.7 体部最大径(14. 9) 底径(5.0)	◎砂粒を多く含む。 ◎不良 ◎にぶい黄 褐色10YR7/3	体部はわずかに偏球形をなし、底部は焼成前の穿孔。 体部外面撫で、器面やや厚縁、内面撫で、輪襷み痕明 瞭。
P-26	土師器 底部穿孔小型 甕	№39周溝部 覆土	残存1/3残 存	残存高10.4 体部最大径 (13.6)	◎砂粒を多く含む。 ◎不良 ◎にぶい黄 色10YR6/3	体部は球形をなす。外面粗撫で、刷毛目を多く残す。 内面撫で、輪襷み痕明瞭。 P-23-26は整形にわずかの差があるが、器形が類 似した小型甕である。
P-27	土師器 甕	№81-№81- 2周溝部	ほぼ完形	器高32.8 口径15.8 体部最大径29.0 底径10.3	◎砂粒を多く含む。 ◎良好 ◎褐色7.5 YR7/6	口縁部は外傾して開き、肩部は厚縁する。頸部は丸く 屈曲。体部は球形で、底部は上げ蓋。口縁部外面縦位 の磨き、内面撫で。体部外面横位・斜位の磨き、内面 撫で。
P-28	土師器 底部穿孔型 甕	№23周溝部 覆土	ほぼ完形	器高40.3 口径16.4 体部最大径31.7 底径8.5	◎砂粒を多く含む。 ◎良好 ◎にぶい黄 色7.5YR7/4	口縁部は外反し端部は丸い。頸部は緩やかに括れる。 体部はやや長胴で、中に最大径をもつ。底部は上げ 蓋で焼成前の穿孔。口縁部内外両面撫で。口縁部一 部外面縦位の刷毛目、内面横位の刷毛目。体部内外面 撫で、刷毛目を多く残す。体部下端外面重削り。
P-29	土師器 底部穿孔型 甕	№82周溝部 覆土	ほぼ完形	器高39.1 口径16.0 体部最大径33.4 底径10.2	◎砂粒を多く含む。 ◎良好 ◎にぶい黄 色7.5YR7/4	口縁部は外反し端部は平直。頸部は「く」の字に屈曲。 体部はやや長胴で、中に最大径をもつ。底部は突出 する平蓋で、焼成前の穿孔。口縁部一部外面縦位の 刷毛目、内面横位・斜位の刷毛目。体部外面横位・斜 位の刷毛目、下平接合部横位の撫で。内面斜位の撫で、 一部に刷毛目を残す。部分的に輪襷み痕・接合痕を残 す。
P-30	陶形土製品 台状部側	周溝部北西 台状部側	尻部、左側 面一部欠損	長さ23.8 高さ11.6	◎砂粒を含む。 ◎良好 ◎にぶい黄 色7.5YR7/4	胴部中央、上下に径1.6cmの円孔が貫通する。尾は写 実的でなく円錐状に作る。頸部も短くちびしを作る のみである。両側は認められない。
P-31	弥生土器 甕か甕	公田東Ⅰ区 1号周溝基 盛土下	口縁部～頸 部片		◎砂粒を多く含む。 ◎不良 ◎灰黄褐色 10YR4/2	口縁部は外反して開き端部はわずかに内反する。頸部 は緩やかに括れる。内外面撫で調整。口縁部内外面 には単軸筋条体第6A類Rが施され、頸部には6条1 單位の左回り縷状文が施されている。1号周溝基盛土 下より出土した弥生土器は後期に属する東国東系(P -43・49を除く。)の土器と考えられる。
P-32	弥生土器 甕か甕	公田東Ⅰ区 1号周溝基 盛土下	口縁部片		◎砂粒を多く含む。 ◎不良 ◎灰黄褐色 10YR5/2	口縁部は外反して開き端部はわずかに内反し、上端に 刃みが増えられている。内外面撫で調整。外面に単軸 筋条体第1類Rが施されている。
P-33	弥生土器 高坏	公田東Ⅰ区 1号周溝基 盛土下	口縁部片		◎砂粒を多く含む。 ◎不良 ◎にぶい黄 褐色10YR7/3	口縁部は直線的に開く。内外面とも撫で調整。内外面 に単軸筋条第1類Rが施されている。
P-34	弥生土器 甕か甕	公田東Ⅰ区 1号周溝基 盛土下	口縁部片		◎砂粒を多く含む。 ◎良好 ◎にぶい黄 色7.5YR6/4	折り返し口縁で、内外面撫で調整。内外面に単軸筋条 体第1類Rが施されている。
P-35	弥生土器 甕か甕	公田東Ⅰ区 1号周溝基 盛土下	口縁部片		◎砂粒を多く含む。 ◎不良 ◎灰黄褐色 10YR5/2	折り返し口縁で、内外面撫で調整。口唇部に直前段反 折りR(R・R)が施されている。
P-36 ~38	弥生土器 甕か甕	公田東Ⅰ区 1号周溝基 盛土下	胴部片		◎砂粒を多く含む。 ◎不良 ◎にぶい黄 褐色・灰黄褐色	内外面とも撫で調整。外面に単軸筋条体第1類Rが施 されている。
P-39 ~40	弥生土器 甕か甕	公田東Ⅰ区 1号周溝基 盛土下	胴部片		◎砂粒を多く含む。 ◎不良 ◎灰黄褐色5 YR5/2	内外面とも撫で調整。外面に単軸筋条体第6A類Rが 施されている。
P-41	弥生土器 甕か甕	公田東Ⅰ区 1号周溝基 盛土下	胴部片		◎砂粒を多く含む。 ◎不良 ◎褐色10	内外面とも撫で調整。外面に無筋Rが弱状に施されて いる。
P-42	弥生土器 甕か甕	公田東Ⅰ区 1号周溝基 盛土下	口縁部片		◎不良 ◎灰黄褐色 10YR5/2	上半外面に波状文を施し、頸部に左回り縷状文が施さ れる。

公田東 Ⅰ区1号周溝基(5)

番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(cm)	胎土・焼成・色調	特徴・その他
P-43	弥生土器 壺か壺	公田東Ⅰ区 1号周溝基 盛土下	頸部～胴部 上半片		◎砂粒を多く含む。 ◎不良 ◎灰白色10 YR7/1	頸部は縦やりに拓れる。内外面撫で調整。頸部には5 条1単位のリ回り等間隔止め横状文が施され、体部には 波状文が施されている。信州系か？
P-44 ～46	弥生土器 壺か壺	公田東Ⅰ区 1号周溝基 盛土下	頸部片		◎砂粒を多く含む。 ◎良好 ◎にぶい橙 色・にぶい褐色	3点とも内外面撫で調整。頸部に左回り等間隔止め横状 文が施されている。
P-47	弥生土器 壺か壺	公田東Ⅰ区 1号周溝基 盛土下	頸部～胴部 上半片		◎砂粒を多く含む。 ◎不良 ◎にぶい黄 褐色10YR7/4	内外面撫で調整。頸部に左回り等間隔横状文が施され、 直下に縦幅の大きい波状文が施されている。
P-48	弥生土器 壺か壺	公田東Ⅰ区 1号周溝基 盛土下	胴部片		◎砂粒を多く含む。 ◎不良 ◎にぶい褐 色7.5YR6/3	内外面撫で調整。縦幅の大きい波状文が施されている。
P-49	弥生土器 壺か壺	公田東Ⅰ区 1号周溝基 盛土下	胴部片		◎砂粒を多く含む。 ◎良好 ◎にぶい黄 褐色10YR7/4	内外面撫で調整。横状文？が3段施されている。
P-50 ・51	弥生土器 壺か壺	公田東Ⅰ区 1号周溝基 盛土下	胴部片		◎砂粒を多く含む。 ◎不良 ◎にぶい黄 褐色・灰黄色	器面やや厚減。集合沈線により円弧文が施されている。

公田東 Ⅰ区2号周溝基

番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(cm)	胎土・焼成・色調	特徴・その他
P-1	土師器 壺	南辺周溝	完形	器高16.0 口径13.4 体部最大径16.3 底径8.6 口径5.5	◎砂粒を多く含む。 ◎不良 ◎赤色10R 4/6	口縁部は大きく外反し、頸部は強く拓れる。体部はや や下半に最大径をもちやや圓球をなす。底部は突出す る平底で焼成後に穿孔されている。口縁部外面縦位の 磨き、内面縦位の磨き。体部外面縦位の磨きと胴位の磨き、 内面縦位の磨きで輪軸面直を明確に残す。口縁部内 外面と体部外面が赤彩されている。
P-2	土師器 壺	西辺周溝	口縁部～胴 部上半片	残存高7.6 口径(14.0)	◎砂粒を多く含む。 ◎良好 ◎褐色5YR 6/6	口縁部は外反して開き、頸部は強く拓れる。体部は強 く膨らむと思われる。口縁部外面縦位の磨き、内面縦 位の磨き。胴部外面縦位の磨き、内面磨減。
P-3	土師器 手焙り形土器	西辺周溝	上半部欠損	残存高7.4 下 半口縁部径15.0 体部最大径16.7 底径4.0	◎砂粒を多く含む。 ◎不良 ◎淡黄色 2.5Y7/3	体部は圓球形をなして下半接合部で屈曲する。底部は突 出する平底。胴部内外面横撫で、内面に接合痕が残る。

公田池尻 8-3区8号溝

番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(cm)	胎土・焼成・色調	特徴・その他
P-1	土師器 台付壺	覆土下層	台部残存	残存高4.3 台袖部径5.2	◎砂粒を含む。 ◎良好 ◎褐色5YR 6/8	台部は内湾して開く。台袖部は外方へ強く屈曲して開 く。台部外面横撫で、内面横撫で。台袖部横撫で。
P-2	土師器 高坏	覆土下層	脚袖部欠損	残存高8.5 口径(14.0)	◎砂粒を多く含む。 ◎良好 ◎外面にぶ い黄褐色10YR7/3	坏口縁部は外傾して開き、坏部中位に鋭く突出する 稜を持つ。坏底部は丸く深い。坏部は外傾して開く。 坏部内面粗い磨き、黒色地肌。坏口縁部外面横撫で。 坏底部外面横撫で後鋭い磨き。脚部外面縦位の磨き、 内面横撫で。

公田池尻 8-2区10号溝

番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(cm)	胎土・焼成・色調	特徴・その他
P-1	土師器 台付壺	覆土下層	台部 残存	残存高4.8 台袖部径5.6	◎砂粒を含む。◎良 好 ◎褐色2.5YR6/8	台部は外湾して開き、台袖部は外方へ強く屈曲して開 く。台部外面横撫で、内面横撫で。台袖部横撫で。

公田東 Ⅱ区1号河道(1)

番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(cm)	胎土・焼成・色調	特徴・その他
P-1	土師器 小型鉢	覆土	口縁部～体 部上半片	残存高4.2 口径10.8	◎砂粒を多く含む。 ◎不良 ◎灰白色 2.5YR8/2	口縁部はやや内反して開く。体部への移行はなだら かであるが内面に稜を持つ。体部はわずかに膨らむ。器 面厚減。

公田東 II区1号河道(2)

番号	種類・形態	出土位置	残存状態	計測値(cm)	胎土・焼成・色調	特徴・その他
P-2	土師器 甕	覆土	口縁部~体 部上半片	残存高4.8 口径(13.4)	◎砂粒を多く含む。 ◎良好 ◎褐色7.5 YR7/6	口縁部はやや長く外傾して開く。胴部は「く」の字に屈曲。胴部厚減。胴部内面粗面圧痕。
P-3	土師器 S字口縁台付 罎	覆土	台部片	残存高6.3 台部厚8.7	◎砂粒を多く含む。 ◎不良 ◎灰黄色 2.5YR7/2	台部は直線的に「ハ」の字に開く。台底部内面折り返し。胴部厚減。
番号	種類	出土位置	寸法 長さ・幅・厚さ (cm)	木取り	特徴	登録 番号
W-1	角材	48	42.3*1.9*1.3	割材	断面は台形から方形を呈し、一定しない。表面の調整も粗く製品ではないであろう。	48
W-2	板材	53	52.9*5.6*1.0	おい疋	遺存状態が悪く、表面の調整は不明である。厚さも一定しておらず、原材の可能性がある。	53
W-3	未製品	233	53*4.2*4.1	割材	割材を棒状に加工したものである。潤面した箇所でも断面形は7角形であるが、各場所での長さは一様ではない。未製品であろう。	233
W-4	角材	95	67.0*4.6*2.8	割材	一方の木口は斜めに切断し、他方は焼失する。断面形はややみだれた方形である。	95
W-5	板材	69	70.0*6.4*0.5	炬目	遺存状態が悪く、実測時には接合できなかつたが、出土状態では現存長70.0cmであった。周囲はすべて欠損しているが、薄い均質な板材である。	69
W-6	杭	138	83.3*2.2*2.2	丸木	直径2.2cmの細い丸材を枝打ちし、根側を粗く尖らせる。	138
W-7	用途不明	163	41.3*4.8*3.1	割材	割材の表面を調整し、ほぼ断面長方形に仕上げている。1面のみ非常に丁寧に表面調整を行っている。欠損部分に向かうにしたがって、しだいに薄くなる。	163
W-8	板材	92	50.8*7.6*1.6	炬目	薄く分割した未調整の材である。原材であろう	92
W-9	杭	212	43.2*6.2*4.2	丸木	先端から15cm程から削り始めている。枝刈りはやや粗である。	212
W-10	又縁?	200	31.0*13.2+1.0~0.7	炬目	遺存が非常に悪く、表面も荒れている。調査時の出土状態から推定して又縁と考えられる。	200
W-11	用途不明	27	20.4*3.4+1.0	おい疋	全体形状は不明であるが、一方の側面に2箇所小さい抉りを施している。一方の側面と木口は欠損する。	27
W-12	板材	6	25.3*4.4+0.7	炬目	一方の側面と両木口を欠損する。表面の調整は行われている。	6
W-13	又縁?	91	26.4*4.4*1.0	炬目	断面形状が薄い覆鉢形を呈すること、全体形状から考えて又縁の刃部の一つである可能性がある。	91
W-14	分割材	166	14.8*1.6*1.2	割材	ミカン割りした状態の細い割材。遺存状態は不良である。	166
W-15	分割材	71	32.9*3.6*3.1	割材	断面3角形を呈する割材小片である。製品の一部分ではないであろう。	71
W-16	角材	223	35.5*2.3*1.2	割材	表面の調整はなく粗い。原材であろう。	223
W-17	用途不明	119	34.4*3.4+1.7	割材	表面は丁寧に調整され滑らかである。製品の一部分であろう。長方形のはぞ穴状の部分は欠損である。	119
W-18	農具?	214	15.9*3.9+1.3	炬目	着柄跡・痕もしくは又縁の一部と推測される。着柄部につながるると推定される部分は、断面覆鉢状を呈する。	214
W-19	又縁	12	50.4*3.2~14*0.7~0.9	炬目	遺存状態が悪く、本来の厚さは不明である。着柄部は変形している。着柄部の形状から二股敵であろう。	12
W-20	又縁	198	52.0*19.8*1.7~0.4	炬目	全体に遺存状態が悪い。刃部は取り上げ不可能であった。着柄部は半円形に近く、両の裏面は平滑に仕上げられる。刃部は張らず、直線的である。	198

公田東 II区1号河道(3)

番号	器種	出土位置	寸法 長さ・幅・厚さ (cm)	木取り	特徴	登録番号
W-21	板材	124	36.8*8.0*1.6	板目	一方の木口を斜めに切断する。図の表面は平滑に仕上げている。全体がやや遺存状態は悪い。	124
W-22	木っ端	73	5.7*5.7*1.6	割材	木口の一部を欠損する。他方は斜めに切断し、表面の調整も認められない。原材から必要部分を取った後の木っ端であろう。	73
W-23	板材	45	31.9*12.9*0.5	板目	厚さ0.5cmと薄い。遺存が悪いため本来はもう少し厚い可能性がある。表面の調整は行われている。	45
W-24	用途不明	117	21.6*11.1*3.8	割材	板目状に整えた割材の角材であるが、表面が調整されているうえ、1面は特に平滑に仕上げている。残存する木口は斜めに切断する。	117
W-25	着納櫓・束	199	64.1*14.5*1.7~0.5	板目	遺存状態が悪く、着納部や梁脚部の詳細は不明である。着納部の断面形は半円形に近い。刃部の一方は中央部の一部が残るのみである。	199
W-26	又殿	36	35.4*5.2*0.7	板目	やや湾曲する個の木口を欠損する。全体の形状から又殿の刃部の一つと判断される。	36
W-27	杭?	178	23.2*7.2*6.2*	割材	遺存状態が不良で詳細不明であるが、端部の形状から杭と推定される。	178
W-28	板材	28	17.9*4.3*0.6	板目	両木口を欠損するが、幅と厚さから又殿刃部の可能性も考えられる。	28
W-29	木っ端	204	15.5*6.8*3.5	割材	割材の両木口を斜めに切断する。表面の調整は行われず木っ端であろう。	204
W-30	木っ端	109	8.8*4.4*1.0	板目	板目板の両木口を斜めに切断する。中央のくぼみは当初のものか否か不明である。不要部分を削り取った後の木っ端であろう。	109
W-31	木っ端	88	4.9*4.8*2.0	割材	割材の周辺を斜めに切った小部品である。必要部分を取った後の木っ端であろう。	88
W-32	直納櫓	29	32.6*14.4*3.0	板目	刃部、柄部共に割材から削り出す。刃部、柄部共に先端を欠損するため形状は不明である。	29
W-33	杭	211	29.6*6.2*4.2	丸木	遺存状態が非常に悪いが、先端の形状が丸く判明する。	211
W-34	杭	70	83.0*13.6*4.8	おしい板	68と共に河道に打ち込まれた状態で出土した杭である。遺存状態が良く、調整痕が明確に観察できる。ほぼ中央にほぞ穴があり、構築材の転用であることがわかる。頭部は朽ちている。	70
W-35	杭	68	73.2*11.6*4.2~4.7	割材	割材の一端を丸くして杭とする。河道に打ち込まれた状態で出土したため、表面の状態は良好である。頭部は当時の地表面に出ているため、朽ちている。	68

公田東 遺構外(1)

番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(cm)	胎土・焼成・色調	特徴・その他
P-1	土師器 環	I区VI層	1/2 残存	残存高4.0 口径13.0	◎砂粒を含む。◎良好 ◎にぶい褐色 2.5YR6/4	口縁部は短く外傾して開く。底体部は丸くやや深い。口縁部内外面横溝で、底体部外面刷毛撫で後削り、内面横溝で後傾放射状研磨。
P-2	土師器 壺	I区VI層	口縁部~体部 中部位残存	残存高19.7 口径12.6 体部最大径23.8	◎砂粒を多く含む。◎良好 ◎浅黄色 2.5Y7/4	口縁部は外反して開き、頸部は強く括れる。体部は中に最大径をもち強く膨らむ。口縁部外面刷毛撫で後一部横溝で、内面横溝で後傾位の磨き。体部外面刷毛撫で後傾位の磨き。内面斜位の刷毛撫で一部に輪模み痕を残す。
P-1	土師器 環	II区EK-222	口縁部~底体部 小片	残存高4.5 口径(12.8)	◎砂粒を含む。◎良好 ◎明赤褐色 5YR5/8	口縁部は短く外傾して開き端部は玉縁状となる。底体部は丸く深い。口縁部内外面横溝で、底体部外面削り、内面横溝で後放射状研磨。
番号	種類	出土位置	残存状態	計測値(cm・g)	材質	特徴・その他
M-1	耳環	公田東I区1号周溝墓 墳丘上面	一部表面剥落	3.3*2.8 24g	解地金張り	径0.8cmで快状に曲げており、2.5mmの切れ目をもつ。

公田東 遺構外(2)

番号	種類・部種	出土位置	残存状態	計測値(cm)	粘土・焼成・色調	特徴・その他
P-4	土師器 壺	IV区VI層	口縁部～体 部片	残存高10.0 口径(8.0)	◎砂粒を多く含む。 ◎良好 ◎明黄褐色 10YR7/6	口縁部は内湾して立ち上がり、頸部は強く括れる。体部上半は強く膨らむ。口縁部～体部外面丁寧な磨き、内面横位と縦位の磨き。
P-2	須恵器 壺	V区GL- 307 IV～ V層	ほぼ完形	器高4.5 口径12.4	◎砂粒を含む。 ◎ 硬質 ◎灰白色	天井部は高く、腰部はわずかに突出する。口縁部はわずかに斜め下方に開く。横楕圓形。天井部外面寛削り。
P-3	須恵器 環	V区GN- 308	1/3残存	残存高3.6 口径(10.6) 接径(13.3)	◎砂粒を多く含む。 ◎硬質 ◎灰色N5/ 0	口縁部は内傾し、腰部は強く突出する。底体部は丸く浅い。横楕圓形。
P-7	土師器 壺	V区GO- 311	口縁部～体 部下半残存	残存高26.7 口径21.6 体部最大径17.8	◎砂粒を多く含む。 ◎良好 ◎明赤褐色 5YR5/8	口縁部は外反して大きく開き、頸部はなだらかに「く」の字に屈曲する。体部はわずかに膨らみをもつ長楕。口縁部内外面横楕。体部外面斜位の磨削り、内面横位と斜位の磨削り、一部に輪轆状の痕を残す。
P-11	土師器 パレス壺	V区GK- 303	体部片		◎砂粒を多く含む。 ◎不良 ◎にぶい褐色 7.5YR5/4	外面に波状文と直線文を施す。内面無文。断面やや摩滅。
P-12	土師器 パレス壺	V区6号溝	体部片		◎砂粒を含む。 ◎ 良好 ◎褐色7.5YR 6/6	外面は刷毛織で後磨き、波状文・直線文・列点文が施され赤彩されている。内面無文。
P-2	土師器 環	V区ピット 11	1/3残存	器高3.5 口径(11.3)	◎砂粒を多く含む。 ◎良好 ◎褐色5YR 6/8	口縁部は短く外傾して開き、腰部はわずかに突出して屈曲する。底体部は丸く浅い。口縁部内外面横楕。底体部外面寛削り内面無文。
P-3	土師器 環	V区ピット 31	1/3残存	器高4.0 口径(12.0)	◎砂粒を含む。 ◎ 良好 ◎褐色5YR6 /6	口縁部は短くほぼ直立し、腰部は強く突出して屈曲する。底体部は丸く浅い。口縁部内外面横楕。底体部外面寛削り、内面無文。
P-4	土師器 壺	V区ピット 31	口縁部～体 部上半片	残存高10.5 口径(20.5)	◎砂粒を多く含む。 ◎良好 ◎赤褐色5 YR4/6	口縁部は強く外傾して開き、頸部は「く」の字に屈曲する。口縁部内外面横楕。体部外面斜位の磨削り、内面横位の磨削り。
P-5	土師器 壺	V区ピット 31	口縁部～体 部上半残存	残存高20.0 口径19.3 体部最大径25.4	◎砂粒を多く含む。 ◎良好 ◎明褐色	口縁部は外返して開き、頸部は「く」の字にやや緩やかに屈曲する。体部は強く膨らむ。口縁部内外面横楕。体部外面斜位の磨削り、内面横位の磨削り。

公田池尻 遺構外(1)

番号	種類・部種	出土位置	残存状態	計測値(cm)	粘土・焼成・色調	特徴・その他
P-1	土師器 鉢	2区	一部欠損	器高5.4 口径15.1	◎砂粒を多く含む。 ◎良好 ◎明赤褐色 2.5YR5/6	口縁部はやや内反して開く。底面は浅い丸底。口縁部～底面外面で調整後縦位の磨き、内面斜位の磨き。
P-2	土師器 環	2区	1/4残存	残存高4.7 口径(10.2)	◎砂粒を含む。 ◎ 良好 ◎褐色2.5YR 6/8	口縁部は外反し中位に小段を持つ。腰部は鈍く突出して屈曲し、底体部はやや深い。口縁部内外面横楕。底体部外面寛削り、内面無文。
P-3	土師器 環	2区	2/3残存	器高3.1 口径10.1	◎砂粒を多く含む。 ◎良好 ◎褐色5YR 6/6	口縁部は短く内傾し、底体部は丸く浅い。口縁部内外面横楕。底体部外面寛削り、内面無文。
P-4	土師器 環	2区	完形	器高3.6 口径10.4	◎砂粒を多く含む。 ◎良好 ◎明赤褐色 2.5YR5/8	口縁部は短く内傾し、底体部は丸く浅い。口縁部内外面横楕。底体部外面寛削り、内面無文。
P-5	土師器 環	2区	2/3残存	器高3.7 口径13.0	◎砂粒を多く含む。 ◎良好 ◎にぶい褐色 7.5YR6/4	口縁部は直立し、底体部は丸く浅い。口縁部内外面横楕。底体部外面寛削り、内面無文。
P-6	須恵器 環	2区	一部欠損	器高5.0 口径11.5	◎砂粒・小礫を含む。 ◎軟質 ◎灰色 10YR6/1	口縁部は短く内反し、腰部は強く突出して屈曲する。底体部は丸く深い。横楕圓形。底体部下半外面回転磨削り。
P-8	土師器 壺	2区	口縁部～体 部上半残存	残存高11.0 口径(17.0)	◎砂粒を含む。 ◎ 良好 ◎にぶい褐色 7.5YR6/4	口縁部は外反し、端部内面に小段が1条走る。頸部は「く」の字に屈曲し体部は膨らむ。口縁部内外面横楕。体部外面横位と斜位の磨削り、内面横位の磨削り。

公田池尻 遺構外(2)

番号	種類・遺構	出土位置	残存状態	計測値(cm)	胎土・焼成・色調	特徴・その他
P-9	土師器 S字状口縁台 付甕	2区	口縁部～体 部上半片	残存高2.7 口径(16.2)	◎砂粒を多く含む。 ◎良好 ◎にぶい黄 褐色10YR7/2	口縁部は斜めに屈曲し、第2段は外反し端部内面に2 条の粗い沈線が走る。口縁部内外面横撫で。頸部外 沈線による頸部調整、内面撫で。体部外面斜刷毛目、 内面撫で。
P-10	土師器 S字状口縁台 付甕	2区	口縁部～体 部上半片	残存高6.5 口径(14.2)	◎砂粒を多く含む。 ◎不良 ◎明褐色 7.5YR7/1	口縁部は斜めに屈曲し、第2段は外反し端部はやや厚 厚し、内面に沈線が1条走る。口縁部内外面横撫で。 頸部内面撫で。体部外面斜刷毛目、内面横撫で。
P-11	土師器 S字状口縁台 付甕	2区	1/2残存台 部下端欠損	残存高26.5 口径15.4 体部最大径24.7	◎砂粒を多く含む。 ◎良好 ◎灰褐色5 YR6/2	口縁部は斜めに屈曲し、第2段は外反し端部内面に1 条の沈線が走る。体部は上半に最大径をもちやや肩部 が張る。台部は「ハ」の字に開く。口縁部内外面横撫で、 頸部内面撫で。体部外面斜刷毛目、内面縦位の撫で。 台部外面不連続刷毛目。
P-12	土師器 S字状口縁台 付甕	2区	1/3残存	器高24.4 口径(13.0) 体部最大径17.9 台部径(10.0)	◎砂粒を多く含む。 ◎良好 ◎褐色7.5 YR4/4	口縁部は緩やかに斜めに屈曲し、第2段は外反する。 体部は上半に最大径をもちやや肩部が張る。台部は 「ハ」字に開く。口縁部内外面横撫で。頸部内面撫で。 体部外面乱れた斜刷毛目、内面下半刷毛目、上半部 下半に接合痕が残る。台部内外面撫で。
P-13	土師器 S字状口縁台 付甕	2区	体部下半～ 台部残存	残存高14.9 口径9.2	◎砂粒を多く含む。 ◎良好 ◎にぶい黄 褐色10YR6/4	体部はやや膨らみ、台部は「ハ」の字に開く。体部外面 斜刷毛目、内面縦位の撫で。台部外面面削り、 内面縦位の撫で、下部内面折り返し。
P-14	土師器 S字状口縁台 付甕	2区	体部下部～ 台部残存	残存高8.4 台部径11.1	◎砂粒を多く含む。 ◎良好 ◎にぶい橙 色7.5YR7/4	台部は「ハ」の字に開く。側部下部外面斜刷毛目。台部 外面不連続刷毛目、内面撫で、下部内面折り返し。
P-15	土師器 S字状口縁台 付甕	2区	台部残存	残存高7.5 台部径10.0	◎砂粒を多く含む。 ◎良好 ◎にぶい橙 色	台部は「ハ」の字に開く。台部外面不連続刷毛目、内面 撫で、下部内面折り返し。体部との接合痕が台部上 面に残る。
P-16	土師器 S字状口縁台 付甕	2区	台部残存	残存高6.0 台部径8.6	◎砂粒を多く含む。	台部は「ハ」の字に開く。台部外面不連続刷毛目、内面 撫で、下部内面折り返し。体部との接合痕が台部上 面に残る。
P-1	土師器 高坏	2区3坑 覆土	1/2残存	器高8.2 坏部径12.2 脚部径8.0	◎砂粒を多く含む。 ◎不良 ◎にぶい黄 褐色10YR7/4	坏部はやや内湾して開き、脚部は外湾して斜め下方に 開く。坏部口縁部内外面横撫で。坏部内外面撫で。 脚部外面刷毛目撫で後縦位の撫で、内面横位の撫で。
P-2	土師器 S字状口縁台 付甕	2区3坑 覆土	台部下端欠 損	残存高23.7 口径13.7 体部最大径20.8	◎砂粒を多く含む。 ◎不良 ◎にぶい橙 色7.5YR7/3	口縁部は斜めに屈曲し、第2段は外反する。脚部は上 半に最大径を持ち外湾する。台部は「ハ」の字に開く。口 縁部内外面横撫で。頸部外面調整のための沈線が1条 走り、内面撫で。頸部外面斜刷毛目、内面撫で。台 部外面不連続刷毛目。
P-1	須恵器 はそう	8-2区I O-497	口縁部小片		◎密 ◎硬質 ◎内 外面暗灰色N3/0 断面灰色N5/0	初期須恵器はその破片で、中位に沈線が1条走り 上下に断面三角形の鋭い稜を持つ。輪縁成形。内面自 然釉付着。
P-1	土師器 甕	4区俣木坂	2/3残存	器高22.7 口径15.5 体部最大径19.7 底径5.7	◎砂粒を多く含む。 ◎良好 ◎明褐色 7.5YR5/6	口縁部は外反し、頸部はなだらかに屈曲する。体部は 中位に最大径をもつ。底部はやや突出した平底。口縁 部内外面横撫で。体部外面縦位の撫で、内面横 位の撫で。
P-1	土師器 甕台	8-3区I R-510	脚基部～脚 部上半片	残存高6.2	◎砂粒を含む。 ◎ 良好 ◎にぶい橙 色7.5YR6/4	脚基部中央は貫通し、脚部は直線的に斜め下方に開く。 孔は3孔、径1.1cm。脚部内外面とも斜刷毛後縦位や 斜位の磨き。
P-2	土師器 S字状口縁台 付甕	8-3区I R-510	口縁部～体 部上半片	残存高7.5 口径(13.6)	◎砂粒を多く含む。 ◎良好 ◎にぶい橙 色7.5YR7/4	口縁部は鈍く屈曲し、第2段はわずかに外反する。口 縁部～頸部内外面横撫で。体部外面上半は縦位の撫 で、下半は斜位の磨り。内面は横撫で。
P-1	土師器 S字状口縁台 付甕	8-3区I S-511	口縁部片	残存高7.0 口径(22.0)	◎砂粒を多く含む。 ◎不良 ◎淡黄色 2.5Y8/3	口縁部第2段が長く外傾して開き、端部は凹縁状とな っている。頸部外面は調整のための沈線が1条走り。 口縁部内外面横撫で。
P-2	土師器 甕	8-3区I S-511	口縁部上半 片	残存高6.4 口径22.8	◎砂粒を多く含む。 ◎良好 ◎にぶい橙 色5YR6/4	口縁部はやや外傾して立ち上がり、上半はやや外反す る。端部内面は折り返し状に肥厚する。外面に3本1 単位の棒状浮文が貼付されている。外面刷毛撫で後斜 位の磨き。内面横位と斜位の粗い磨き。

公田池尻 遺構外 (3)

番号	種類・部名	出土位置	残存状態	計測値(cm)	胎土・焼成・色調	特徴・その他
P-1	土師器 坏	8-3区表土	1/4 残存	残存高4.5 口径(12.0)	◎砂粒を多く含む。 ◎良好 ◎褐色5YR 6/8	口縁部は外傾して開き、縁部は突出して屈曲する。底 部部は丸く浅い。口縁部内外面横撫で。底外部面置 削り、内面撫で。
P-2	土師器 高坏	8-3区表土	坏部上半欠損	残存高5.5 胴部径9.2	◎砂粒を含む。 ◎良好 ◎褐色5YR 6/8	坏部内面は黒色を呈し、胴柱部短くやや内湾し、胴部 部は短く外方へ開く。坏部外面置削り内面撫で。胴柱 部外面縦位の撫で。胴部内外面横撫で。
P-1	土師器 坏	8-3区70 号ピット内	1/2残存	器高5.6 口径(16.2)	◎砂粒を多く含む。 ◎良好 ◎明赤褐色 2.5YR5/6	口縁部はわずかに外傾して開き、縁部は鋭く突出し屈 曲する。底外部は丸くやや深い。口縁部内外面横撫で。 底外部面置削り、内面撫で。
P-2	土師器 瓶	8-3区70 号ピット	体部下半～ 底部残存	残存高14.6 底径9.4	◎砂粒・小礫を含む。 ◎良好 ◎褐色5YR 6/6	体部はわずかに膨らむ長胴。底部単孔。胴部外面斜位 の置削り後一部縦位の置撫で、内面横位の置撫で一部 輪襷み痕が残る。
P-1	土師器 高坏	8-3区13 9ピット	一部欠損	器高9.7 口径13.2 胴部径10.5	◎砂粒を多く含む。 ◎良好 ◎褐色5YR 6/6	坏部口縁部は外反し、中位に鈍く突出する縁を持ち屈 曲する。坏底部は丸く浅い。胴柱部は短く外湾し、胴 部部は短く外方へ開く。坏部口縁部内外面横撫で。坏 部外部面置削り後一部縦位の撫で。内面横撫で。胴柱部 外面縦位の置撫で。胴部内外面横撫で。
P-1	土師器 坏	8-3区I T-512	2/3残存	器高3.7 口径13.4	◎砂粒を多く含む。 ◎不良 ◎にぶい青 色7.5YR5/4	口縁部はやや内反し、縁部はやや突出して屈曲する。 底外部は丸く浅い。口縁部内外面横撫で。底外部面 置削り、内面撫で。
P-2	土師器 瓶	8-3区I T-512	一部欠損	器高26.6 口径(21.4) 底径8.6	◎砂粒を多く含む。 ◎良好 ◎明赤褐色 2.5YR3/4	口縁部は外反し、体部は直線的な長胴。底部単孔。口 縁部内外面横撫で。体部内外面縦位の置削り、内面横 位の置撫で。
P-3	土師器 壺	8-3区I T-512	底部欠損	残存高21.7 口径(17.2) 体部最大径 (16.3)	◎砂粒・小礫を含む。 ◎良好 ◎にぶい赤 褐色5YR4/4	口縁部は外反し、体部はわずかに膨らみをもつ長胴。 口縁部内外面横撫で。体部外面縦位の置削り、内面器 面磨減。
P-1	土師器 瓶	8区I O- 505	体部下半～ 底部片	残存高14.1 底径8.0	◎砂粒を多く含む。 ◎良好 ◎にぶい黄 褐色	体部はわずかに膨らみをもつ長胴。底部単孔。体部外 面縦位の置削り、下端部横位の置削り。内面横位の置 撫で。
P-4	土師器 転用瓶	9区表土	体部中位～ 底部残存	残存高25.1 底径8.1	◎砂粒・小礫を含む。 ◎良好 ◎にぶい黄 褐色10YR7/3	長胴型の底部を打ち欠き瓶として転用。体部外面縦位 の置削り、輪襷が痕が明確に残る。体部内面縦位の置 撫で。
P-5	土師器 壺	9区表土	口縁部片		◎砂粒を多く含む。 ◎良好 ◎灰色7.5 Y4/1	口縁部は外傾して開き、縁部は内面に大きく折り返さ れ上面は平面をなす。外面に断面三角形の細い棒状浮 文が間隔をおいて付されている。口縁部内外面横撫 で。口縁部内外面斜位の刷毛撫で。
P-8	土師器 罍	9区表土	口縁部～体 部下端1/2 残存	残存高31.5 口径(19.3) 体部最大径18.0	◎砂粒・小礫を含む。 ◎不良 ◎灰褐色 7.5YR6/2	口縁部は強く外反する。体部は長胴で下半部に最大径 を持つ下膨れ状となる。口縁部内外面横撫で。輪襷み 痕が明確に残る。
番号	種 類	出土位置	残存状態	計測値(cm・g)	石 質	特 徴・その他
S-1	管玉	3区34号溝 周辺	完存	長さ3.4 径0.7 孔径0.2 重さ4	珉質頁岩	浅緑色をなす中型の管玉で、丁寧な研磨成形。両面穿 孔。
S-1	管玉	8区表土	完存	長さ2.0 径0.5 孔径0.2 重さ1	蛇紋岩	黒色を帯びる細身の管玉で丁寧な研磨成形。表面に細 い研磨痕が部分的に残る。両面穿孔。
S-2	管玉	8区表土	完存	長さ2.3 径0.5 孔径0.2 重さ1	蛇紋岩	黒色を帯びる細身の管玉で丁寧な研磨成形。表面に細 い研磨痕が部分的に残る。両面穿孔。
S-1	紡錘車	9区表土	完存	径4.4 厚0.7 孔径0.8 重さ47	蛇紋岩	断面形は厚みのある台形をなし、下面径に比べ上面径 が小さい。表裏面には粗い研磨痕が部分的に残り、側 面は削痕が明確に残る。片面穿孔。
S-2	勾玉	9区表土	完存	長さ2.3 幅1.1 厚さ0.6 重さ3	滑石	淡黄緑色を帯びる小型の勾玉で、表裏面は研磨痕が磨 れるが側面は粗い研磨痕が残る。孔径0.3cmで片面穿 孔。
S-3	白玉	9区表土	一部欠損	長さ0.6 径0.9 孔径0.2 重さ1	滑石	円筒形をなす小型の白玉で粗い研磨成形。片面穿孔。

表8 奈良・平安時代出土遺物観察表

宮田東 II区1号住居

番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(cm)	胎土・焼成・色調	特徴・その他
P-1	須恵器 杯	東壁中央部 床面	1/2残存	器高3.7 口径13.6 底径(7.2)	①砂粒を多く含む。 ②硬質 ③灰色7.5 Y6/1	体部は外傾して立ち上がり、口縁部はそのまま開く。 輪縁成形。底部右回転糸切り無調整。
P-2	須恵器 杯	北壁中央部 覆土	1/3残存	器高3.7 口径(12.0) 底径(6.5)	①砂粒を含む。 ② 硬質 ③灰白色N7/ 0	体部はやや内湾して立ち上がり、口縁部は外傾して開く。 輪縁成形。底部右回転糸切り無調整。
P-3	酸化焰焼成 杯	カマド内	1/3残存	器高3.6 口径(13.0) 底径(8.0)	①砂粒・小礫を含む。 ②軟質 ③にぶい焼 成5YR7/4	体部は外傾して立ち上がり、口縁部はわずかに外反する。 輪縁成形。器面磨減。
P-4	土師器 杯	北壁中央部 床面	2/3残存	器高3.6 口径12.2	①砂粒を含む。 ② 良好 ③にぶい褐色 7.5YR7/4	体部は内湾して立ち上がり、口縁部はわずかに外反する。 底部平底。器面やや磨減。口縁部～体部内外面横撫で。 底部外面寛削り。
P-5	土師器 杯	東壁中央部 覆土	1/2残存	器高3.2 口径11.2	①砂粒を多く含む。 ②不良 ③にぶい褐色 7.5YR5/3	体部は内湾して立ち上がり、口縁部はやや内反する。 底部は平底状となる。口縁部内外面横撫で。底部外面 寛削り、内面撫で。
P-6	土師器 杯	南東隅床面	2/3残存	器高3.2 口径12.1	①砂粒を多く含む。 ③良好 ④褐色5YR 6/6	体部は内湾して立ち上がり、口縁部はやや内反する。 底部はやや平底状となる。口縁部内外面横撫で。底部 外面寛削り、内面撫で。
P-7	土師器 杯	中央部床面	1/3残存	残存高4.0 口径(13.6)	①砂粒を多く含む。 ③良好 ④にぶい褐色 7.5YR6/3	体部は内湾して立ち上がり、口縁部は外傾して開く。 口縁部内外面横撫で。底部外面寛削り、内面撫で。

宮田東 II区2号住居

番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(cm)	胎土・焼成・色調	特徴・その他
P-1	土師器 杯	覆土	1/3残存	残存高3.6 口径(12.2)	①砂粒を含む。 ② 良好 ③にぶい褐色 7.5YR6/3	体部はやや内湾して立ち上がり、口縁部はやや外傾して 開く。口縁部～体部内外面横撫で。底部外面寛削り。
P-2	土師器 杯	覆土	1/3残存	残存高5.2 口径(15.3)	①砂粒を含む。 ② 良好 ③褐色5YR 6/6	体部は外傾して立ち上がり、口縁部は直立ぎみとなる。 底部はやや平底状。口縁部～体部内外面横撫で。底部 外面寛削り、内面撫で。

宮田東 IV区1号住居(1)

番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(cm)	胎土・焼成・色調	特徴・その他
P-1	土師器 杯	北壁中央部 床面	完形	器高3.5 口径12.8	①砂粒を含む。 ② 不良 ③灰黄色2.5 Y7/2	口縁部は外傾して開き腰部の屈曲は緩やかで、底部 は丸く浅い。器面磨減。
P-2	土師器 杯	北西隅床面	2/3残存	器高4.2 口径13.0	①砂粒を多く含む。 ②不良 ③灰黄色 2.5YR7/2	口縁部は外傾して開き腰部の屈曲は緩やかで、底部 は丸く浅い。口縁部内外面横撫で。底部外面寛削り、 内面撫で。
P-3	土師器 杯	北西隅床面	1/3残存	器高3.3 口径(14.0)	①砂粒を含む。 ② 良好 ③にぶい褐色 7.5YR7/3	口縁部は短く外傾して開き腰部の屈曲は緩やかで、底 部は丸く浅い。口縁部内外面横撫で。底部外面寛削り、 内面撫で。
P-4	土師器 杯	北西隅床面	1/3残存	残存高3.6 口径(14.8)	①砂粒を含む。 ② 良好 ③褐色7.5YR 6/6	口縁部は短く外傾して開き腰部の屈曲は緩やかで、底 部は丸く浅い。口縁部内外面横撫で。底部外面寛削り、 内面撫で。
P-5	土師器 杯	中央部覆土	ほぼ完形	器高3.9 口径13.1	①砂粒を多く含む。 ③良好 ④褐色5YR 6/6	口縁部は短くやや内湾し腰部の屈曲は緩やかで、底部 は丸く浅い。口縁部内外面横撫で。底部外面寛削り、 内面撫で。
P-6	土師器 杯	北壁中央部 覆土	ほぼ完形	器高3.5 口径12.2	①砂粒を多く含む。 ③良好 ④にぶい褐色 7.5YR6/3	口縁部はやや短く外傾して開き、腰部はわずかに突出 する。底部は丸く浅い。口縁部内外面横撫で。底部 外面寛削り、内面撫で。
P-7	土師器 杯	北東隅覆土	1/2残存	器高4.1 口径13.2	①砂粒を含む。 ② 不良 ③にぶい黄褐色 10YR7/3	口縁部はわずかに外反して開き、端部は玉縁状となる。 腰部は緩やかに屈曲し、底部は丸く浅い。口縁部内 外面横撫で。底部外面寛削り、内面撫で。

公田東 IV区1号住居(2)

番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(cm)	胎土・焼成・色調	特徴・その他
P-8	土師器 土師壺	カマド内一 東壁中央部 覆土	1/2 残存	器高4.4 口径14.2	◎砂粒を多く含む。 ◎良好 ◎褐色2.5 YR6/6	口縁部はやや外反して開き、腹部の面曲は緩やかで、底 部は丸く浅い。口縁部内外面横線で、底外部外面 削り、内面無で。
P-9	土師器 土師壺	カマド内一 東壁中央部 覆土	完形	器高4.4 口径13.6	◎砂粒・小礫を含む。 ◎良好 ◎にぶい 褐色7.5YR7/4	口縁部はわずかに外傾して開き、腹部直下が凹縁状と なる。腹部はやや緩やかに屈曲し、底部は丸く浅い。 口縁部外面横線で、底外部外面削り、内面横線で放射 状研磨。
P-10	土師器 土師壺	北西隅床面	1/2残存	器高4.8 口径(14.0)	◎砂粒を多く含む。 ◎不良 ◎淡黄色 2.5YR7/3	口縁部は外傾して開き、腹部は大きく突出して屈曲す る。底外部は丸く浅い。口縁部内外面横線で、底外部 外面削り、内面無で。
P-11	土師器 土師壺	北西隅床面	1/2残存	器高4.8 口径(14.2)	◎砂粒・小礫を含む。 ◎良好 ◎にぶい 褐色7.5YR6/4	口縁部は外傾して開き、腹部はやや強く屈曲する。底 部は丸く浅い。口縁部内外面横線で、底外部外面削 り、内面無で。
P-12	土師器 小壺	北西隅床面	口縁部～体 部1/3残存	残存高13.0 口径(18.0) 体部最大径15.6	◎砂粒・小礫を含む。 ◎良好 ◎にぶい赤 褐色5 YR5/4	口縁部は外反し、腹部は玉縁状となる。体部はわずかに 膨らむ。口縁部内外面横線で、体部外面削り、内 面無で。体部下半火を受け器面剥落。
P-13	土師器 壺	カマド内一 中央部床面 一北壁中央 部覆土	ほぼ完形	器高33.5 口径20.1 体部最大径18.0 底径5.6	◎砂粒・小礫を多く 含む。 ◎良好 ◎ 明赤褐色2.5YR5/6	口縁部は緩やかに外反して開く。体部はわずかに膨ら みをもつ長胴。底部は小さい平底。口縁部内外面横 線で、体部外面縦位の削り、内面横線で。
P-14	土師器 壺	北西隅床面 一北西隅 土	ほぼ完形	器高34.4 口径20.0 体部最大径18.2 底径5.4	◎砂粒・小礫を多く 含む。 ◎良好 ◎ 褐色2.5Y6/6	口縁部は緩やかに外反して開く。体部はわずかに膨ら みをもつ長胴。底部は小さい平底。口縁部内外面横 線で、体部上半外面縦位の削り、下半外面縦位の削り、 内面横線で。
P-15	土師器 壺	北西隅床面 一北壁中央 部床面	ほぼ完形	器高35.0 口径20.4 体部最大径19.6 底径6.4	◎砂粒・小礫を多く 含む。 ◎良好 ◎ 褐色2.5YR6/6	口縁部は緩やかに外反して開く。体部はわずかに膨ら みをもつ長胴。底部は小さい平底。口縁部内外面横 線で、体部上半外面縦位の削り、下半外面縦位の削り、 内面横線で。
P-16	土師器 壺	北西隅床面 一北壁中央 部床面	ほぼ完形	器高35.8 口径20.2 体部最大径18.3 底径5.8	◎砂粒・小礫を多く 含む。 ◎良好 ◎ 明赤褐色5 YR5/6	口縁部は緩やかに外反して開く。体部はわずかに膨ら みをもつ長胴。底部は小さい平底。口縁部内外面横 線で、体部上半外面縦位の削り、下半外面縦位の削り、 内面横線で。
P-17	土師器 壺	北西隅床面	2/3残存	器高38.5 口径20.1 体部最大径20.2 底径(6.6)	◎砂粒を多く含む。 ◎不良 ◎淡黄色 2.5YR/3	口縁部は強く外反して開く。体部は緩やかな膨らみ をもつ長胴。底部は小さい平底。口縁部内外面横 線で、体部外面斜位の削り、内面斜位の削りで。
番号	種 類	出土位置	残存状態	計測値(cm・g)	石 質	特 徴・そ の 他
S-1	黒曜石	東壁中央部 覆土	完存	長さ14.9 幅6.8 厚さ3.7 重さ594g	石英閃緑岩	長楕円形の河原石を使用。両端部や側縁部に打痕があ り、裏面ともやや磨れている。
S-2	黒曜石	北東隅床面	完存	長さ14.9 幅6.5 厚さ5.3 重さ940g	粗粒輝石安山岩	長楕円形の河原石を使用。両端部に打痕がある。
S-3	白玉	カマド内覆 土	完存	径1.2 厚さ0.5 孔径0.2 重さ1g	滑石	円筒状をなしやや厚みがある。やや粗い研磨成形。片 面穿孔。
S-4	白玉	カマド脇覆 土	一部欠損	径1.1 厚さ0.8 孔径0.2 重さ1g	滑石	円筒状をなし厚みがある。粗い研磨成形。片面穿孔。
S-5	白玉	カマド脇覆 土	一部欠損	径1.1 厚さ0.5 孔径0.2 重さ1g	滑石	円筒状をなしやや薄い。粗い研磨成形。片面穿孔。
S-6	白玉	カマド脇床 面	一部欠損	径1.7 厚さ0.6 孔径0.2 重さ2g	滑石	側縁部は多角形をなし薄い。割り面を残す粗い研磨成 形。片面穿孔。
S-7	白玉	カマド脇床 面	完存	径1.1 厚さ0.7 孔径0.2 重さ1g	滑石	円筒状をなし厚みがある。やや丁寧な研磨成形。片面 穿孔。

宮田東 IV区1号住居(3)

番号	種類	出土位置	残存状態	計測値(cm・g)	石質	特徴・その他
S-8	白玉	カマド脇床面	完存	径1.3 厚さ0.8 孔径0.2 重さ1g	滑石	断面形がやや台形をなし厚みがある。粗い研磨成形。片面穿孔。
S-9	白玉	カマド脇床面	一部欠損	径1.2 厚さ0.7 孔径0.2 重さ1g	滑石	断面形がやや台形をなしやや薄い。粗い研磨成形。片面穿孔。
S-10	白玉	カマド脇土	一部欠損	径1.1 厚さ0.8 孔径0.2 重さ1g	滑石	円筒形をなしやや薄い。粗い研磨成形。片面穿孔。

宮田東 IV区2号住居

番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(cm)	胎土・焼成・色調	特徴・その他
P-1	土師器 甕	カマド内・ 西壁中央部 覆土	口縁部～体 部上半片	残存高7.5 口径(20.4)	⑤砂粒を多く含む。 ⑥良好 ⑦にぶい褐色 5YR6/4	口縁部は「コ」の字状をなし上半は外傾する。体部は緩やかな膨らみをもつ。口縁部内外面横撫で。体部外面横方向の寛削り、内面横撫で。
P-2	土師器 甕	南東隅床面	口縁部～体 部上半片	残存高9.1 口径19.0	⑤砂粒を多く含む。 ⑥良好 ⑦褐色5YR 6/6	口縁部は「コ」の字状をなし上半は外傾する。体部はやや膨らみをもつ。口縁部内外面横撫で、外面中位に1条の輪痕み痕がみえる。体部外面横方向の寛削り、内面横方向の寛撫で。
P-3	平瓦	カマド内	破片	厚さ1.7	⑤白色鉱物粒を多く含む。 ⑧硬質 ⑨灰色7.5Y6/1	表面布目板、裏面格子目焼き。

宮田東 IV区3号住居

番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(cm)	胎土・焼成・色調	特徴・その他
P-1	土師器 坏	カマド内	ほぼ完形	器高3.6 口径6.9	⑤砂粒を多く含む。 ⑥良好 ⑦にぶい褐色 7.5YR7/4	口縁部は外傾して開き、底体部は平底。口縁部内外面横撫で、底体部外面多方向の寛削り、内面横撫で。
P-2	土師器 坏	貯蔵穴内	1/3残存	残存高3.5 口径(12.2)	⑤砂粒を多く含む。 ⑥良好 ⑦にぶい褐色 7.5YR7/3	口縁部は外傾して開き、端部は玉縁状をなす。底体部は平底。口縁部内外面横撫で、底体部外面寛削り内面横撫で。
P-3	須恵器 坏	貯蔵穴内	ほぼ完形	器高3.2 口径12.8 底径7.2	⑤砂粒を多く含む。 ⑧硬質 ⑨灰白色N 8/0	体部はわずかに内湾して立ち上がり、口縁部はそのまま外傾する。外面輪軸目跡。底部右回転糸切り無調整。
P-4	須恵器 坏	西壁中央部 床面	ほぼ完形	器高3.5 口径13.1 底径6.8	⑤砂粒・小塵を多く含む。 ⑧軟質 ⑨灰色10Y6/1	体部はやや内湾して立ち上がり、口縁部は外反する。輪軸成形。底部右回転糸切り無調整。
P-5	須恵器 坏	西壁中央部 覆土	3/4残存	器高3.2 口径13.4 底径7.2	⑤砂粒を多く含む。 ⑧軟質 ⑨灰色7.5 Y6/1	体部はやや内湾して立ち上がり、口縁部はわずかに外反する。輪軸成形。底部右回転糸切り無調整。
P-6	須恵器	貯蔵穴内	1/3残存	器高6.2 口径(14.0) 底径7.0	⑤砂粒を含む。 ⑧硬質 ⑨灰色N6/0	体部は内湾して立ち上がり、口縁部はやや外反する。輪軸成形。底部右回転糸切り後付高台。高台は「ハ」の字に開く。
P-7	須恵器 蓋	中央部床面	1/4残存	器高4.0 口径(17.2) 柄み径2.7	⑤砂粒を多く含む。 ⑧軟質 ⑨灰白色5 Y7/1	輪軸成形。ボタン状柄みで中央部がわずかに突起。天井部は平坦で口縁部は内湾して開き、端部はわずかに垂下する。断面磨滅。
P-8	土師器 甕	中央部覆土	口縁部～体 部上半片	残存高6.2 口径(16.8)	⑤砂粒を含む。 ⑥良好 ⑦にぶい褐色 5YR6/4	口縁部は「コ」の字状をなし上半は外傾する。口縁部内外面横撫で。体部外面横方向の寛削り。
P-9	土師器 甕	南壁中央部 床面	口縁部～体 部上半片	残存高7.9 口径(20.6)	⑤砂粒を多く含む。 ⑥良好 ⑦にぶい褐色 7.5YR6/3	口縁部は「コ」の字状をなし上半は外傾する。胴部はやや膨らみをもつ。口縁部内外面横撫で。胴部外面横方向の寛削り、内面横撫で。

宮田東 IV区4号住居(1)

番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(cm)	胎土・焼成・色調	特徴・その他
P-1	須恵器 坏	覆土	2/3残存	器高4.2 口径13.8 底径6.0	⑤砂粒を含む。 ⑧軟質 ⑨灰黄色2.5 Y7/2	体部は内湾して立ち上がり、口縁部はそのまま外傾する。内外面輪軸目跡。底部は突出し右回転糸切り無調整。

公田東 IV区 4号住居 (2)

番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(cm)	胎土・焼成・色調	特徴・その他
P-2	土師器 壺	覆土	口縁部～体部上半片	残存高8.7 口径(18.4)	◎砂粒を多く含む。 ◎良好 ◎橙色5YR 6/8	口縁部はやや崩れた「コ」の字状をなし上半は外反する。体部はやや膨らみをもつ。口縁部内外面横撫で。体部外面刮削り、内面横撫で。
P-3	土師器 壺	覆土	口縁部～体部上半片	残存高6.5 口径(20.0)	◎砂粒を多く含む。 ◎良好 ◎橙色2.5 YR6/6	口縁部はやや崩れた「コ」の字状をなし上半は内反ぎみに開く。中に1条の輪痕み痕が走る。口縁部内外面横撫で。体部外面横撫で、内面横撫で。

公田東 IV区 5 B号住居

番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(cm)	胎土・焼成・色調	特徴・その他
P-1	土師器 坏	北東隅覆土	完形	器高3.8 口径12.2	◎砂粒を多く含む。 ◎良好 ◎橙色5YR 6/8	口縁部は短く内傾し、底体部は丸く深い。口縁部内外面横撫で。底体部外面多方向の刮削り、内面横撫で。

公田東 IV区 7号住居

番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(cm)	胎土・焼成・色調	特徴・その他
P-1	土師器 坏	覆土	口縁部一部欠損	器高3.3 口径12.6	◎砂粒を多く含む。 ◎良好 ◎橙色5YR 6/8	口縁部はやや内傾ぎみに立ち上がり、底体部は丸く浅い。口縁部内外面横撫で。底体部外面刮削り、内面横撫で。
P-2	土師器 壺	覆土	口縁部～体部上半片	残存高13.2 口径(23.3)	◎砂粒を多く含む。 ◎良好 ◎橙色5YR 6/6	口縁部は外傾して開き頸部は「く」の字状となる。胴部は膨らみが無い長胴。口縁部内外面横撫で。体部外面刮削り、内面横撫で。

公田東 V区 2号住居

番号	種類	出土位置	残存状態	計測値(cm・g)	石質	特徴・その他
S-1	高麗石	覆土	完存	長さ10.3 幅5.3 厚さ2.3 重さ243g	安賀安山岩	扁平で長楕円形の河原石を使用。両端部や両側縁部に細かい打痕がある。
S-2	高麗石	カマド内覆土	完存	長さ12.7 幅6.3 厚さ4.1 重さ483g	溶結凝灰岩	長楕円形の河原石を使用。両端部に集中した打痕がある。

公田東 V区 4号住居

番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(cm)	胎土・焼成・色調	特徴・その他
P-1	土師器 坏	カマド内	完形	器高4.8 口径11.3	◎砂粒を含む。◎不良 ◎橙色5 YR 7/6	口縁部は短く内傾。底体部は丸く深い。口縁部内外面横撫で。底体部外面刮削り、内面横撫で。
P-2	土師器 坏	カマド内	完形	器高3.6 口径11.6	◎砂粒を含む。◎良好 ◎橙色7.5YR 6/8	口縁部は短く内傾。底体部は丸く深い。口縁部内外面横撫で。底体部外面刮削り、内面横撫で。
P-3	土師器 坏	覆土	2/3残存	器高4.5 口径14.4	◎砂粒を含む。◎良好 ◎橙色5 YR 6/8	口縁部は内反し、底体部は丸く深い。口縁部内外面横撫で。底体部外面刮削り、内面横撫で。
P-4	土師器 壺	カマド内	口縁部～胴部上半片	残存高16.5 口径23.0 胴部最大径17.5	◎砂粒を多く含む。 ◎不良 ◎浅黄色 2.5YR7/3	口縁部は強く外反して開く。体部は長胴。口縁部内外面横撫で。体部外面斜位の刮削り、内面横撫で斜位の刮削り。
番号	種類	出土位置	残存状態	計測値(cm・g)	石質	特徴・その他
S-1	高麗石	覆土	完存	長さ13.8 幅7.7 厚さ4.0 重さ611g	安賀安山岩	扁平で楕円形をなす河原石を使用。裏面が磨かれている。
S-2	高麗石	覆土	完存	長さ13.6 幅8.5 厚さ3.2 重さ565g	粗粒輝石安山岩	扁平で楕円形をなす河原石を使用。全面が良く磨かれている。

公田東 V区 6号住居

番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(cm)	胎土・焼成・色調	特徴・その他
P-1	須恵器 高台付椀 (曇書土師)	貯蔵穴内	1/2残存	器高5.6 口径14.8 底径7.0	◎砂粒を含む。◎軟質 ◎黄灰色2.5 Y6/1	体部は外傾して立ち上がり、口縁部はやや外反し肥厚する。横壁成形。底部右側転削り周縁部横撫で調整付高台。内面に「九九」の2文字が曇書されている。

公田東 Y区9号住居

番号	種類・部材	出土位置	残存状態	計測値(cm)	胎土・焼成・色調	特徴・その他
P-1	土師器 坏	カマド脇	2/3 残存	器高5.8 口径17.6	①砂粒を多く含む。 ②良好 ③褐色5YR 6/6	大型の坏で口径部は短く内傾し、底部は丸く深い。 口径部内外面横溝で、底外部外面寛削り、内面横溝で。
P-2	土師器 小型甕	カマド内	2/3 残存	器高18.6 口径14.5 体部最大径15.9 底径9.0	①砂粒を多く含む。 ②良好 ③にぶい褐色 5 YR6/4	口径部は外反して開き、頸部は緩やかに括れる。体部は緩やかに膨らみ、底部は平底。口径部内外面横溝で、胴部外面縦位と斜位の寛削り、内面横溝で。
P-3	土師器 甕	北東隅床面	2/3 残存	器高21.8 口径17.0 体部最大径19.8 底径7.5	①砂粒を多く含む。 ②良好 ③褐色7.5 YR6/6	口径部は外反して開き、頸部は緩やかに括れる。体部は膨らみ、底部は平底。口径部内外面横溝で、体部外面横位と斜位の寛削り、内面横溝で。

公田池尻 3区2号住居

番号	種類・部材	出土位置	残存状態	計測値(cm)	胎土・焼成・色調	特徴・その他
P-1	土師器 坏	北壁中央部 床面	口径部～底 体部小片	残存高4.1 口径(12.2)	①砂粒を含む。 ② 良好 ③にぶい褐色 7.5YR7/4	口径部は外傾して開き、腹部はわずかに突出し緩やかに屈曲、底体部は丸く浅い。口径部内外面横溝で、底外部外面寛削り、内面横溝で。
P-2	土師器 坏	覆土	口径部～底 体部小片	残存高4.1 口径(16.1)	①砂粒を多く含む。 ②良好 ③褐色5YR 7/6	口径部は短く内傾し、底体部は丸く浅い。口径部内外面横溝で、底外部外面寛削り、内面横溝で。
P-3	土師器 壺	中央部床面	口径部～体 部上半残存	残存高6.6 口径10.5	①砂粒を多く含む。 ②良好 ③褐色5YR 7/6	口径部はやや内反し、頸部は段を持って屈曲する。口径部内外面横溝で、体部外面横位の寛削り、内面横位の寛削り。
P-4	土師器 甕	中央部床面	底部欠損	残存高15.9 口径13.1 体部最大径14.8	①砂粒を多く含む。 ②良好 ③にぶい褐色 5 YR6/4	口径部は外反し、頸部は小段をもち緩やかに屈曲、体部はやや膨らみをもつ。口径部内外面横溝で、体部外面横位と斜位の寛削り、内面横位の寛削り。

公田池尻 3区5号住居

番号	種類・部材	出土位置	残存状態	計測値(cm)	胎土・焼成・色調	特徴・その他
P-1	土師器 坏	南東隅覆土	口径部～底 体部小片	残存高3.4 口径(12.5)	①砂粒を含む。 ② 良好 ③褐色5 YR 6/6	口径部はわずかに内傾し、底体部は丸く浅い。口径部内外面横溝で、底外部外面寛削り、内面横溝で。
P-2	土師器 坏	カマド前床 面	口径部～底 体部小片	残存高3.7 口径(12.0)	①砂粒を多く含む。 ②不良 ③にぶい褐色 7.5YR6/4	口径部はやや外反し、底体部は丸く浅い。口径部内外面横溝で、底外部外面寛削り、内面横溝で。
P-3	土師器 甕	カマド前床 面	口径部～体 部上半片	残存高14.0 口径(17.1)	①砂粒を多く含む。 ②良好 ③にぶい褐色 7.5YR7/4	口径部は強く外反し、頸部は緩やかに括れ、体部はわずかに膨らみ具。口径部内外面横溝で、体部外面斜位の寛削り、内面横位の寛削り、一部に輪轆痕を残す。
P-4	土師器 甕	カマド内	口径部～体 部上半片	残存高10.8 口径21.7	①砂粒を多く含む。 ②良好 ③褐色5YR 7/6	口径部は強く外反し、体部は直線的に下る長胴。口径部内外面横溝で、体部外面寛削り、前面磨滅。
P-5	土師器 甕	北東隅床面	底部欠損	残存高32.3 口径23.6 体部最大径17.4	①砂粒を多く含む。 ②良好 ③褐色5YR 6/6	口径部は強く外反し、体部は直線的に下る長胴。口径部内外面横溝で、体部外面縦位と斜位の寛削り、内面横位の寛削り。

公田池尻 3区7号住居(1)

番号	種類・部材	出土位置	残存状態	計測値(cm)	胎土・焼成・色調	特徴・その他
P-2	須恵器 坏	北壁中央部 床面	2/3 残存	器高3.9 口径13.6 底径10.0	①砂粒を多く含む。 ②硬質 ③灰色N6/ 0	体部は外傾して立ち上がり、口径部はそのままだ外傾して開く。底部平底。輪轆成形。底外部外面縦切り後周縁部無で調整。
P-3	土師器 坏	覆土	口径部～底 部小片	器高2.7 口径(11.8) 底径(8.0)	①砂粒を多く含む。 ②良好 ③明赤褐色 5 YR5/6	口径部は外傾して開き、底部はやや内反する。底部平底。口径部内外面横溝で、底外部外面寛削り内面横溝で、混入したものとと思われる。
P-4	土師器 坏	覆土	口径部～底 体部小片	残存高3.2 口径(13.2)	①砂粒を多く含む。 ②良好 ③にぶい褐色 7.5YR7/4	口径部は短くわずかに内傾し、底体部は丸くやや内傾。口径部内外面横溝で、底外部外面寛削り、内面横溝で。

公田池尻 3区7号住居(2)

番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(cm)	胎土・焼成・色調	特徴・その他
P-5	土師器 環	覆土	1/4 残存	残存高4.1 口径(12.6)	◎砂粒を多く含む。 ◎良好 ◎褐色5YR 6/6	口縁部は内反し、端部はやや玉縁状となる。底体部は丸く深い。口縁部内外面横撫で。底体部外面寛削り、内面撫で。
P-6	土師器 大型環	北西隅覆土	口縁部～底 体部片	残存高5.5 口径(25.6)	◎砂粒を含む。◎ ◎良好 ◎褐色5 YR 6/8	口縁部は直立し、端部はやや外反する。底体部は丸くやや深い。口縁部内外面横撫で。底体部外面寛削り、内面撫で。
P-7	土師器 大型環	覆土	口縁部～底 体部片	残存高5.1 口径(20.0)	◎砂粒を多く含む。 ◎良好 ◎褐色2.5 YR6/6	口縁部は外反して開き、底体部は丸く浅い。口縁部内外面横撫で。底体部外面寛削り、内面撫で。
P-8	土師器 鉢	北壁中央部 覆土	口縁部～体 部片	残存高10.1 口径(28.4)	◎砂粒を多く含む。 ◎良好 ◎にぶい橙 色7.5YR7/4	口縁部はやや外反し、体部はわずかに膨らみをもつ。口縁部内外面横撫で。体部外面縦位の寛削り、内面横位の寛撫で。
P-9	土師器 壺	南西隅覆土	口縁部～体 部上半片	残存高9.4 口径(22.0)	◎砂粒を多く含む。 ◎良好 ◎褐色2.5 YR6/8	口縁部は外反して開き、体部は膨らみをもつ。口縁部内外面横撫で。体部外面縦位の寛削り、内面横位の寛撫で。
番号	種類	出土位置	残存状態	計測値(cm・g)	石質	特徴・その他
S-1	麻織石	中央部覆土	充存	長さ11.5 幅5.0 厚さ4.3 重さ400g	ひん岩	長楕円形の河原石を使用。両端部に打痕がある。
S-2	麻織石	北西隅覆土	充存	長さ14.7 幅6.4 厚さ5.7 重さ750g	溶結凝灰岩	長楕円形をなす断面が三角形の河原石を使用。

公田池尻 4区11号住居

番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(cm)	胎土・焼成・色調	特徴・その他
P-1	土師器 環	カマド内	ほぼ完形	器高2.9 口径11.0	◎砂粒を多く含む。 ◎良好 ◎明赤褐色 5 YR5/6	口縁部は短く内傾し、底体部は丸く浅い。口縁部内外面横撫で。底体部外面寛削り、内面撫で。
P-2	土師器 環	カマド内	2/3残存	器高4.1 口径12.5	◎砂粒を多く含む。 ◎良好 ◎にぶい橙 色7.5YR6/4	口縁部は短く内傾し、底体部は丸くやや深い。口縁部内外面横撫で。底体部外面寛削り、内面撫で。
P-3	土師器 環	カマド内	ほぼ完形	器高4.2 口径13.0	◎砂粒を多く含む。 ◎良好 ◎にぶい橙 色5 YR7/4	口縁部は短く内反し、底体部は丸く深い。口縁部内外面横撫で。底体部外面寛削り、内面撫で。
P-4	土師器 壺	カマド内	口縁部～体 部下半残存	残存高17.6 口径11.6 体部最大径17.5	◎砂粒を多く含む。 ◎不良 ◎にぶい黄 色2.5Y6/3	口縁部は短く外反し、頸部は緩やかに屈曲する。体部は膨らみをもつ。口縁部内外面横撫で。体部外面面割減下半部斜位の寛削り、内面横位の寛撫で。
P-5	土師器 壺	カマド内	口縁部～体 部上半残存	残存高16.4 口径26.5 体部最大径22.2	◎砂粒を多く含む。 ◎良好 ◎にぶい橙 色5 YR6/4	口縁部は強く外反し、頸部は「く」の字に屈曲する。体部は直線的な長胴。口縁部内外面横撫で。外面に輪模み痕がある。体部外面斜位の寛削り、内面横位の撫でと横位の寛撫で。
P-6	土師器 壺	覆土	一部欠損	器高34.0 口径(22.7) 体部最大径19.2 底径5.2	◎砂粒を多く含む。 ◎良好 ◎にぶい橙 色7.5YR6/4	口縁部は強く外反し、頸部は緩やかに「く」の字に屈曲する。体部はわずかに膨らみをもつ長胴。口縁部内外面横撫で。体部外面斜位の寛削り、内面横位の寛撫で、下半部に接合痕がある。
P-7	土師器 壺	覆土	口縁部～体 部下半残存	残存高32.5 口径22.0 体部最大径18.1	◎砂粒を多く含む。 ◎良好 ◎にぶい橙 色5 YR6/4	口縁部は強く外反し、頸部は緩やかに「く」の字に屈曲する。体部はわずかに膨らみをもつ長胴。口縁部内外面横撫で。体部外面縦位の寛削り、内面横位の寛撫で。
P-8	土師器 壺	カマド内	口縁部～体 部下半残存	残存高31.6 口径23.6 体部最大径20.1	◎砂粒を多く含む。 ◎良好 ◎褐色5YR 6/6	口縁部は強く外反し、端部はやや肥厚する。頸部は緩やかに「く」の字に屈曲する。体部はわずかに膨らみをもつ長胴。口縁部内外面横撫で。体部外面縦位の寛削り、内面横位の撫で。
番号	種類	出土位置	残存状態	計測値(cm・g)	石質	特徴・その他
S-1	台石	中央部床面	一部欠損	長さ26.7 幅25.0 厚さ7.9 重さ6480g	粗粒輝石安山岩	扁平で楕円形をなす大型の河原石を使用。表裏面とも非常に良く磨れている。
S-2	台石	掘り方	破片	残存長14.0 幅 12.7 厚さ4.8 重さ1050g	粗粒輝石安山岩	扁平な河原石を使用。表面は血状に良く磨かれている。裏面には敲打痕が3ヶ所みられる。

宮田池尻 4区12号住居

番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(cm)	胎土・焼成・色調	特徴・その他
P-1	土師器 坏	中央部覆土	ほぼ完形	器高3.2 口径11.8	◎砂粒を多く含む。 ◎良好 ◎にぶい褐色5 YR6/4	口縁部は短く直立し、底体部は丸く浅い。口縁部内外面横撫で。底体部外面磨削り内面撫で。
P-2	土師器 鉢	覆土	口縁部～体部上半片		◎砂粒を多く含む。 ◎良好 ◎にぶい褐色5 YR6/4	口縁部は短く外傾し、無帯は「く」の字に屈曲する。体部は翻らみをもつ。口縁部内外面横撫で。胴部外面横位の磨削り、内面撫で。
番号	種類	出土位置	残存状態	計測値(cm・g)	石質	特徴・その他
S-1	磨石	西壁中央部覆土	破片	残存長9.3 幅12.1 厚さ4.6 重さ795g	粗粒輝石安山岩	扁平な河原石を使用。表面面とも良く磨かれている。使用により破損した可能性がある。
S-3	台石	覆土	一部欠損	長さ17.5 幅15.8 厚さ9.5 重さ3180g	粗粒輝石安山岩	不能丸方形の河原石を使用。表面は丸底状に窪み、裏面は平直となっている。木目の粗い台石である。

宮田池尻 8-2区6号住居

番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(cm)	胎土・焼成・色調	特徴・その他
P-1	須恵器 坏	南東隅覆土	底部片	残存高1.3 底径5.1	◎砂粒を多く含む。 ◎硬質 ◎灰色N4/0	轆轤成形。底部右回転糸切り無調整。
P-2	土師器 坏	貯蔵穴内	ほぼ完形	器高3.4 口径11.3 底径8.3	◎砂粒を多く含む。 ◎良好 ◎にぶい褐色5 YR6/4	体部は外傾して立ち上がり、口縁部はそのまま開く。底部平直。口縁部～体部内外面横撫で。底部外面磨削り、内面撫で。
P-3	土師器 罍	貯蔵穴内	口縁部～体部上半片	残存高14.2 口径19.6 体部最大径20.4	◎砂粒を多く含む。 ◎良好 ◎褐色5YR6/6	口縁部は「コ」の字状をなし、体部はやや翻らみをもつ。口縁部内外面横撫で、外面に輪轆み直を獲す。胴部～体部外面横位と斜位の磨削り、内面横位の磨削で。無帯内面に一部輪轆み直を獲す。

宮田池尻 9-1区1号住居

番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(cm)	胎土・焼成・色調	特徴・その他
P-1	須恵器 坏	北壁中央部覆土	1/4残存	器高3.5 口径(13.2) 底径(6.4)	◎砂粒を多く含む。 ◎硬質 ◎灰色N5/0	体部はやや内湾して立ち上がり、口縁部は外反する。轆轤成形。底部右回転糸切り無調整。
P-2	土師器 坏	南東隅床面	1/4残存	器高3.3 口径(12.0) 底径(9.6)	◎砂粒を多く含む。 ◎不良 ◎にぶい褐色7.5YR7/4	体部は外傾して立ち上がり、口縁部はそのまま外傾する。底部平直。口縁部～体部内外面横撫で。底部外面磨削り内面撫で。

宮田池尻 9-1区2号住居

番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(cm)	胎土・焼成・色調	特徴・その他
P-1	須恵器 高台付碗	南東隅覆土	一部欠損	器高4.9 口径12.9 底径7.3	◎砂粒を多く含む。 ◎不良 ◎灰黄褐色10YR6/2	体部は外傾して立ち上がり、口縁部はそのまま外傾する。轆轤成形。底部右回転糸切り後高台。

宮田東 II区3号住居(1)

番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(cm)	胎土・焼成・色調	特徴・その他
P-1	須恵器 坏	覆土	1/3残存	器高3.9 口径(11.4) 底径(6.4)	◎砂粒を多く含む。 ◎硬質 ◎灰オリブ色7.5YR5/2	体部は外傾して立ち上がり、口縁部はそのまま外傾して開く。轆轤成形。底部右回転糸切り無調整。外面自然輪付着。
P-2	須恵器 坏	覆土	2/3残存	器高4.2 口径12.4 底径5.6	◎砂粒を含む。 ◎軟質 ◎灰白色7.5 Y7/1	体部はやや内湾して立ち上がり、口縁部は外傾して開く。轆轤成形。底部右回転糸切り無調整。
P-3	須恵器 坏	覆土	1/3残存	器高4.4 口径(11.0) 底径(6.0)	◎砂粒を含む。 ◎硬質 ◎灰色5 Y6 /1	体部はやや外傾して立ち上がり、口縁部はそのまま外傾して開く。轆轤成形。底部右回転糸切り後周縁部磨削調整。
P-4	土師器 坏	覆土	1/2残存	器高2.6 口径12.8	◎砂粒を多く含む。 ◎不良 ◎褐色5YR6/6	口縁部～口縁部はわずかに内湾して開く。底部平直。口縁部～体部横撫で。底部外面磨削り、内面撫で。

公田東 II区3号住居(2)

番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(cm)	胎土・焼成・色調	特徴・その他
P-5	土師器 土師器 坏	覆土	2/3残存	器高2.6 口径12.5	⑤砂粒を多く含む。 ⑥不良 ⑦褐色5YR 6/6	体部は内湾して立ち上がり、口縁部は直立する。底部平底。口縁部～体部内外面横撫で。底部外面直削り、内面撫で。
P-6	土師器 坏	覆土	ほぼ完形	器高2.7 口径12.0	⑤砂粒を多く含む。 ⑥不良 ⑦にぶい黄 褐色10YR7/2	体部～口縁部はほぼ直立する。底部平底。口縁部～体部横撫で。底部外面直削り、内面撫で。
P-7	土師器 坏	覆土	2/3残存	器高3.3 口径12.0	⑤砂粒を多く含む。 ⑥不良 ⑦褐色7.5 YR6/6	体部はやや内湾して立ち上がり、口縁部は直立する。底部平底状。口縁部～体部横撫で。底部外面直削り、内面撫で。
P-8	土師器 坏	覆土	1/3残存	器高3.1 口径(12.4)	⑤砂粒を多く含む。 ⑥良好 ⑦にぶい黄 褐色7.5YR7/3	体部はやや内湾して立ち上がり、口縁部は直立する。底部平底状。口縁部～体部横撫で。底部外面直削り、内面撫で。
P-9	土師器 坏	覆土	2/3残存	器高3.3 口径(12.8)	⑤砂粒を多く含む。 ⑥不良 ⑦褐色7.5 YR7/6	体部はわずかに外傾して立ち上がり、口縁部もそのままわずかに外傾して開く。口縁部～体部内外面横撫で。底部外面直削り、内面撫で。
番号	種類	出土位置	残存状態	計測値(cm・g)	石質	特徴・その他
S-1	磨石	覆土	完存	長さ12.8 幅8.0 厚さ5.1 重さ734g	粗粒輝石安山岩	楕円形の河原石を使用。表面には敲打による浅い窪みが1個あり、裏面は平坦で良く磨れている。

公田池尻 7区3号井戸(1)

番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(cm)	胎土・焼成・色調	特徴・その他
P-1	須恵器 転用表	覆土	破片	径8.5+ 厚さ1.6	⑤砂粒・小礫を含む。 ⑥硬質 ⑦灰色 N4/0	沓か栗の底部を転用。周縁部は盛り上がり円形に磨られている。内面は平坦で非常に良く磨れている。
P-2	須恵器 高台付椀	覆土	一部欠損	器高4.8 口径13.6 底径6.7	⑤砂粒・小礫を含む。 ⑥軟質 ⑦灰色 7.5Y6/1	体部はやや内湾して立ち上がり、口縁部は外反する。横縁成形。底部右回転糸切り後付高台。
P-3	須恵器 高台付椀	覆土	1/3残存	器高5.3 口径(13.2) 底径6.5	⑤砂粒を含む。⑥ 軟質 ⑦灰白色5Y 7/1	体部は外傾して立ち上がり、口縁部はやや外反する。横縁成形。底部右回転糸切り後付高台。
P-4	須恵器 高台付椀	覆土	1/3残存 高台部剥離	残存高5.0 口径(14.0)	⑤砂粒を多く含む。 ⑥軟質 ⑦灰白色10 Y7/1	体部は外傾して立ち上がり、口縁部はやや外反する。横縁成形。底部右回転糸切り。
P-5	須恵器 高台付7椀 (墨書土器)	覆土	口縁部片	残存高3.0 口径(12.3)	⑤砂粒を含む。⑥ 硬質 ⑦黒色5Y2 /1	口縁部は外反する。横縁成形。内面に「奉」が墨書されている。
P-6	須恵器 坏	覆土	体部下半～ 底部片	残存高3.8 底径5.4	⑤砂粒を多く含む。 ⑥軟質 ⑦灰黄色 2.5Y7/2	体部は直線的に立ち上がる。横縁成形。底部回転糸切り無残物。
P-8	須恵器 大甕	覆土	口縁部片	残存高16.0 口径(46.0)	⑤砂粒・小礫を含む。 ⑥硬質 ⑦灰色N6 /0	口縁部は外反し、肩部は上下に掴み出されている。口クロ成形。
P-9	須恵器 高台付椀	覆土	1/2残存	器高5.1 口径(15.0) 底径(6.2)	⑤砂粒を多く含む。 ⑥軟質 ⑦暗灰色N 3/0	体部は内湾して立ち上がり、口縁部は外反しやや肥厚する。横縁成形。底部付高台。
番号	種類	出土位置	残存状態	計測値(cm・g)	石質	特徴・その他
S-1	砥石	覆土	ほぼ完形	長さ7.6 幅6.3 厚さ3.5 重さ85g	二ッ岳緑石	楕円形の河原石を使用。表面は敲打による割れがあり太い縁状痕が1条走る。裏面は平坦に磨れており太い縁状痕が6条走る。側面にも敲打による割れがみられる。
番号	器種	出土位置	寸法 長さ・幅・厚さ(cm)	木取り	特徴	登録 番号
W-1	用途不明	164	33.4*×1.0～1.3	割材	断面形が楕円形の細い棒である。一方は、しだいに径が細くなる傾向がある。	2
W-2	曲げ物底板	145	直径：15.7*厚さ：0.8	板目	銅板を設置する部分を一般広く削る。銅板と底板の固定に使用した木の皮が4箇所に残る。	4

公田池尻 7区3号井戸(2)

番号	器種	出土位置	寸法		木取り	特徴	登録番号
			長さ・幅・厚さ (cm)				
W-3	用途不明	埋土	16.6'×9.9'×1.6		板目	板状の用途不明木製品である。端部は丸みを帯びる。端部は斜めに切断している。他端は焼失している。	11
W-4	杭	164	32.7'×7.0		丸木	やや曲がった幹の一端を粗く尖らす。先端に近い部分で焼失している。	1
W-5	板材	139	69.3'×22.5'×2.3		板目	一方の木口は欠損、他方は焼失する。表面の調整は行われていない。	12

公田池尻 8-2区1号井戸(1)

番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(cm)	胎土・焼成・色調	特徴・その他
P-1	灰軸陶器 耳皿	埋土	口縁部欠損	残存高2.4 底径4.4	④密 ④硬質 ④灰 白色N8/0	耳部は体部中位で内側に折り曲げられている。轆轤成形。付高台。内側に浅緑色の釉が施されている。
P-2	灰軸陶器 皿	埋土	1/4残存	器高2.7 口径(14.2) 底径(6.6)	④密 ④硬質 ④灰 白色5Y7/1	体部は外方へ大きく開き、口縁部は外反し玉縁状となる。轆轤成形。付高台。灰白色の釉が施されている。
P-3	須恵器 転用碗	埋土	破片	残存高2.8 掴み部基部径 (8.0)	④砂粒を含む。④ 硬質 ④灰白色N7 /0	蓋を転用し、天井部内面が非常に良く磨かれ、黒が残存している。轆轤成形。外面に淡緑色の自然釉付着。
P-4	須恵器 高台付椀 (墨書土器)	埋土	体部下半～ 底部残存	残存高2.8 底径5.0	④砂粒を含む。④ 硬質 ④灰色7.5Y6 /1	体部は外傾して立ち上がる。轆轤成形。回転未切り後付高台。体部外面に墨書がある。
P-5	須恵器 高台付椀 (墨書土器)	埋土	底部片	残存高1.7 底径7.2	④砂粒を含む。④ 硬質 ④灰色N5/0	轆轤成形。底部右回転未切り後付高台。底部内面に「日」の墨書がある。
P-6	須恵器 杯 (墨書土器)	埋土	体部下半～ 底部残存	残存高2.7 底径5.8	④砂粒を含む。④ 硬質 ④暗灰色 2.5Y4/2	体部はやや内湾して立ち上がる。底部右回転未切り無調整。体部外面に墨書がある。
P-7	須恵器 高台付椀 (墨書土器)	埋土	高台部欠損	残存高4.3 口径13.6 底径6.8	④砂粒を多く含む。 ④硬質 ④灰白色N 7/0	体部はやや内湾して立ち上がり、口縁部は外反する。轆轤成形。底部右回転未切り後付高台。底部内面に不明墨書がある。
P-8	須恵器 杯	埋土	ほぼ完形	器高4.1 口径12.7 底径5.6	④砂粒を多く含む。 ④硬質 ④灰白色5 Y7/1	体部は内湾して立ち上がり、口縁部は外反する。口ロ成形成。底部右回転未切り無調整。
P-9	須恵器 杯	埋土	1/2残存	器高4.5 口径(14.6) 底径6.0	④砂粒を多く含む。 ④硬質 ④灰色N4 /0	体部は内傾して立ち上がり、口縁部はそのまま外傾する。轆轤成形。底部右回転未切り無調整。
P-10	須恵器 杯	埋土	1/3残存	器高4.0 口径(12.6) 底径5.6	④砂粒を多く含む。 ④軟質 ④灰白色 2.5Y8/1	体部は内湾して立ち上がり、口縁部は外反する。口ロ成形成。底部右回転未切り無調整。
P-11	須恵器 高台付椀	埋土	1/2残存	器高5.1 口径(14.8) 底径(7.0)	④砂粒を多く含む。 ④軟質 ④灰色7.5 Y4/1	体部は内湾して立ち上がり、口縁部は外反しやや肥厚する。轆轤成形。底部右回転未切り無調整。
P-12	須恵器 高台付椀	埋土	体部下半～ 底部残存	残存高3.2 底径7.8	④砂粒・小礫を含む。 ④軟質 ④におい黄 褐色10YR7/3	体部は内湾して立ち上がる。轆轤成形。底部右回転未切り後付高台。
P-13	土師器 杯	埋土	1/2残存	器高3.3 口径(12.6) 底径(7.6)	④砂粒を多く含む。 ④良好 ④におい橙 色7.5YR6/4	体部は外傾して立ち上がり、口縁部はそのまま外傾して開く。底部平底。口縁部内外面横溝で。体部外面直削り後押圧。内面横溝で。底部外面直削り内面直削り。
P-14	須恵器 壺	埋土	口縁部片	残存高8.3 口径(47.0)	④砂粒を多く含む。 ④硬質 ④灰色5Y 4/1	口縁部は外傾して開き、端部は上下に丸く掴み出されている。轆轤成形。
P-15	須恵器 壺	埋土	口縁部片	残存高6.7 口径(40.6)	④砂粒・小礫を含む。 ④硬質 ④暗灰色 N3/0	口縁部は外傾して開き、端部は上下に丸く掴み出されている。轆轤成形。
P-16	須恵器 壺	埋土	体部下半～ 底部片	残存高7.0 底径(12.0)	④砂粒を多く含む。 ④硬質 ④暗灰色N 3/0	体部下端は外傾して立ち上がる。底部平底。轆轤成形。

公田池尻 8-2区1号井戸(2)

番号	種類・部種	出土位置	残存状態	計測値(cm)	胎土・焼成・色調	特徴・その他
P-17	須恵器 罍	覆土	口縁部～体 部上半片	残存高13.9 口徑(27.0)	◎砂粒を多く含む。 ◎硬質 ◎灰色N5 /0	口縁部は外反し、底部は上下に丸く肌み出されている。 体部上半は強く膨らむ。輪縁成形。
P-18	土師器 罍	覆土	口縁部～体 部上半片	残存高7.2 口徑(18.4)	◎砂粒を多く含む。 ◎良好 ◎黒褐色 7.5YR3/1	口縁部は「コ」の字状をなし、体部はやや膨らみをもつ。 口縁部内外面横撫で、体部外面横撫での磨削り、内面横 撫での磨削り。
P-19	土師器 台付罍	覆土	台部残存	残存高4.5 台高部径8.9	◎砂粒を多く含む。 ◎良好 ◎にぶい橙 色5YR6/4	台部は外側して開き、台高部は外方へ開く。台部内外 面横撫で、底部斜位の磨削り。
P-20	土師器 台付罍	覆土	体部下端～ 台部残存	残存高4.7 台高部径8.8	◎砂粒を多く含む。 ◎良好 ◎褐色10 YR4/1	台部は外側して開き、台高部は外方へ開く。体部外面 横撫での磨削り、内面横撫で。
P-21	土師	覆土	完形	長さ3.6 径2.2 孔径0.4 重さ14g	◎砂粒を含む。◎ 不良 ◎にぶい黄色 2.5YR6/3	丸みを帯びた紡錘形をなし、中央部を小孔が貫通する。
P-22	土師	覆土	完形	長さ3.3 径1.9 孔径0.4 重さ11g	◎砂粒を含む。◎ 不良 ◎灰白色5YR 7/1	丸みを帯びた紡錘形をなし、中央部を小孔が貫通する。
P-23	土師	覆土	ほぼ完形	長さ4.1 径1.4 孔径0.3 重さ7g	◎砂粒を含む。◎ 不良 ◎灰黄色2.5 Y7/2	細長い紡錘形をなし、中央部を小孔が貫通する。
P-24	土師	覆土	完形	長さ4.1 径1.3 孔径0.5 重さ6g	◎砂粒を含む。◎ 不良 ◎褐色10 YR5/1	細長い紡錘形をなし、中央部を小孔が貫通する。
番号	種類	出土位置	残存状態	計測値(cm・g)	石質	特徴・その他
S-1	紡錘草	覆土	完存	径4.8 厚さ1.5 孔径0.9 重さ54g	蛇紋岩	新面形が台形をなすやや扁平な紡錘草で、全面が研磨 されている。表面や側面に多く刻線があり、表面に 「神」の刻線文字がみられる。
番号	器種	出土位置	寸法 長さ・幅・厚さ(cm)	木取り	特徴	登録 番号
W-1	罍	埋土	6.2*2.3*0.9	板目	罍の背部分の破片である。蓋は付け根部分が残 る程度である。漆は認められない。	8
W-2	容疑底板	埋土	直径:13.6*0.6	板目	約2/3欠損する。木釘は認められず、1枚板で 製作されていたと考えられる。	9

公田池尻 8-2区3号井戸

番号	種類・部種	出土位置	残存状態	計測値(cm)	胎土・焼成・色調	特徴・その他
P-1	土師器 罍	覆土	ほぼ完形	罍高3.0 口徑11.3 底径8.4	◎砂粒を多く含む。 ◎不良 ◎にぶい褐 色2.5YR4/1	体部は外傾して立ち上がり、口縁部は内反する。底部 平底。口縁部内外面横撫で、底部外面横撫での内面横 撫での磨削り。
P-2	須恵器 坏か碗	覆土	口縁部～体 部片	残存高4.8 口徑(14.4)	◎砂粒を含む。 ◎不良 ◎黒褐色2.5 Y4/1	体部は外傾して立ち上がり、口縁部はそのまま外傾し て開く。輪縁成形。

公田池尻 9-3区6号井戸

番号	種類・部種	出土位置	残存状態	計測値(cm)	胎土・焼成・色調	特徴・その他
P-1	須恵器 坏	覆土	1/4残存	罍高4.3 口徑(12.0) 底径(7.0)	◎砂粒を多く含む。 ◎硬質 ◎灰色5Y 5/1	体部はわずかに内湾して立ち上がり、口縁部は外傾し て開く。輪縁成形。底部右回転永切り無磨整。

公田東 II区5号土坑(1)

番号	種類・部種	出土位置	残存状態	計測値(cm)	胎土・焼成・色調	特徴・その他
P-1	須恵器 坏	覆土	1/4残存	罍高3.8 口徑(12.4) 底径(7.6)	◎砂粒を含む。 ◎硬質 ◎灰色N6/0	体部は外傾して立ち上がり、口縁部はやや外反する。 輪縁成形。底部右回転永切り無磨整。
P-2	土師器 坏	覆土	2/3残存	罍高2.7 口徑12.2	◎砂粒を多く含む。 ◎不良 ◎にぶい橙 色7.5YR7/3	体部はわずかに内湾して立ち上がり、口縁部はそのまま わずかに内傾して開く。口縁部～体部内外面横撫で、 底部外面横撫での磨削り、内面横撫で。

公田東 II区5号土坑(2)

番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(cm)	胎土・焼成・色調	特徴・その他
P-3	土師器 壺	覆土	口縁部～体部 上半小片	残存高5.0 口径(20.0)	◎砂粒を多く含む。 ◎良好 ◎褐色2.5 YR7/6	口縁部は外傾して開き、頸部はなだらかに「く」の字状に屈曲する。口縁部内外面横撫で、外面に輪積み痕が1条残る。胴部外面横位の寛削り、内面横撫で。

公田東 V区10号土坑

番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(cm)	胎土・焼成・色調	特徴・その他
P-1	須恵器 坏	覆土	1/4 残存	器高3.5 口径(12.6) 底径(7.0)	◎砂粒を含む。◎ 硬質 ◎オリブ灰 色2.5GY6/1	体部はわずかに内湾して立ち上がり、口縁部は外傾して開く。輪軸成形。底部回転調整。

公田池尻 7区27号土坑

番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(cm)	胎土・焼成・色調	特徴・その他
P-1	須恵器 坏	覆土	体部下半～ 底部片	残存高2.0 底径6.1	◎砂粒・小礫を含む。 ◎軟質 ◎灰白色 5Y7/2	体部はやや内湾して立ち上がる。輪軸成形。底部右回転転余り無調整。
P-2	土師	覆土	完形	長さ4.4 径1.7 孔径0.2 重さ11g	◎砂粒を含む。◎ 不良 ◎明赤灰色 2.5YR7/2	紡錘車をなす小型の製品で、中央部を小孔が貫通する。撫で調整痕が残る。
P-3	須恵器 高台付椀	覆土	一部欠損	器高7.0 口径(14.2) 底径7.4	◎砂粒を多く含む。 ◎軟質 ◎灰褐色 7.5YR6/2	体部は外傾して立ち上がり、口縁部は強く外反する。輪軸成形。底部回転余り後付高台。

公田池尻 7区42号土坑

番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(cm)	胎土・焼成・色調	特徴・その他
P-1	土師器 坏	覆土	1/2 残存	器高3.7 口径(12.3) 底径(10.2)	◎砂粒を含む。◎ 良好 ◎褐色5YR 6/6	体部は内湾して立ち上がり、口縁部もそのまま内反のみとなる。底部平底。口縁部内外面横撫で。体部外面押圧痕。底部外面寛削り、内面撫で。

榑島川端 19区13号土坑

番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(cm)	胎土・焼成・色調	特徴・その他
P-1	須恵器 坏	覆土	ほぼ完形	器高4.0 口径12.5 底径6.0	◎砂粒を含む。◎ 軟質 ◎灰白色2.5 Y7/1	体部はわずかに内湾して立ち上がり、口縁部は外反する。輪軸成形。底部回転余り無調整。内面に黒黄斑あり。

榑島川端 2区27号溝

番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(cm)	胎土・焼成・色調	特徴・その他
P-1	須恵器 皿	覆土	底部片	底径(5.7)	◎白色藍物含む。◎ 軟質 ◎褐色2.5YR 6/6	器表面減する。底部回転余り無調整。酸化炭成。
P-2	須恵器 蓋	覆土	1/5 残存	口径(18.1)	◎黒色粒含む。◎昔 通 ◎灰色7.5Y6/1	天井部外面中央回転削り。口縁部下方に折り曲げる。端部肥厚する。

榑島川端 1区33号溝

番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(cm)	胎土・焼成・色調	特徴・その他
P-1	須恵器 椀	覆土	底部片	底径(6.8)	◎白色藍物少量含む。◎ 普通 ◎にぶい黄 褐色10YR6/3	高台欠損。底部右回転余り無調整。胎土やや緻密。
P-2	須恵器 壺	覆土	口縁部片	口径17.1	◎白色藍物含む。◎ やや軟質 ◎灰白色 2.5Y7/1	頸部外面螺旋状の条線。口縁部上方に引き上げる。

榑島川端遺構外(1)

番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(cm)	胎土・焼成・色調	特徴・その他
P-3	灰胎陶器 高台付椀	1区V層	1/4 残存	器高 5.0 口径 (15.2) 底径 (8.0)	◎白色藍物含む。緻 密。◎硬質 ◎黄灰 色2.5Y6/1	体部は内湾して立ち上がり、口縁部は強く外反する。高台は「く」の字に屈曲。口縁部～体部内外面に洗緑色の釉が施されている。

徳島川端遺構外(2)

番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(cm)	胎土・焼成・色調	特徴・その他
P-4	灰釉陶器 高台付皿	2区Q-25	2/3 残存	器高 2.3 口径 (13.2) 底径 6.7	◎緻密。◎硬質 ◎褐色7.5YR6/1	体部→口縁部はわずかに内湾して開く。高台は短く垂直に下る。口縁部→体部内外面に浅緑色の釉が施されている。底部内面に重ね焼き痕あり。
P-2	須恵器 高台付椀	2区Q-23 VI層	1/2 残存	器高 5.0 口径 13.0 底径 6.4	◎白色磁物を含む。 ◎軟質 ◎灰白色 5 YR5/2	体部はやや内湾して立ち上がり、口縁部は外反する。轆轤成形。回転糸切り後付高台。体部内面と底部外面に不明着痕あり。
P-6	平瓦	16区IV層	破片	厚さ 1.7	◎白色磁物を多く含む。 ◎普通 ◎灰褐色5 YR5/2	表面布目痕、裏面撫で。
P-5	平瓦	17区V層	破片	厚さ 1.9	◎白色磁物を含む。 ◎普通 ◎にぶい黄褐色10YR7/3	表面布目痕、裏面撫で。
P-7	平瓦	16区III層	破片	厚さ 1.7	◎白色磁物を含む。 ◎普通 ◎にぶい褐色7.5YR6/4	表面撫で、裏面布目。
P-6	平瓦	20区VIa層	破片	厚さ 2.5	◎白色磁物を多く含む。 ◎普通 ◎灰色7.5YR4/1	表面面とも撫で調整。表面映骨痕あり。

公田東 II区41号溝

番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(cm)	胎土・焼成・色調	特徴・その他
P-1	須恵器 高台付	覆土下層	ほぼ完形	器高3.5 口径12.4 底径5.9	◎小粒・砂粒を含む。 ◎軟質 ◎灰白色 5 Y7/1	体部は内湾して立ち上がり、口縁部は外反する。口口成形。底部右回転糸切り無調整。
P-2	土師器 杯	覆土下層	1/2 残存	器高2.3 口径(11.7)	◎砂粒を含む。◎ 良好 ◎褐色7.5YR 6/6	口縁部は外傾して開き、底体部は丸く浅い。底体部外面寛削り。器面厚減。
P-3	土師器 杯	覆土下層	ほぼ完形	器高3.2 口径12.0	◎砂粒を含む。◎ 良好 ◎にぶい褐色 7.5YR7/3	口縁部はやや外傾して開き、底体部は丸く浅い。口縁部内外面撫削り。底体部外面寛削り、内面撫削り。

公田東 IV区2号溝

番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(cm)	胎土・焼成・色調	特徴・その他
P-1	須恵器 杯	覆土	ほぼ完形	器高3.8 口径11.6 底径7.6	◎砂粒を含む。◎ 硬質 ◎灰白色7.5 Y7/1	体部は深く外傾して立ち上がり、口縁部もそのまま外傾する。轆轤成形。底部右回転糸切り後撫で調整。
P-2	須恵器 杯	覆土下層	2/3 残存	器高3.6 口径(13.0) 底径7.6	◎砂粒・小礫を含む。 ◎硬質 ◎灰白色 7.5Y7/1	体部は外傾して立ち上がり、口縁部もそのまま外傾する。轆轤成形。底部右回転糸切り、周縁部寛削り調整。
P-3	土師器 杯	覆土下層	1/4 残存	器高2.7 口径(10.2)	◎砂粒を含む。◎ 良好 ◎褐色5 YR 6/8	口縁部は内反して開き、底体部は丸く浅い。口縁部内外面撫削り。器面厚減。
P-4	土師器 杯	覆土下層	1/4 残存	器高3.4 口径(12.2)	◎砂粒を含む。◎ 良好 ◎褐色5 YR 6/6	口縁部は内反して開き、底部は玉縁状となる。底部は「く」の字に開出し、底体部は浅く丸い。口縁部内外面撫削り。底体部外面寛削り、内面撫削り。
P-5	土師器 鉢	覆土	1/3 残存	残存高6.7 口径11.2	◎砂粒を多く含む。 ◎良好 ◎褐色5YR 6/6	口縁部は内反みに直立し、底部は玉縁状となる。底部はわずかに段を有し、底体部は丸く深い。口縁部内外面撫削り。底体部外面寛削り、内面撫削り。

公田東 V区12号溝(1)

番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(cm)	胎土・焼成・色調	特徴・その他
P-1	須恵器 杯	覆土	口縁部→体部小片	残存高3.5 口径(13.5)	◎砂粒を含む。◎ 軟質 ◎灰白色5 Y 7/2	体部はやや内湾して立ち上がり、口縁部はわずかに外反する。轆轤成形。
P-2	須恵器 蓋	覆土下層	抓み部→天井部小片	残存高3.7 抓み部径5.0	◎砂粒を多く含む。 ◎軟質 ◎灰色10Y 6/1	抓み部はボタン状をなし、天井部上半は回転寛削り。轆轤成形。

公田東 V区12号溝 (2)

番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(cm)	胎土・焼成・色調	特徴・その他
P-3	土師器 坏	覆土	ほぼ完形	器高3.1 口径11.2	①砂粒を含む。② 良好 ③褐色7.5YR 6/4	口縁部は短くやや外傾して開く。腹部は鈍くやや突出して屈曲する。底体部は丸く浅い。口縁部内外面横溝で、底体部外面直削り、内面撫で。
P-5	土師器 小型壺	覆土	口縁部～胴部小片	残存高6.2 口径8.0	①砂粒を多く含む。 ②良好 ③褐色7.5 YR6/6	口縁部は短く外反して開く。頸部は小段を有し「く」の字に屈曲。体部は膨らみをもつ。口縁部内外面横溝で、体部外面斜位の直削り、内面撫で。
P-6	土師器 坏	覆土	2/3 残存	器高3.5 口径11.6	①砂粒を多く含む。 ②良好 ③褐色5YR 6/8	口縁部は短くやや内傾する。底体部は丸くやや狭い。口縁部内外面横溝で、底体部外面直削り、内面撫で。

公田東 IV区13号溝

番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(cm)	胎土・焼成・色調	特徴・その他
P-1	土師器 坏	覆土	2/3 残存	器高3.1 口径12.4	①砂粒を含む。② 良好 ③にぶい赤 褐色5 YR5/4	体部は内湾して立ち上がり、口縁部はわずかに外反して開く。底部平底。口縁部内外面横溝で、底体部外面直削り、内面撫で。

公田池尻 4区32号溝

番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(cm)	胎土・焼成・色調	特徴・その他
P-1	須恵器 高坏	覆土	坏底部～胴部上半片	残存高7.5 胴部基部径6.3	①砂粒を含む。② 硬質 ③灰色N 5 Y 7/1	坏底部は平坦で斜め外方へ緩やかに立ち上がる。胴部は垂直に垂下し、中位で斜め下方へ緩やかに開く。横溝成形。坏底部外面直削り。

公田池尻 8-2区4号溝

番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(cm)	胎土・焼成・色調	特徴・その他
P-1	須恵器 長頸壺	覆土	頸部片	残存高7.2 頸部基部径5.8	①砂粒を多く含む。 ②硬質 ③灰色N6 /0	下半は直立し上半は強く外反する。横溝成形。

公田池尻 5区7号溝

番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(cm)	胎土・焼成・色調	特徴・その他
P-1	須恵器 長頸壺	覆土下層	口縁部～胴部上半片	残存高14.9 頸部径6.1	①砂粒を多く含む。 ②硬質 ③灰白色N 7/0	口縁部は欠損するが大きく開くと考えられる。体部上半は強く膨らむ。横溝成形。

公田東 II区遺構外

番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(cm)	胎土・焼成・色調	特徴・その他
P-2	須恵器 坏	II区E N-222	1/3 残存	器高3.6 口径(12.1) 底径(5.5)	①砂粒を含む。② 硬質 ③灰色5 Y6 /1	体部はやや内湾して立ち上がり、口縁部はやや外傾して開く。横溝成形。底部回転軸切り後周縁部直調整。
P-3	須恵器 坏	II区E T-223	1/3 残存	器高3.8 口径(12.1) 底径(5.6)	①砂粒を含む。② 硬質 ③灰白色5 Y 7/1	体部は外傾して立ち上がり、口縁部はわずかに外反する。横溝成形。底部回転軸切り後周縁部直調整。
P-4	須恵器 坏	II区E T-220	1/2 残存	器高3.8 口径(12.0) 底径7.4	①砂粒を含む。② 硬質 ③灰色N6/0	体部は外傾して立ち上がり、口縁部もそのまま外傾して開く。横溝成形。底部回転軸切り無調整。
P-5	須恵器 蓋	II区表土	1/2 残存	残存高1.9 口径(13.3)	①砂粒を含む。② 硬質 ③灰色N6/0	天井部は浅く、口縁部は斜め下方に小さく爪み出されている。爪み部欠損。天井部上半回転削り。横溝成形。
P-6	須恵器 蓋	II区F A-232V層	1/3 残存	器高3.7 口径(15.8)	①砂粒・小粒を含む。 ②軟質 ③黄灰色 2.5Y6/1	天井部はやや高く上半は平面をなす。口縁部は斜め外方へ弱く爪み出されている。天井部上半回転削り。横溝成形。

公田東 V区遺構外 (1)

番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(cm)	胎土・焼成・色調	特徴・その他
P-1	灰陶器 椀	公田東V区表土	口縁部～胴部小片	器高4.5 口径(14.5) 底径(7.4)	①白色鉱物粒を含む。 ②硬質 ③灰白色 N8/0	体部は緩やかに内湾して立ち上がり、口縁部はやや外反する。底部は「く」の字に屈曲する付高台。底輪は口縁部～体部上半。

公田東 V区遺構外(2)

番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(cm)	胎土・焼成・色調	特徴・その他
P-4	土師器 坏	公田東V区 Aa-B下層	1/2 残存	器高2.9 口径(10.9)	◎砂粒を多く含む。 ◎良好 ◎褐色5YR 6/6	口縁部は短く外傾し、底面部へなだらかに移行する。 底面部は丸く浅い。口縁部内外面横溝で、底面部外面 寛削り、内面無。
P-5	土師器 坏	公田東V区 GN-312	1/2 残存	器高3.8 口径12.5	◎砂粒を多く含む。 ◎良好 ◎にぶい黄 褐色10YR6/4	口縁部は短く外傾し、底面部へなだらかに移行する。 底面部は丸くやや強い。口縁部内外面横溝で、底面部 外面寛削り、内面無。
P-6	土師器 甕	公田東V区 GU-313	2/3 残存	器高3.5 口径20.0	◎砂粒を多く含む。 ◎良好 ◎褐色5YR 6/6	口縁部は外反して外方へ開き、腰部は緩やかに屈曲す る。底部は丸く浅い。口縁部内外面横溝で、底部外面 寛削り、内面無。

公田池尻 2区遺構外

番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(cm)	胎土・焼成・色調	特徴・その他
P-7	土師器 壺	2区グリッ ト	口縁部～頸 部1/2 残存	残存高6.4 口径16.2	◎砂粒を多く含む。 ◎良好 ◎淡黄色 2.5YR/3	頸部は外傾して立ち上がり、口縁部は外反し肩部は上 方に抓み出されている。内外面とも横溝で。

公田池尻 4区遺構外

番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(cm)	胎土・焼成・色調	特徴・その他
P-1	土師器 坏	4区古代	1/2 残存	器高3.4 口径(13.0)	◎砂粒を多く含む。 ◎良好 ◎にぶい橙 色7.5YR6/4	体部は外傾して立ち上がり、口縁部は直立する。底部 平底。口縁部内外面横溝で。体部外面指頭瓦状。底部 外面寛削り、内面無。

公田池尻 7区遺構外

番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(cm)	胎土・焼成・色調	特徴・その他
P-8	紡錘車	公田池尻7 区表土	1/2 残存	径(4.4) 厚き1.2 重き15+	◎砂粒を含む。◎ 不良 ◎明褐色 7.5YR7/1	扁平な土製紡錘車で表裏面や側面に刺突文が加えられて いる。孔径1cm。
P-9	土師	公田池尻7 区表土	完形	長さ4.5 径1.9 孔径0.4 重き15	◎砂粒を含む。◎ 不良 ◎灰白色2.5 Y8/2	紡錘形をなし中央部を小孔が貫通。器面磨滅。
P-10	土師	公田池尻7 区表土	完形	長さ4.3 径2.3 孔径0.4 重き18	◎砂粒を含む。◎ 良好 ◎浅黄褐色10 YR8/3	紡錘形をなし中央部を小孔が貫通。器面磨滅。
P-11	土師	公田池尻7 区表土	ほぼ完形	長さ3.7 径1.8 孔径0.4 重き8	◎砂粒を含む。◎ 良好 ◎にぶい黄橙 色10YR6/3	紡錘形をなし中央部を小孔が貫通。器面磨滅。
P-12	須恵器 高台付椀	公田池尻7 区表土	1/4 残存	器高4.9 口径(13.2) 底径(6.4)	◎砂粒を多く含む。 ◎軟質 ◎灰黄色 2.5Y6/2	体部はやや内開して立ち上がり、口縁部はわずかに外 反する。縦溝成形。底部右回転糸切後付高台。
P-13	土師器 坏	公田池尻7 区表土	1/3 残存	器高3.6 口径(11.8) 底径5.2	◎砂粒を含む。◎ 良好 ◎褐色7.5YR 6/6	体部は外傾して立ち上がり、口縁部はそのまま開く。 底部平底。口縁部～体部内外面横溝で。底部外面指頭 内面無。

表9 中世出土遺物観察表

柳島川端 14区4号溝

番号	種類	出土位置	残存状態	計測値(w・g)	石質	特徴・その他
S-1	不詳	埋土	1/2	重き1,250	粗粒輝石安山岩	円形の窪みを有する。周囲の立ち上りは高い。

柳島川端 17区51号溝(1)

番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(cm)	胎土・焼成・色調	特徴・その他
P-1	知多系陶器 壺	埋土	口縁片		◎普通 ◎青灰色	口縁部から外面に自然物掛かる。口縁部が外方に引き 出した後上方に引き上げる。器表鈍い赤褐色。13世紀 前半。
P-2	知多系陶器 壺	埋土	口縁片		◎普通 ◎中心部黄 橙、断面黒灰色	口縁部の引き出しはほとんどなく、小さい「N」字状 を呈する。縁等は窪む。器表は暗赤褐色を呈し、一部 に自然物が掛かる。13世紀中頃。

標島川端 17区51号溝 (2)

番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(cm)	胎土・焼成・色調	特徴・その他
P-4	丸瓦	埋土	1/3		④夾雑物少ない。⑤普通 ⑥暗灰色	胎土・焼成の特徴から近代以降の瓦であろう。混入品。
P-5	中国磁器 青磁碗	埋土	口縁小片		④普通 ⑤青灰色	龍泉窯系青磁。外面片切り彫りによる鎮蓮弁文。
番号	種類	出土位置	残存状態	計測値(cm・g)	石質	特徴・その他
S-1	磁石	埋土	一部欠	長さ12.0 幅3.7	磁沢石	2面を主に使用し、1面は部分的な使用。1面はノミ状工具による調整痕を残す。2片接合。
番号	種類	出土位置	残存状態	計測値(mm)		特徴・その他
M-1	元祐通寶	埋土	完形	計測不可能		篆書。M-2と付着し、1/2のみ剥がれる。北宋、1086年初鋳。
M-2	聖宋元寶	埋土	完形	計測不可能		篆書。M-1と付着、拓図下半に逆位で「聖宋」。拓図上半はM-1。北宋、1101年初鋳。
M-3	聖宋元寶	埋土	完形	外径24.2~24.3、内径19.7~19.9		篆書。北宋、1101年初鋳。
M-4	元祐通寶	埋土	完形	外径24.6~24.7、内径19.2~19.4		行書。北宋、1086年初鋳。
M-5	元豊通寶	埋土	完形	外径24.4~24.6、内径19.3~20.0		篆書。北宋、1078年初鋳。

標島川端 17区52号溝

番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(cm)	胎土・焼成・色調	特徴・その他
P-1	軟質陶器 すり鉢	埋土	1/4	口径(31.3)	④白色鉱物含む。⑤普通 ⑥灰色7.5Y6/1	51号溝出土片と接合。2片接合。口縁部は玉縁状をなす。底部外面回転未切り無調整。口縁部回転横撫で。体部内外面の調整は粗い。体部下位使用による摩滅。

標島川端 17区59号溝

番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(cm)	胎土・焼成・色調	特徴・その他
P-1	中国磁器 青白磁合子?	埋土	体部片		④普通 ⑤灰白色 Y8/2	内面無釉。外面は摺押しにより透弁状の文様を施す。器壁は薄く、器高の高い合子の可能性がある。

標島川端 17区62号溝

番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(cm)	胎土・焼成・色調	特徴・その他
P-1	中国磁器 青磁碗	埋土	口縁片		④良好 ⑤灰白色 7.5Y8/1	龍泉窯系青磁。外面片切り彫りによる鎮蓮弁文を施す。軸の発色は良い。
P-2	知多陶器 壺	埋土	肩部片		④良好 ⑤青灰色 器表面褐色	外面の一部に自然釉付着。内面磁作り痕跡。
番号	種類	出土位置	残存状態	計測値(mm)		特徴・その他
M-1	天聖元寶	埋土	1/2	計測不可能		真書。北宋、1023年初鋳。
M-2	紹聖元寶?	埋土	完形	外径23.5~23.7、内径16.5~16.8		行書。北宋、1094年初鋳か。

標島川端 17区67号溝

番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(cm)	胎土・焼成・色調	特徴・その他
P-1	瀬戸・美濃陶器 知皿	埋土	口縁片		④やや不良 ⑤洗典 褐色10YR8/4	口縁部灰釉を施すが、白濁している。古瀬戸後1期。14世紀後半。内面に刷目を施す。
P-2	知多陶器 壺	埋土	口縁片		④普通 ⑤青灰色、器表面褐色	口縁部外方に下がり気味に引き出し、端部を上へ引き上げる。端部は欠損。
P-3	軟質陶器 すり鉢	埋土	口縁片		④白色鉱物含む。⑤軟質 ⑥青灰色、黄褐色	口縁部やや内湾し、端部を玉縁状にする。口縁部丁寧な回転横撫で。

標島川端 1~17区77号溝

番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(cm)	胎土・焼成・色調	特徴・その他
P-1	軟質陶器 すり鉢	埋土	口縁片		④白色鉱物含む。⑤青灰色	口縁部やや内湾し、端部を玉縁状をなす。体部内面下位は使用により摩滅する。

標島川端 1~17区78号溝

番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(cm)	胎土・焼成・色調	特徴・その他
P-1	軟質陶器 すり鉢	埋土	口縁片		④無色鉱物含む。⑤軟質 ⑥よい黄褐色10YR7/2	片口部小片。口縁部は幅広い玉縁状をなす。外面黄青灰色。内面は使用痕ではないが摩滅する。

榑島川端 16区98号溝

番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(cm)	胎土・焼成・色調	特徴・その他
P-1	知多陶器 壺	埋土	体部小片		㊟良好 ㊟灰白色	外面には自然釉が掛かる。器表暗褐色。

榑島川端 17区135号溝

番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(cm)	胎土・焼成・色調	特徴・その他
I-1	鉄線	No.1	一部欠損			なご遺構で欠損。

榑島川端 19区23号溝

番号	種類	出土位置	残存状態	計測値(cm・g)	石質	特徴・その他
S-1	石製品 板碑	埋土	ほぼ完形	長さ43.7幅16.0 厚さ1.9 重さ2,300g	黒色安岩(上場)	右側縁が一部欠損する。

榑島川端 19区32号溝

番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(mm)	特徴・その他
M-1	嘉祐通寶	埋土	1/4欠損	外径23.4、内径18.3	「寶」部分欠損。北宋1056年初鑄。

榑島川端 19区75号溝

番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(mm)	特徴・その他
M-1	皇宋通寶	埋土	完形	外径24.4～24.6、内径20.6～20.4	北宋1038年初鑄。

榑島川端 19区80号溝

番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(mm)	特徴・その他
M-1	紹聖元寶	埋土	完形	外径24.0、内径18.2	北宋1094年初鑄。

榑島川端 20区3号溝

番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(cm)	胎土・焼成・色調	特徴・その他
P-1	知多陶器 壺	埋土	口縁部破片		㊟緻密 ㊟良好 ㊟青灰色	口縁部外反し、頸部は上方にやや広がる。口縁部内面と肩部に自然釉付着。器表鈍い赤褐色。
番号	器種	出土位置	寸法 長さ・幅・厚さ(cm)	木取り	特徴	登録 番号
W-1	杭	埋土	36.9×直径:2.6	丸木	樹皮の付いた幹の枝を払い、根元側の周囲を削って突らせる。	94

榑島川端 20区12号溝

番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(cm)	胎土・焼成・色調	特徴・その他
P-1	軟質陶器 すり鉢	埋土	底部1/5	底径(9.7)	㊟細砂、雜含む、㊟軟質 ㊟外面黄灰色 2.5Y7/3 内面残黄 色2.5Y7/3	外面割で。内面使用により摩滅著しい。底部は切り離さない。

榑島川端 20区14号溝

番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(cm)	胎土・焼成・色調	特徴・その他
P-1	内耳鍋	埋土	破片		㊟白色雜物含む、㊟軟質 ㊟灰白色、器 表黄灰色	器壁厚く、口縁部は短い。内面に耳貼り付け部一部残る。2片接合。

榑島川端 20区30号溝

番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(cm)	胎土・焼成・色調	特徴・その他
P-1	深美陶器 壺	埋土	口縁片		㊟黄褐色 ㊟灰色5Y 6/1	口縁部は外反する。肩部内面縁作り痕跡に残る。外面は部分的に白濁自然釉が掛かる。

榑島川端 21区17号溝

番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(mm)	特徴・その他
M-1	開元通寶	埋土	1/4欠損	外径25.0、内径21.3	南唐、960年初鑄。

宮田東 IV区1号溝

番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(cm)	胎土・焼成・色調	特徴・その他
P-1	軟質陶器 火鉢	埋土	口縁片		①白色灰物・雜含む ②普通 ③にぶい黄褐色10YR6/3	外面器表黒灰色。口縁部は肥厚する。口縁部には乾燥以前に内側から外面に向かって穿孔されている。

宮田池尻 3区1号溝

番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(cm)	胎土・焼成・色調	特徴・その他
P-1	知多陶器 甕	埋土	肩部片		①細砂・雜含む。②普通 ③にぶい黄褐色10YR4/3	外面白濁した自然釉が掛かる。内面器表暗褐色。

宮田池尻 3区3号溝

番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(cm)	胎土・焼成・色調	特徴・その他
P-1	知多? 瀬美? 陶器 甕	埋土	肩部片		①灰雜物少ない ②良好 ③灰色7.5Y4/1	外面白濁した自然釉が掛かる。内面器表黒灰色。肩部と肩部の接合痕明瞭に残る。

宮田池尻 3区5号溝

番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(cm)	胎土・焼成・色調	特徴・その他
P-1	知多陶器 甕	埋土	口縁片		①良好 ②灰白色	口縁部内面と肩部外面に自然釉が斑状に付着する。口縁部は外反し、端部上面が凹線状に窪む。器表暗褐色。
番号	種 類	出土位置	残存状態	計測値(cm・g)	石 質	特 徴・その他
S-1	石臼	埋土	1/4残存	幅(17.2) 厚さ8.5×10.6 重さ6,840g	粗粒輝石安山岩	下白。8分面で溝は広い。

宮田池尻 4区47号溝

番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(cm)	胎土・焼成・色調	特徴・その他
P-1	瀬美陶器 甕	埋土	体部片		①灰雜物少ない ②普通 ③褐色10YR5/1	外面に叩き目あり、内面に自然釉が斑状に付着しており、体部下端付近の破片であろう。焼き台の痕跡か外面凹線状に窪み、やや歪んでいる。53号溝P-1と同一個体であろう。

宮田池尻 4区53号溝

番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(cm)	胎土・焼成・色調	特徴・その他
P-1	瀬美陶器 甕	埋土	体部片		①灰雜物少ない ②普通 ③灰色5Y6/1	外面に叩き目あり、内面に自然釉が斑状に付着しており、体部下端付近の破片であろう。焼き台の痕跡か外面凹線状に窪む。47号溝P-1と同一個体であろう。

宮田池尻 5区3号溝

番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(cm)	胎土・焼成・色調	特徴・その他
P-1	在土土器 鍋	埋土	口縁片		①白色灰物少量含む ②普通 ③灰黄褐色10YR6/2	器表黒灰色。口縁部内湾する。近代の鉢形を呈した鍋である。
P-2	内耳鍋?	埋土	口縁片		①黒色灰物含む ②不良 ③にぶい藍色	器表厚膩。口縁部はわずかに外反した後には内湾する。

宮田池尻 5区5号溝(1)

番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(cm)	胎土・焼成・色調	特徴・その他
P-1	中国磁器 青磁碗	掘底	1/3	口径(15.2)	①普通 ②明オリープ灰色5GY7/1	龍泉窯系青磁。丸みを帯びた体部から、外縁で口縁部に至る。釉は失透性で白濁した箇所が多い。3片接合。1片接合しないが同一個体がある。
P-2	在土土器 皿	掘底	1/3残存	器高2.1 口径(9.0) 底径(6.0)	①金雲母少量含む ②普通 ③にぶい藍色7.5YR6/4	体部ゆるく外反する。底部左回転糸切り無調整。浅い正底残る。
P-3	在土土器 皿	掘底	完形	器高2.0 口径7.5 底径5.0	①金雲母少量含む ②普通 ③にぶい藍色5YR7/3	体部ゆるく外反する。底部左回転糸切り無調整。

公田池尻 5区5号溝(2)

番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(cm)	胎土・焼成・色調	特徴・その他
P-4	内耳鍋	埋土	口縁片		⑥金雲母含む ⑥普通 ⑥にぶい黄褐色 10YR7/2	器表黒灰色。器壁薄い。口縁部はわずかに内湾する。
番号	種類	出土位置	残存状態	計測値(cm・g)	石質	特徴・その他
S-1	石製品 板碑	埋土	1/2	長さ(34.1) 幅 20.8 厚さ2.9 重さ2,330g	質母石英片岩	下平の欠損部は産産が残る。

公田池尻 5区9号溝

番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(cm)	胎土・焼成・色調	特徴・その他
P-1	在土土器 皿	埋土	底部～体部	底径6.2	⑥金雲母含む ⑥普通 ⑥淡黄褐色10 YR8/3	底部外面左回転糸切り無調整。体部強く外反する。器表摩滅する。
P-2	内耳鍋	埋土	破片		⑥白色紅物含む ⑥普通 ⑥灰黄色2.5 Y7/2 断面灰白色 7.5Y6/1	器表厚い。体部下位丸みを帯び、丸底であろう。体部下端磨削り後無。

公田池尻 5区11号溝

番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(cm)	胎土・焼成・色調	特徴・その他
P-1	瀬戸・美濃陶器 平碗	埋土	口縁片		⑥良好 ⑥灰白色5 Y7/2	灰物を指す。釉の発色は良い。釉に細かい貫入入る。外面輪縁目顯著。古瀬戸後1期または2期。

公田池尻 7区2号溝

番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(cm)	胎土・焼成・色調	特徴・その他
P-1	中国磁器 青磁皿	埋土	口縁片		⑥不良 ⑥灰黄色 2.5Y6/2	焼成不良により胎土磁化していない。釉には貫入が入り、口縁端部は白濁する。口縁部内面には6条の磨削文を巡らする。
P-2	在土土器 皿	埋土	底部片	底径(4.4)	⑥紅物粒含む ⑥普通 ⑥にぶい黄褐色 10YR7/3	底部外面左回転糸切り無調整。胎土・焼成から中世と考えられる。
P-3	内耳鍋	埋土	体部片		⑥質母片か片岩細片 を含む ⑥普通 ⑥ 灰色7.5Y6/1	体部上位片。器表、割れ口や摩滅。
P-4	内耳鍋	埋土	体部・底部 小片		⑥白色紅物含む ⑥普通 ⑥明赤褐色 5YR5/6	器壁やや厚い。底部用縁が窪んでおり、丸底の可能性 がある。体部下端磨削り後無。
P-5	内耳鍋?	埋土	体部片		⑥白色紅物含む ⑥軟質 ⑥にぶい褐色 7.5YR5/4	内面丁寧な無。外面粗い無。内耳鍋の体部片であ らう。2片接合。
P-6	軟質陶器 すり鉢	埋土	底部片	底径(10.5)	⑥白色紅物細粒 ⑥普通 ⑥灰色	底部外面回転糸切り無調整。内面底部用縁から体部下 端使用により摩滅する。使用頻度が高く、特に底部と 体部の境はすり減って窪んでいる。
P-7	軟質陶器 すり鉢	埋土	底部1/4	底径(10.7)	⑥白色紅物細粒 ⑥褐色7.5YR6/1	底部右回転糸切り無調整。内面底部用縁から体部下 端使用により摩滅する。使用頻度が高く、特に底部と 体部の境はすり減って窪んでいる。P-6と同一個体 であらう。
番号	種類	出土位置	残存状態	計測値(cm・g)	石質	特徴・その他
S-1	石臼	埋土	破片	重さ275g	粗粒輝石安山岩	下臼。
S-2	石臼	埋土	破片	重さ263g	粗粒輝石安山岩	茶臼形の上臼。挽き手穴周囲に沈線を巡らす。
S-3	石臼	埋土		重さ1,765g	粗粒輝石安山岩	茶臼形の下臼。溝は切り直しか。
S-4	石臼	埋土	1/4残存	径30.0厚み10.0 重さ1,171g	粗粒輝石安山岩	下臼。溝の間隔は広い。

古田池尻 7区3号溝

番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(cm)	胎土・焼成・色調	特徴・その他
P-1	在地区器皿	埋土	1/4	器高1.85 口径(7.6) 底径(6.0)	④胎物粒含む ⑤普通 ⑥にぶい黄褐色 10YR7/4	体部下端の器壁厚く、内面の境は厚やかである。底部外面回転未切り無調整。口縁部油煙付着。口縁部割れ口にも油煙付着する。
P-2	土製品土罎	埋土	完形	長さ3.8 幅1.4 厚さ1.4	④胎物粒含む ⑤普通 ⑥黒色2.5Y2/1	全体に調整が粗い。時期不詳。古い時期の混入品か？

古田池尻 8-2区1号溝

番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(cm)	胎土・焼成・色調	特徴・その他
P-2	瀬戸・美濃陶器 深皿	埋土	体部小片		④良好 ⑤青灰色	内外面やや白濁する灰胎を施す。外面輪縁目立つ。古瀬戸中層から後期。
P-3	軟質陶器 すり鉢	埋土	体部片	底径(10.0)	④金雲母含む ⑤不良 ⑥にぶい褐色5 YR7/4	外面器表凹凸多い。弧状のすり目を施す。体部下位内面使用により摩滅する。9-1区1号溝出土片と接合。2片接合。
P-4	知多陶器 裏	埋土	体部片		④普通 ⑥にぶい黄褐色10YR5/3	器壁薄い。外面器表暗褐色。
P-5	軟質陶器 すり鉢	埋土	体部下位片		④胎物細粒含む ⑤軟質 ⑥灰白色5 Y 8/1	外面体部下端丁寧な削で。体部外面雑な削で。体部内面下位使用により摩滅するが、下端は摩滅しない。

古田池尻 9-1区1号溝

番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(cm)	胎土・焼成・色調	特徴・その他
P-2	軟質陶器 すり鉢	埋土	底部片	底径(13.0)	④白色胎物多く含む ⑤普通 ⑥青灰色	還元炭焼成。底部外面回転未切り無調整。体部外面粗い削で調整。体部下位使用によりやや摩滅する。
P-3	軟質陶器 すり鉢	埋土	口縁片	口径(33.8)	④白色胎物含む ⑤不良 ⑥にぶい黄褐色10YR7/3	口縁部回転調整で。外面粗い削で調整。内面輪縁目立つ。器表黒灰色。
P-4	中国磁器 青磁碗	埋土	体部下位片		④普通 ⑥明緑灰色7.5GY7/1	龍泉窯系青磁。外面片切り彫りによる鏡透丹文を施す。
番号	種類	出土位置	残存状態	計測値(cm・g)	石質	特徴・その他
S-1	石製品 石臼	埋土	破片	重さ1,621g		粗粒輝石安山岩 下白。側面に砥石としての再利用痕が認められる。

古田池尻 9-1区2号溝

番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(cm)	胎土・焼成・色調	特徴・その他
P-1	内耳筒?	埋土	体部下位片		④石英・チャート含む ⑤普通 ⑥褐色5 YR1/6	外面粗い削で調整。実測図で体部下端とした箇所を外側調整は了す。酸化炭焼成。

古田池尻 9-1区5号溝

番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(cm)	胎土・焼成・色調	特徴・その他
P-1	軟質陶器 すり鉢	埋土	底部片	底径(12.2)	④白色胎物含む ⑤普通 ⑥灰色7.5Y5/1	底部調整や切り磨しは不明。体部外面粗い削で調整。内面弧状のすり目を入れる。体部下位粗雑な使用痕有り。

樽島川端 19区2洪水下水田

番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(cm)	胎土・焼成・色調	特徴・その他
P-1	瀬戸・美濃陶器 知皿	19区2H層 19区田a層	口縁片		④良好 ⑤青灰色	外面器表暗赤褐色。内面は灰胎を施し、亮色は良い。体部下端に削し目が認められる。古瀬戸後II・田原15世紀前半から中頃。2片接合。

樽島川端 19区3洪水下水田

番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(mm)	特徴・その他
M-1	泉宋通寶		完形	外径24.0、内径19.4~20.5	北宋。1038年初鑄。

柳島川端 19区1 洪水下水道

番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(cm)	胎土・焼成・色調	特徴・その他
P-1	在地土器 皿	覆土	口縁1/2 底部完	器高3.1 口径(11.0) 底径6.4	◎矢筈物少ない ◎やや不貞 ◎灰白色 5YR/2	外面体部下端と口縁部下の2カ所は、轆轤目が凹線状に幅広く窪む。底部外面回転永切り無調整であるが、糸の撚りが不明瞭であり、かつ切り離しが緩いため回転方向は不明。調整時の轆轤回転は右であろう。
P-2	軟質陶器 すり鉢	耕作土	口縁片		◎白色紅物含む ◎良好 ◎灰白色10Y4/1	内面から口縁部回転調整で、体部外面粗い面で調整。口縁部内面小さく突出する。
番号	種類	出土位置	残存状態	計測値(mm)	特徴・その他	
M-1	□□元寶	覆土	1/3	計測不可能		
M-2	聖宋元寶	耕作土	完形	外径23.8、内径18.9	北宋。1101年初鑄。	
M-3	開元通寶	覆土	2/3	計測不可能		
M-4	聖宋元寶	耕作土下	一部欠損	外径23.7、内径19.6~20.3	北宋。1101年初鑄。	

柳島川端 17区11号井戸

番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(cm)	胎土・焼成・色調	特徴・その他
P-1	知多陶器 甕	埋土	体部小片		◎良好 ◎灰黄色 2.5Y6/2	外面には自然釉が均一に掛かる。内面器表面赤褐色。

柳島川端 20区3号井戸

番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(cm)	胎土・焼成・色調	特徴・その他
P-1	在地土器 皿	埋土	口縁一部 底部完	器高2.1 口径(7.7) 底径5.4	◎紅物粒含む ◎普通 ◎灰白色2.5Y8/1	底部外面左回転永切り無調整。底部内面中央盛り上がる。口縁部油煙・油多く付着する。口縁部欠損後もしばらく灯明として使用されている。

柳島川端 20区6号井戸

番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(cm)	胎土・焼成・色調	特徴・その他
P-1	軟質陶器 すり鉢	埋土	1/5	底径(11.5)	◎白色紅物粒含む ◎普通 ◎黄灰色 2.5Y5/1、断面灰白色 2.5Y7/1	底部外面や摩滅するが、永切り痕は認められない。外面体部下端丁寧な回転調整で、体部外面は緩な面調整。内面は口縁部下位以下は使用により広範囲が摩滅する。

柳島川端 20区8号井戸

番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(cm)	胎土・焼成・色調	特徴・その他
P-1	製作地不詳陶器 すり鉢	埋土	1/6	口径(28.2)	◎白色紅物粒含む ◎良好 ◎褐色7.5YR4/1	口縁部回転調整で、口縁部を内面取りし、凹線を2条返らす。体部外面左下がりの指押さえ痕残す。内面下半使用により摩滅する。胎土・焼成などから鑑入品と考えられる。
P-2	軟質陶器 すり鉢	埋土	1/6	口径(30.4)	◎赤色粒「大」含む。 ◎軟質 ◎断面褐色。 器表灰褐色7.5YR5/2	口縁部回転調整で、口縁部内面に突出する。体部外面粗い面調整で指頭圧痕残す。内面下位使用により摩滅する。
P-3	内耳鍋	埋土	1/5	口径一	灰色N4/	器形に歪みがあり図上の直径は大きすぎる。口縁部は短く器表厚い。体部下端は丸みを帯び、底部は丸底である。外面体部下端露雨り後損。体部の調整は内外面共に丁寧である。

柳島川端 20区9号井戸

番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(cm)	胎土・焼成・色調	特徴・その他
P-1	軟質陶器 すり鉢	埋土	体部片		◎白色紅物粒含む ◎普通 ◎外面赤灰色 10R5/1、断面褐色 2.5YR6/6	外面緩な面調整で指頭圧痕残す。内面使用による摩滅著しく、焼成時の器表残らない。体部と底部の境は大きく窪む。窪みから磨り粉木の先端直径は1~1.5cmと推定される。

柳島川端 20区12号井戸

番号	器種	出土位置	寸法 長さ・幅・厚さ(cm)	木取り	特徴	登録番号
W-1	容器底板	埋土	直径：15.5×厚さ：0.8	おい徑	曲物もしくは桶の底板で、1/3程欠損する。	95
W-2	容器底板	埋土	直径：17.4×厚さ：0.6	紅目	曲物もしくは桶の底板で、1/2程欠損する。	96

標島川端 20区13号井戸

番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(cm)	胎土・焼成・色調	特徴・その他
P-1	軟質陶器 すり鉢	埋土	口縁片		①白色灰物粒含む ②良好 ③灰色7.5Y5/1、断面中央に よい藍色2.5YR6/4	片口部片。口縁部回転横溝で。外面口縁部下は指押さえ痕が縦目状に残る。口縁端部内面断面三角形に突き出る。還元灰。

標島川端 20区17号井戸

番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(cm)	胎土・焼成・色調	特徴・その他
P-1	軟質陶器 すり鉢	埋土	口縁片	口径(27.4)	①赤色粒含む ②普通 ③黒褐色10YR3/1、断面鈍い色	口縁部回転横溝で。内面丁寧な回転横溝で。内面下半使用により厚減。口縁端部内面の突出する部分も厚減する。

標島川端 21区2号井戸

番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(cm)	特徴・その他
M-1	大板通瓦	埋土	一部欠損	外径24.2~24.3、内径21.0	北米、1107年初縁。

公田池尻 3区3号井戸

番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(cm)	胎土・焼成・色調	特徴・その他
P-1	中国磁器 青磁鉢	埋土	底面	底径5.4	①普通 ②オリブ 灰色	灰オリブ色の釉を高台外面まで施す。底部厚壁で。高台端部厚減して平滑となる。底部内面中央摺れによる傷が認められる。

公田池尻 3区5号井戸

番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(cm)	胎土・焼成・色調	特徴・その他
P-1	知多陶器 壺	埋土	肩部片		①灰石、石灰含む、 ②良好 ③頸部断面 灰色、他は灰白色	頸部の外面側に肩部を貼り付ける。外面と頸部内面に自然釉が掛かる。

公田池尻 4区5号井戸

番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(cm)	胎土・焼成・色調	特徴・その他
P-1	軟質陶器 すり鉢	埋土	口縁片		①白色灰物含む ②普通 ③灰色7.5Y4/1	口縁部回転横溝で。口縁部小さく内湾し、端部は尖り気味である。体部内面下位使用により厚減する。

番号	器種	出土位置	寸法 長さ・幅・厚さ (cm)	木取り	特徴	登録番号
W-1	木製品 用途不明	埋土	10.4×2.5*×0.7	板目	断面端部を呈し、一方に貫通した穴を開ける。札状を呈した木製品であるが、用途は不明である。	

公田池尻 8-2区4号井戸

番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(cm)	胎土・焼成・色調	特徴・その他
P-1	知多陶器 片口鉢	埋土	口縁片		①普通 ②灰白色 2.5Y7/1	縦溝成形。口縁端部は丸く収める。器表灰の降下によりやや光沢を有する。

公田池尻 9-1区1号井戸

番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(cm)	胎土・焼成・色調	特徴・その他
P-1	在土土器 皿	埋土	完形	器高1.95 口径7.15 底径4.9	①陶締骨芯微量含む ②普通 ③褐色	体部上位小さく外反する。口縁部外面僅かに凹縁状に窪む。底部外面左回転糸切り無調整、圧痕僅かに認められる。P1~6、6枚重ねて出土。
P-2	在土土器 皿	埋土	完形	器高1.8 口径7.8 底径5.0	①片岩、陶締骨芯微量含む ②普通 ③褐色7.5YR5/6	体部上位小さく外反する。口縁部外面凹縁状に窪む。底部外面左回転糸切り無調整、圧痕明瞭。底部内面指痕で。P1~6、6枚重ねて出土。
P-3	在土土器 皿	埋土	完形	器高1.85 口径7.4 底径5.1	①陶締骨芯僅かに含む ②普通 ③明赤褐色5YR5/6	体部上位小さく外反する。口縁部外面凹縁状に窪む。底部外面左回転糸切り無調整。底部中央に製作時のひびが認められる。P1~6、6枚重ねて出土。
P-4	在土土器 皿	埋土	完形	器高3.0 口径11.7×11.3 底径6.9	①陶締骨芯僅かに含む ②普通 ③褐色5YR7/6	体部は直線的に開く。底部外面左回転糸切り無調整。底部外面僅かに圧痕認められる。P1~6、6枚重ねて出土。口縁部の一部歪む。

公田池尻 9-1区1号井戸

番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(cm)	胎土・焼成・色調	特徴・その他
P-5	在地土器 皿	埋土	口縁一部欠	器高3.0 口径12.0 底径6.4	⑤陶質骨芯僅かに含む ④普通 ⑥橙色 2.5YR7/6	体部は直線的に開く。底部外面左回転ネリ調整。底部外面僅かに圧痕認められる。P1~6、6枚重ねて出土。
P-6	在地土器 皿	埋土	ほぼ完形	器高3.1 口径11.3 底径6.2	⑤陶質骨芯認められないが1から5と同じ胎土 ④普通 ⑥明赤褐色 5YR5/6	体部は直線的に開く。底部外面左回転ネリ調整。底部外面僅かに圧痕認められる。P1~6、6枚重ねて出土。底部外面に不鮮明な磨痕が認められる。
番号	種類	出土位置	残存状態	計測値(cm・g)	石質	特徴・その他
S-1	石製陶器 板碑	埋土	破片	長さ34.0幅28.8 厚さ3.7 重さ6,340g		中位の破片で、上下を欠損。表面の遺存状態は悪いが、裏面の工具痕は明瞭に残る。

柳島川端 5区20号土坑

番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(cm)	胎土・焼成・色調	特徴・その他
P-1	知多陶器 甕	埋土	肩破片		④良好 ⑥よい黄 色2.5Y6/3	内面磨表暗褐色。外面自然釉均一に掛かる。

柳島川端 19区22号土坑

番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(cm)	胎土・焼成・色調	特徴・その他
P-1	炊飯陶器 すり鉢	埋土	口縁~体部 片		⑤白色磁粉含む ④普通 ⑥灰色7.5Y 5/1	口縁部回転磨面。口縁端部や平坦で中央が僅かに窪む。端部内面はやさ三角形に突出し、その下部は凹縁状に窪む。残存部に使用痕が認められない。

柳島川端 19区25号土坑

番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(mm)	特徴・その他
M-1	不詳	埋土	完形	外径22.5~22.6、内径計測不可能	

柳島川端 19区29号土坑

番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(mm)	特徴・その他
M-1	不詳	埋土	完形	外径26.8~24.8、内径21.2~21.5	
M-2	□□元寶	埋土	完形	外径24.4~24.0、内径20.8~19.5	

柳島川端 19区36号土坑

番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(mm)	特徴・その他
M-1	開元通寶	埋土	完形	外径24.5~22.6、内径21.8	紀地銭。唐、845年初鋳。
M-2	洪武通寶	埋土	完形	外径23.2~内径21.3~21.5	明、1368年初鋳。
M-3	祥符通寶	埋土	完形	外径24.5~24.8、内径19.0~19.2	北宋、1009年初鋳。
M-4	□宋通寶	埋土	1/2	計測不可能	

柳島川端 19区40号土坑

番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(mm)	特徴・その他
M-1	□□通寶	埋土	完形	外径25.2~25.4、内径20.9~21.0	表面の遺存悪い。

公田池尻 3区2号土坑

番号	種類	出土位置	残存状態	計測値(cm・g)	石質	特徴・その他
S-1	砥石	埋土	一方の端部 欠損	残存長12.0 幅 4.6 厚さ3.8 重さ240g	砥沢石	長方形をなし4個面を使用。4面とも内湾し多くの磨状痕が残る。

公田池尻 4区10号土坑

番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(cm)	胎土・焼成・色調	特徴・その他
P-1	知多陶器 甕	埋土	肩破片		④良好 ⑥灰白色 5 Y7/1	外面自然釉が掛かるが、釉は白濁する。内面磨表は灰色。磨壁薄。

櫛島川端 中世遺構外(1)

番号	種類・部類	出土位置	残存状態	計測値(cm)	胎土・焼成・色調	特徴・その他
P-11	瀬美陶器 罌	1~17区グ リット	口縁~肩部 片		◎普通 ◎断面灰色、 器表黒色	肩部は短く外反する。口縁端部はやや尖り気味 で、内面は直かに窪む。口縁部内面と肩部外面に自然 胎が露く掛かる。
番号	種 類	出土位置	残存状態	計 測 値(mm)	特 徴 ・ そ の 他	
M-1	治平元寶	1~17区グ リット	完形	外径23.6~23.3、内径18.4~17.9	北宋、1064年初鋳。	
M-2	元豊通寶	1~17区グ リット	完形	外径23.7~24.0、内径19.3~19.0	北宋、1078年初鋳。	
M-3	洪武通寶	1~17区グ リット	完形	外径22.7~22.6、内径17.1~17.3	明、1368年初鋳。背一銭。	
M-1	□祐□寶?	17区流路	L/3	計測不可能		
M-2	天聖元寶	17区流路	完形	外径24.2~24.8、内径18.9~20.2	篆書。北宋、1023年初鋳。	
I-1	銅製品	18区1層島 壇土	完形		銅製品の一部のみ。	
番号	種類・部類	出土位置	残存状態	計 測 値(cm)	胎土・焼成・色調	特 徴 ・ そ の 他
P-3	軟質陶器 すり鉢	18区III層		底径10.7	◎海綿骨を僅かに含 む。◎普通 ◎外面 褐色5 YR6/6、断面 灰白色5 Y7/1	底部外面より回転余切り無調整。底部内面周縁は使用 により器表摩滅する。
番号	種 類	出土位置	残存状態	計 測 値(mm)	特 徴 ・ そ の 他	
I-1	口金物	18区III層 b-14	一部欠損		箱の口金物であろう。真鍮製か。	
M-1	開元通寶	18区III層	完形	外径25.0~25.0、内径21.5~20.2	唐、616年初鋳。背上月。	
M-2	嘉祐通寶	18区III層	完形	外径23.7~23.5、内径20.0	北宋、1056年初鋳。	
M-1	皇宋通寶	18区	完形	外径24.3~24.3、内径19.0~18.6	北宋、1038年初鋳。	
番号	種類・部類	出土位置	残存状態	計 測 値(cm)	胎土・焼成・色調	特 徴 ・ そ の 他
P-1	軟質陶器 すり鉢	19区15号柱 穴	口縁片		◎白色軟物含む。海 綿骨芯?僅かに含む。 ◎良好 ◎暗灰色	瀬美陶器をやや軟質にしたような色調と焼成である。 口縁端部内面断面三角形状に突出する。
P-1	白磁器 白磁碗	19区III a層	口縁片		◎やや不良 ◎灰白 色	口縁端部平坦。端部外面方に短く延びる。
P-3	瀬美陶器 罌	19区III a層	口縁片		◎普通 ◎断面灰色 外面器表黒色	口縁部外反する。口縁端部尖り気味となる。
P-4	内耳筒	19区III a層	口縁片		◎片岩小片含む。◎ 不良 ◎2.5Y6/2断 面にぶい黄褐色 10YR6/3	耳部小片。器壁薄い。
P-1	瀬戸・美濃陶 器 平碗	19区III b層	口縁片		◎良好 ◎灰白色	口縁部僅かに内湾し、端部は尖る。外面は横線目残る。 体部外面下位を除き灰釉を施す。古瀬戸後1期。14世 紀後半。
P-2	軟質陶器 すり鉢	19区III b層	口縁片		◎片岩細片含む。◎ 不良 ◎内外面褐色 色1/6、断面にぶい褐 色7.5YR	口縁部内面僅かに窪み、外面は内湾する。口縁端部は 尖り、玉縁状をなす。
番号	種 類	出土位置	残存状態	計 測 値(mm)	特 徴 ・ そ の 他	
M-1	洪武通寶	19区III a層	完形	外径22.2~22.3、内径18.4~18.6	明、1368年初鋳。	
M-2	元豊通寶	19区III a層	完形	外径23.5~24.0、内径19.8~19.9	北宋、1078年初鋳。	
M-3	祥符元寶	19区III a層	完形	外径24.5、内径19.4~19.6	北宋、1009年初鋳。	
M-4	萬寧元寶	19区III a層	完形	外径23.3~22.8、内径19.0~19.3	北宋、1068年初鋳。	
M-1	治平元寶	19区III b層	完形	外径22.9、内径19.7	北宋、1064年初鋳。	
M-2	皇□□寶	19区III b層	一部欠損	外径計測不能、内径23.0		
M-3	至道元寶	19区III b層	完形	外径24.0~24.3、内径18.9~19.0	北宋、995年初鋳。	
M-4	開元通寶	19区III b層	完形	外径24.3~24.4、内径21.0	唐、621年初鋳。	
M-5	不詳	19区III b層	一部欠損	外径24.0、内径計測不能。		

樽島川端 中世遺構外(2)

番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(cm)	胎土・焼成・色調	特徴・その他
P-9	軟質陶器 香炉	20区V層	底唇片		◎白色藍物を含む。◎普通 ◎黄灰色2.5 Y5/1	体部は直線的に開く。底部に低い脚を貼り付ける。脚は本来3本であるが、1本は欠損。
P-10	甌	20区V層	小片		◎白色藍物を含む。◎普通 ◎青灰色	口縁部左回転横線。体部内面横線で後右下りの指による線。底部周縁は窪み、丸底可能性がある。体部外面黒色。
P-11	内耳鍋	20区V層	口縁～体部片		◎白色藍物を含む。◎良好 ◎青灰色5 B 6/1	口縁部短い。耳小さく断面丸い。口縁部回転横線。体部内外面の線では丁寧であり、外面に指痕は目立たない。体部下端は丸みを帯び丸底と考えられる。体部外面下端磨削り後線。
P-12	軟質陶器 すり鉢	20区V層	口縁片		◎白色藍物を含む。◎良好 ◎外面赤褐色7.5YR5/6、断面明褐色7.5YR	口縁部内面内側に突き出す。片口部残存。
P-2	龍泉窯系青磁 36	20区ビット	口縁部片		◎普通 ◎胎土青灰色	口縁部小片。外面鈍直刃文であるが、片切り出はない。口縁部外面に花弁を表す2条の刻線文。
P-3	軟質陶器 すり鉢	20区ビット 99 №1	口縁部1/8	口径29.4	◎白色藍物を含む。◎普通 ◎外面青灰色断面明褐色	内面から口縁部外面横線。体部内面下位使用により磨減。口縁部内面内側に小さく突き出す。
P-4	在地土器 皿	20区ビット 102	口縁～底部 1/6	器高2.7 口径10.9 底径5.8	◎赤色粘土粒を含む。◎普通 ◎によい地色7.5YR7/4	底部外面回転赤切り無調整。板状圧痕僅かに残る。外面磨減目顕著。
P-7	軟質陶器 すり鉢	20区ビット 279 №1	口縁～体部 1/6	口径28.7	◎白色藍物粒多く含む。◎普通 ◎褐色4/1	内面から口縁部外面横線。体部内面下位使用により磨減。体部下端磨減顕著。口縁部内面内側に小さく突き出す。
P-8	在地土器 皿	20区ビット 280	口縁部一部 欠	器高2.2 口径7.0 底径4.7	◎藍物粒を含む。◎やや不良 ◎灰白色7.5YR8/1	底部外面左回転赤切り無調整。底部外面の板状圧痕や内面の線では認められない。
番号	種類	出土位置	残存状態	計測値(mm)	特徴・その他	
M-1	熊手元寶	20区ビット №206	宛形	外径24.7～24.8、内径20.5～20.8	北宋、1068年初鋳。	
M-2	不詳	20区ビット №399	1/8欠損	外径25.5、内径22.7		
番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(cm)	胎土・焼成・色調	特徴・その他
P-1	内耳鍋	20区1 整穴	口縁部片		◎白色藍物粒を含む。◎普通 ◎外面灰色5 Y5/1断面オリーブ5 Y6/2	内面から口縁部外面回転横線。体部外面木口工具による線。器壁厚い。口縁部短い。
P-2	内耳鍋	20区1 整穴	口縁部～底部		◎白色藍物粒多く含む。◎普通 ◎外面によい黄褐色10YR 6/3、断面浅黄褐色10YR8/4	体部外傾する。口縁部短く外傾する。体部器壁厚い。耳は残存しないが、耳部の窪みが認められる。
P-1	在地土器 皿	20区表土	口縁部一部 欠	器高2.9 口径10.7 底径2.9	◎灰色藍物を含む。◎普通 ◎灰白色7.5 YR8/2	底部外面左回転赤切り無調整。体部やや外湾する。底部外面板状
番号	種類	出土位置	残存状態	計測値(mm)	特徴・その他	
M-1	太平通寶	20区	宛形	外径24.2～24.3、内径19.6～19.7	北宋、976年初鋳。	
番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(cm)	胎土・焼成・色調	特徴・その他
P-2	瀬戸・美濃陶器 平碗	21区グリット	口縁～体部 1/4	口径16.4	◎やや密閉 ◎普通 ◎灰黄褐色	平碗。内面から体部外面に灰粒を施施。底部内面目録二カ所残存。器壁やや厚く、口縁部は天目風の形影を呈する。
番号	種類	出土位置	残存状態	計測値(mm)	特徴・その他	
M-1	天祐通寶	21区グリット	宛形	外径24.4～24.5、内径19.5～19.7	北宋、1017年初鋳。	
M-2	天祐通寶	21区グリット	一部欠損	外径23.6～24.2、内径19.8	北宋、1017年初鋳。	

公田東 中世遺構外

番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(mm)	特徴・その他	
M-1	□椀元寶	1区グリット	1/4	計測不可能		
M-2	開元通寶	1区グリット	完形	外径23.3~23.2、内径19.8~18.7	唐、621年初鑄。	
M-3	開元通寶	1区グリット		外径24.2、内径20.4~20.6	唐、621年初鑄。	
M-4	大観通寶	1区グリット		外径24.0~24.5、内径2.13~21.5	北宋、1107年初鑄。	
番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(cm)	胎土・焼成・色質	特徴・その他
P-1	中国磁器 染付皿	II区グリット As-B 瓶	底部1/4	底径(5.0)	◎良好 ◎良好 ◎ 胎土白色	小皿。内外面染め付け。明代。
番号	種類	出土位置	残存状態	計測値(mm)	特徴・その他	
M-1	羅首銭	II区グリット As-A 瓶	完形		羅首の羅首を潰し、銭状にしたもの。	
M-4	永楽通寶	II区グリット	完形	外径、内径	明、1408年初鑄。	
M-5	洪武通寶	II区グリット	一部欠損	外径22.7~23.0、内径19.8~19.5	明、1368年初鑄。	
M-6	萬寧元寶?	II区グリット	完形	外径23.9、内径19.9~20.0	北宋、1068年初鑄。	
M-7	皇寧通寶?	II区グリット	周縁欠損	外径不明、内径19.0~19.2	北宋、1038年初鑄か。	
M-8	不詳	II区グリット	1/2	計測不可能		
M-9	永楽通寶	II区グリット	完形	外径24.7、内径20.3~20.7	明、1408年初鑄。	
M-10	元豊通寶	II区グリット	完形	外径24.2~24.4、内径18.2~18.5	北宋、1078年初鑄。	
M-11	政和通寶	II区グリット	完形	外径23.3~23.5、内径20.0	北宋、1111年初鑄。	
M-1	宋通元寶	IV区グリット	完形	外径24.8~24.9、内径19.1	北宋、960年初鑄。	

公田池尻 中世遺構外(1)

番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(mm)	特徴・その他	
M-1	元□口寶	3区	完形	外径23.9~24.0、内径19.0~18.1	加工銭。	
M-2	開元通寶	3区	一部欠損	外径21.4、内径18.9	唐、845年初鑄。輪狭い。	
番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(cm)	胎土・焼成・色質	特徴・その他
P-1	内耳鍋	4区 №3	口縁部破片		◎白色磁物粒含む。 ◎良好 ◎によい赤 褐色 5 YR5/4	器壁厚い。口縁部短く、内彎しながら外傾する。外面 器表黒灰色。
P-2	軟質陶器 すり鉢	4区 №2	口縁片		◎白色磁物粒含む。 ◎やや不良 ◎灰色 5 Y6/1	口縁部は玉縁状を呈し、先端は尖る。焼成は還元炎で あるが、焼き締まりなく軟らかい。
P-3	底蓋陶器 片口鉢	4区 №1	体部~底部	底径(10.0)	◎磁物粒含む。 ◎ 良好 ◎青灰色	体部外面輪縁目顯著。体部外面下縁手持り風へら削り。 体部下位から底部(すり鉢として)使用により磨滅す る。知多ではなく、瀬戸窯の可能性もある。
番号	種類	出土位置	残存状態	計測値(mm)	特徴・その他	
M-1	天聖元寶	4区	完形	外径23.0~24.0、内径19.6~19.9	北宋、1023年初鑄。	
M-2	治平元寶	4区	完形	外径24.3~24.4、内径17.1~17.6	北宋、1064年初鑄。	
M-3	皇寧通寶	4区	完形	外径24.8~25.1、内径19.5~19.8	北宋、1038年初鑄。	
M-4	開元通寶	4区	完形	外径24.0~24.1、内径19.4~19.7	唐、845年初鑄。	
M-5	萬寧元寶	4区	完形	外径23.8~23.9、内径19.2~19.3	北宋、1068年初鑄。	
M-6	開元通寶	4区	完形	外径23.1~23.6、内径19.1~19.3	唐、845年初鑄。背文字か?	
M-7	治平元寶	4区	完形	外径24.0~24.1、内径19.0~18.7	北宋、1064年初鑄。	
M-8	萬寧元寶	4区	一部欠損	外径23.4、内径18.9	北宋、1068年初鑄。	

公田池尻 中世遺構外(2)

番号	種類	出土位置	残存状態	計測値(cm)		特徴・その他	
M-9	陶元通寶	4区	一部欠損	外径24.7、内径20.1		唐、845年初鋳。	
M-10	□口通寶	4区	1/3欠損	計測不可能			
M-11	皇宋通寶	4区	2/3	外径25.0、内径19.2		北宋、1038年初鋳。	
M-12	□宋通寶	4区	1/3欠損	計測不可能		皇宋通寶か。	
番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(cm)		胎土・焼成・色調	特徴・その他
P-1	中国製白磁碗	6区表土	口縁片	口径(12.0)		◎緻密 ◎良好 ◎白色	口縁部外反する。外面の釉に磨れ目立つ。
P-2	龍泉窯系青磁碗	6区表土	体部片			◎緻密 ◎不良 ◎青灰色	鎮蓮弁文様。胎土の磁化は不十分で、釉の発色もやや悪い。
P-3	同安窯系青磁碗	6区表土	体部片			◎緻密 ◎良好 ◎灰白色	外面カキ目。内面沈線。
P-4	知多陶器 婁	6区表土	体部片			◎白色紅物含む。◎普通 ◎にぶい黄色 2.5YR6/4	体部下位片と推定される。内面は使用による磨減で平滑になる。7区P-5と同一個体か。
P-5	知多陶器 片口鉢	6区表土	体部片			◎紅物を含む。◎普通 ◎灰白色10Y 7/1	体部下位片。内面下部に使用による磨減が認められる。
P-6	在地土器 皿	6区表土	1/4残存	器高1.7 口径(7.0) 底径(3.6)		◎紅物を含む。◎普通 ◎褐色7.5YR 6/6	器表磨減し調整痕不明瞭。口縁端部厚付き。
P-1	軟質陶器 すり鉢	7区表土	体部片			◎紅物を含む。◎やや不良 ◎5YR8/4	体部上位片。内面すり目あり。器壁は薄く、焼き締まりも全くない。
P-2	軟質陶器 すり鉢	7区表土	口縁部破	口径(36.7)		◎白色紅物含む。◎やや不良 ◎にぶい赤褐色2.5YR5/4	口縁端部内外面に小さく突出する。口縁部外面は成形痕が明瞭に残る。
P-3	軟質陶器 すり鉢	7区表土	体部下位片			◎紅物を含む。◎普通 10YR6/1	体部下位外面成形明瞭に残る。内面使用による磨減あり。特に下部は著しいが、下部は磨減していない。
P-4	軟質陶器 すり鉢	7区表土	底部片	底径(13.2)		◎紅物を含む。◎やや不良 ◎にぶい黄褐色 10YR7/2	底部外面回転未切り無調整。内面底部周縁から体部下端使用により著しく磨減し、フーナツ状に窪む。底部かた体部外面厚付き。
P-5	知多陶器 婁	7区表土	体部～底部片	底径(17.0)		◎白色紅物含む。◎普通 ◎褐色5YR6/6	断面鈍い赤褐色。内面使用により磨減し、平滑となる。6区P-4と同一個体か。
P-6	瀬戸・美濃陶器 皿	7区表土	口縁～体部片	口径(9.1)		◎やや緻密 ◎普通 ◎灰白色10YR7/1	口縁端部外反。内外面灰釉。買入有り。大衆製品。
P-7	龍泉窯系青磁碗	7区表土	体部片			◎緻密 ◎やや不良 ◎灰白色10YR7/1	胎土は充分に磁化していない。釉には大きな買入入る。残存部僅文。
番号	種類	出土位置	残存状態	計測値(cm・g)		石質	特徴・その他
S-1	石臼		1/8	厚さ6.2～9.7 重さ3,520g		粗粒輝石安山岩	上臼。軸穴は丁寧な加工ではない。
番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(cm)		胎土・焼成・色調	特徴・その他
P-1	龍泉窯系青磁碗	7区ビッド	体部片			◎緻密 ◎普通 ◎灰白色	内面沈線。外面無文。
P-3	瀬戸・美濃陶器 入子	8-3区表土	口縁片			◎やや緻密 ◎普通 ◎残黄色5Y7/3	器壁厚く、口縁部は花卉状に波状に作る。灰釉を施す。中世。
P-1	新美陶器 婁	9区表土	底部片			◎やや緻密 ◎普通 ◎黄灰色2.5Y6/1	婁の底部片であろう。外面自然釉かかる。
P-2	知多陶器 婁	9区表土 トレンチ	体部下位片			◎緻密 ◎良好 ◎灰白色2.5Y7/1	内面下位自然釉かかる。外面鉄錆色。器壁やや薄い。
P-3	軟質陶器 すり鉢	9区表土	底部片			◎紅物を含む。◎普通 ◎灰白色。外面青灰色	底部外面回転未切り無調整。内面使用による磨減著しく、焼成時の器表が残らない。磨減により内面平滑。

表10 近世出土遺物観察表

棚島川端 5区39号溝

番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(cm)	胎土・焼成・色調	特徴・その他
P-1	肥前陶器 碗	埋土	1/2	器高7.4 口径11.5 底径5.0	◎普通 ◎灰白色	陶胎染付。外面口縁部に如意雲状の文様、体部に簡略化した横間山水文を描く。軸に貫入する。
P-2	肥前陶器 碗	埋土	口縁部片	口径(10.2)	◎普通 ◎灰白色	陶胎染付。外面口縁部に如意雲状の文様、体部に簡略化した横間山水文を描く。軸に貫入する。
P-3	肥前陶器 碗	埋土	1/2	底径4.9	◎普通 ◎灰白色	陶胎染付。外面横間山水文を描く。軸に貫入する。
P-4	肥前陶器 碗	埋土	口縁部片	口径(10.9)	◎普通 ◎灰白色	陶胎染付。外面横間山水文を描く。軸に貫入する。
P-5	肥前磁器? 香炉	埋土	口縁1/4 底部完	器高4.8 口径(7.0) 底径3.1	◎やや不良 ◎白色	青磁香炉。口縁部から高台脇に青磁軸を施す。軸は白濁し、青磁の発色は一部である。
P-6	肥前磁器 仏飯器	埋土	脚部完 体部1/2	底径3.8	◎普通 ◎白色	高台内無軸。脚部は細く杯部は大きい。口縁部外面雨降り文を描く。
P-7	製作地不詳陶器 碗	埋土	口縁一部 高台完	器高5.7 口径(11.2) 底径4.6	◎普通 ◎灰白色	高台脇以下を除き灰軸を施す。軸に貫入する。内底に目痕3カ所残る。高台幅広い。
P-8	瀬戸・美濃陶器 練り鉢	埋土	口縁部片	口径(23.5)	◎良好 ◎青灰色	口縁部は内湾し、外力に折り返すように肥厚する。灰軸を施す。
P-9	瀬戸・美濃? 陶器 徳利	埋土	1/2	底径(7.7)	◎普通 ◎灰白色 5Y8/2	外面体部下端まで灰軸を施す。二次的な被熱著しく内面は黒変し、外面は荒れる。
P-10	在土土器 焙烙	埋土	破片		◎白色紅物含む。◎ 普通 ◎浅黄褐色 7.5YR8/3	外面黒灰色。体部と底部の境は内外面とも丸みを帯びる。
P-11	在土土器 火鉢?	埋土	体部小片		◎黒色紅物少量含む。 ◎普通 ◎赤褐色	器表黒灰色。外面型による施文。

棚島川端 5区43号溝

番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(cm)	胎土・焼成・色調	特徴・その他
P-1	肥前陶器 碗	埋土	底部	底径5.2	◎普通 ◎青灰色	陶胎染付。外面植物文を描く。軸に貫入する。
P-2	在土土器 罎	埋土	小片		◎黒色紅物少量含む。 ◎普通 ◎灰白色 8/2、器表黒灰色	内面調整丁寧。外面紐作り痕残る。底部から体部下端外面腐付着。

棚島川端 1~17区110号溝

番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(cm)	胎土・焼成・色調	特徴・その他
P-1	在土土器 器種不詳	埋土	底部1/2	底径10.0	◎白色紅物含む ◎ 普通 ◎灰黄褐色10 YR5/2、断面黒灰色	外面指押しにより砂目状の文様を付ける。内面輪縁目残る。
P-2	在土土器 焙烙	埋土	破片		◎白色紅物少量含む。 ◎軟質 ◎灰白色 2.5Y 8/1	底部外面型作り時の刺彫材痕残る。耳1カ所残る。底部中央付近に補修孔1カ所残存。体部外面黒灰色、底部外面灰白色。

棚島川端 19区9号溝

番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(cm)	特徴・その他
I-1	煙管	埋土	煙首		頸部の曲がりは少ない。接合部は上面。

棚島川端 19区44号溝

番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(mm)	特徴・その他
M-1	寛永通寶	埋土	完形	外径23.2~23.3、内径19.0~19.2	銅1文銭。

徳島川端 20区8号溝

番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(cm)	胎土・焼成・色調	特徴・その他
P-1	製作地不詳磁器 白磁皿	埋土	口縁1/3欠	器高2.0 口径9.5 底径4.9	◎良好 ◎灰白色N8/	口縁部外反する。底部内面凹凸しによる沙線状文を施す。文様部分は縁状に覆む。
P-2	肥前磁器 染付碗	埋土	口縁1/2欠	器高5.85 口径(10.5) 底径4.2	◎良好 ◎白色	端反碗。外面に花卉文を施す。口縁部内面に簡略化した雷文帯を、底部内面に寿字を施す。3片接合。
P-3	肥前磁器 染付碗	埋土	口縁一部欠	器高6.0 口径10.5 底径3.9	◎良好 ◎白色	端反碗。外面に花卉文を施す。口縁部内面に雷文帯、底部内面に三友を施す。5片接合。
P-4	瀬戸・美濃磁器 碗	埋土	口縁1/3欠	器高5.6 口径10.2 底径3.6	◎良好 ◎白色	端反碗。外面に不明文様、口縁部内面に直線化した雷文帯、底部内面に簡略化した寿字を施す。9片接合。
P-5	製作地不詳磁器 急須	埋土	完形	器高7.5 口径6.3 底径3.8	◎良好 ◎白色	急須の本体。植物文を主文様とする。取っ手と注ぎ口には堆地文を施す。底部外面無輪、底押しによる螺旋状文。外部全体下層12カ所の面取り。2片接合。
P-6	益子陶器 すり鉢	埋土	1/2	器高12.0 口径(29.2) 底径13.0	◎普通 ◎にぶい赤褐色2.5YR4/4、断面淡黄色2.5YR8/3	鉄丸を施し、底部外面のみ拭い取る。外面口縁部下回転箇所あり。口縁部は外面に折り返すように厚彫り、凹線状に2条窪ませる。底部外面に「大平産」「岸佐造」の刷印。3片接合。
I-1	煙管	埋土	断首			直線上の本体に火眼を載せる。上面に叩き痕。

徳島川端 20区9号溝

番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(cm)	胎土・焼成・色調	特徴・その他
P-1	肥前磁器 染付鉢	埋土	口縁1/3欠	器高7.7 口径14.4 底径8.6	◎不良 ◎白色	蛇ノ目凹形高台。外面外周簡略化した唐草文。体部内面にいよゆる納書唐文を施す。底部内面は三方割銀唐文。透明釉は白濁する。3片接合。
P-2	瀬戸・美濃陶器 双耳壺	埋土	体部上半 1/2欠	器高9.3 口径8.3 底径7.4	◎やや不良 ◎淡黄色	口縁部から高台部まで灰釉を施す。他には釉の欠入が入る。外面肩部以下回転箇所あり。内面鉄分の付着が多く、お倉黒染として使用された可能性がある。
番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(cm)	胎土・焼成・色調	特徴・その他
M-1	寛永通寶	埋土	完形	外径24.8~24.9、内径20.2~20.5		古寛永。
M-2	寛永通寶	埋土	完形	外径25.0、内径20.0~20.2		文銭。

徳島川端 21区1号溝

番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(cm)	胎土・焼成・色調	特徴・その他
I-1	煙管	埋土	吸い口			扉字挿入部に段を付ける。吸い口先端欠損。

徳島川端 21区5号溝(1)

番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(cm)	胎土・焼成・色調	特徴・その他
P-1	肥前磁器 染付鉢	埋土	口縁部1/4 欠損	器高6.1 口径14.8 底径6.9	◎普通 ◎白色	蛇ノ目凹形高台。内面に海沢風景を施す。20片が接合し、内2片が脱落する。やや焼成不良で貫入が入る。
P-2	肥前磁器 染付筒形碗	1埋土	4/5	器高5.3 口径6.5 底径3.5	◎普通 ◎白色	口縁部直む。外面筒状目文と2カ所に雷文を施す。底部内面には不明文様。口縁部やや歪む。6片接合。
P-3	肥前磁器 染付丸碗	1埋土	1/2	器高5.0 口径8.3 底径3.0	◎普通 ◎灰白色	外面窓文内に草文と列点を施す。窓文外には格子文を施す。底部内面不明文様を施す。3片接合。4号溝出土片と接合。
P-4	瀬戸・美濃? 陶器ひょうそく	1埋土	口縁部3/4 欠損	器高5.7 口径(4.7) 底径4.0	◎やや磁密 ◎普通 ◎青灰色	脚外面右回転糸切り微欠をあげる。脚端部以外に鉄軸を施す。灯芯立ては「ハ」の字状に切り込みを入れる。
P-5	瀬戸・美濃陶器 染付丸碗	1埋土	1/3	器高4.9 口径(9.1) 底径(4.3)	◎やや磁密 ◎普通 ◎青灰色	外面に雷文を施す。軸に貫入する。2片接合。
P-6	肥前磁器 染付筒形碗	1埋土	3/4	器高5.4 口径7.3 底径3.6	◎やや焼成不良 ◎灰白色	外面に不明文様と菊花文を交互に各2カ所施す。底部内面には不明文様。外面高台縁には軸下にひびが認められる。12片接合。

標高川端 21区5号溝(2)

番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計 測 値 (cm)	胎土・焼成・色調	特 徴 ・ そ の 他
P-7	肥前磁器 染付陶磁碗	1埋土	3/4	器高5.6 口径7.0 底径3.7	◎やや焼成不良 ◎灰白色	外面に菊花散らし文、腰部内面に簡略化した五弁花文を描く。高台内から高台縁被熱する。4片接合。
P-8	肥前磁器 染付広東形碗	1埋土	2/3	器高5.5 口径11.6 底径5.7	◎普通 ◎灰白色	外面に横間山水を描く。内面は紙文で目疾3か所残る。波佐見系か。2次の被熱あり。17片接合。
P-9	肥前磁器 染付丸碗	1埋土	3/4	器高4.3 口径7.2 底径3.0	◎良好 ◎白色	外面の三方に花卉文、内底に不明文様を描く。5片接合。
P-10	肥前磁器 染付丸碗	1埋土	1/2	器高4.3 口径7.1 底径3.1	◎良好 ◎白色	外面の三方に花卉文、内底に不明文様を描く。7片接合。
P-11	肥前磁器 染付丸碗	1埋土	4/5	器高5.3 口径8.4 底径3.4	◎普通 ◎灰白色	縁描きのみで染付で植物文、樹籬文、鳥文をそれぞれ1か所描く。内底は曇か。
P-12	肥前磁器 染付窪口	1埋土	口縁一部欠	器高5.1 口径7.0 底径4.9	◎普通 ◎白色	蛇ノ目凹形高台、外面に雲持笹状の文様。内底に不明文様。5片接合。
P-13	肥前磁器 染付丸碗	1埋土	1/2	器高6.0 口径11.1 底径4.4	◎普通 ◎灰白色	波佐見系。外面に丸文、内底にコンニャク判による五弁花を描く。器壁厚い。14片接合。2次の弱い被熱。
P-14	肥前磁器 染付丸碗	1埋土	3/4	器高5.6 口径8.3 底径3.5	◎やや焼成不良 ◎灰白色	外面に植物葉を描く。焼成不良により、胎土は青味を帯び、釉は白濁する。2片接合。
P-15	肥前磁器 染付丸碗	1埋土	1/2	器高5.5 口径8.6 底径3.5	◎普通 ◎灰白色	外面に簡略化した四方棒状と格子文を描く。内面に不明文様を細線で描く。12片接合。
P-16	肥前磁器 染付丸碗	1埋土	3/4	器高5.7 口径8.4 底径3.3	◎普通 ◎灰白色	外面に簡略化した四方棒状と格子文を描く。内面に不明文様を細線で描く。11片接合。
P-17	肥前磁器 染付鉢	1埋土	1/2	器高6.0 口径(14.8) 底径(6.0)	◎普通 ◎白色	蛇ノ目凹形高台。内面に海浜風景を描く。13片接合。
P-18	肥前磁器 染付広東形碗 蓋	1埋土	口縁一部欠	器高2.1 口径10.1 つまみ5.3	◎普通 ◎白色	外面に海浜風景、つまみ内に鳥を描く。内面は不明文様。2片接合。
P-19	肥前磁器 染付広東形碗 蓋	1埋土	口縁1/2欠	器高2.6 口径10.0 つまみ5.5	◎普通 ◎白色	内外面共にP-18と同文様であるが、簡略化されている。10片接合。やや器壁厚い。
P-20	瀬戸・美濃陶 器 碗	1埋土	口縁一部 底面完	器高8.1 口径8.8 底径4.1	◎普通 ◎青灰色	口縁部から内面に貫入の入り灰釉、体部外面から高台内に鉄釉を施す。体部外面に螺紋状の凹線を巡らす。腰割碗。
P-21	瀬戸・美濃陶 器 小碗	1埋土	1/2欠	器高3.9 口径6.3 底径3.1	◎やや不良 ◎灰白色	灰釉を施す。釉に貫入する。高台脇以下無釉。貼り付け高台。
P-22	瀬戸・美濃陶 器 小碗	1埋土	口縁2/3欠	器高3.6 口径5.9 底径3.1	◎良好 ◎灰白色10 YR7/1、軸灰色7.5 YR6/1	灰釉を施す。高台脇以下無釉。焼成が良好で焼き締まる。2片接合。
P-23	瀬戸・美濃陶 器 碗	1埋土	口縁1/2欠	器高5.4 口径9.4 底径4.0	◎普通 ◎青灰色	口縁部から内面に貫入の入り灰釉、体部外面から高台内に鉄釉を施す。体部外面に螺紋状の凹線を巡らす。腰割碗。2片接合。
P-24	肥前磁器 染付窪口	1埋土	1/3	器高6.0 口径7.0 底径(3.9)	◎普通 ◎白色	2次の被熱。2片接合。
P-25	瀬戸・美濃陶 器 小碗	1埋土	口縁1/4欠	器高3.5 口径6.8 底径3.4	◎普通 ◎灰白色	高台脇以下を除き黄褐色の灰釉を施す。外面口縁部以下は回転削り。高台は器底形状を呈する。

徳島川端 21区5号溝(3)

番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(cm)	胎土・焼成・色調	特徴・その他
P-26	製作地不詳 カンテラ	1埋土	底部、体部 1/5欠	口径(4.7)	◎良好 ◎灰白色	底部と口縁端部を除き灰釉を施す。細かい貫入入る。灯芯と立てる口は一方所である。3片接合。
P-27	肥前磁器 青磁瓶	1埋土	口縁	口径6.8	◎普通 ◎白色	口縁部は外反し。肩部を上方に引き上げる。二次的な被熱。
P-28	瀬戸・美濃陶器 瓶	1埋土	口縁一部欠	器高3.9 口径6.0 底径3.3	◎普通 ◎青灰色	灰釉を施す。軸に不明な貫入入る。高台皿以下無軸。高台端部幅広い。2片接合。
P-29	肥前磁器 染付猪口	1埋土		器高6.1 口径6.9 底径4.3	◎普通 ◎白色	外面下半に 文を描く。4片接合。
P-30	瀬戸・美濃磁器? 染付碗	1埋土	2/3	器高5.0 口径9.8 底径3.6	◎良好 ◎白色	人造呉須を使用した型紙張り。明治〜大正。
P-31	製作地不詳 染付レンガ	1埋土	体部3/4		◎良好 ◎白色	先端部と裏基部に天然呉須で溝みを施す。3片接合。
P-32	肥前磁器 染付壺	1埋土	上半1/2欠	器高14.2 口径9.1 底径7.6	◎普通 ◎白色	口縁端部の軸を掘き取っており、蓋付と考えられる。外面には海浜風景と草文を表裏に描く。器表には細かい使用痕と思われる傷が多く認められる。13片接合。
P-33	肥前磁器 仏飯器	1埋土	脚部欠	口径6.5	◎やや不良 ◎灰白色	軸厚にむらがあり、呉須の発色も良くない。外面には菊花散らし文を描く。5片接合。
P-34	肥前磁器 仏飯器	1埋土	口縁一部欠 脚部欠	口径(7.1)	◎良好 ◎白色	外面に簡略化した龍と飛雲を2方に描く。3片接合。
P-35	肥前磁器 染付瓶	1埋土	体部一部欠	器高10.5 口径1.8 底径5.6	◎普通 ◎白色	体部に梅、竹、草文を描く。肩部にはいわゆる蛇唐草を描く。4片接合。
P-36	肥前磁器 染付瓶	1埋土	底部完 体部1/2	底径4.9	◎不良 ◎灰白色	体部外面にいわゆる蛇唐草を描く。内面無軸。8片接合。
P-37	肥前磁器 染付火入れ	1埋土	1/3欠	器高6.9 口径5.5 底径7.5	◎やや不良 ◎灰白色	蛇ノ目凹型高台。内面口縁部以下と蛇ノ目は無軸。外面2方に竹を描く。口縁端部には細かい欠けが認められる。11片接合。
P-38	肥前磁器 染付火入れ	1埋土	底部完 体部1/2	器高8.0 口径5.5 底径7.2	◎良好 ◎白色	蛇ノ目凹型高台。内面口縁部以下と蛇ノ目は無軸。外面に2重線による格子目を描く。外面口縁部から端部は溝みを入れる。10片接合。
P-39	在地?土器 皿	1埋土	口縁1/3欠	器高2.0 口径4.4 底径3.1	◎黒色・白色鉱物少量含む。◎良好 ◎褐色7.5YR6/6 黒褐色7.5YR1/3	輪縁成形。底部右回転糸切り無調整。底径小さく、体部は大きく広がる。器表は褐色と黒褐色であるが、褐色は器表のみである。胎土はやや緻密である。
P-40	在地土器 皿	1埋土	1/2	器高2.2 口径(10.0) 底径(7.2)	◎白色鉱物含む ◎普通 ◎灰黄色	輪縁成形。底部左回転糸切り無調整。体部僅かに外反して立ち上がる。
P-41	瀬戸・美濃陶器 灯明皿受付皿	1埋土	3/4	器高2.1 口径10.3 底径4.7	◎普通 ◎褐色7.5YR4/1、断面明褐色7.5YR7/1	外面口縁部下回転複製。全面に鉄泥を施した後、外面体部以下の軸を拭き取る。受け部に切り込みは「U」字型で1カ所である。
P-42	肥前磁器 染付鉢	1埋土	一部欠	器高6.3 口径9.8 底径4.7	◎良好 ◎白色	高台は円形であるが、体部から口縁部を8角形にする。8角形の1辺に梅と草文を交互に描く。8片接合。
P-43	肥前磁器 染付鉢	1埋土	体部一部欠	器高8.1 口径16.0 底径7.7	◎良好 ◎白色	蛇ノ目凹型高台。高台高い。体部と口縁部は8角形を呈する。外面と口縁部内面には滑き状の唐草と格子状文、底部内面には草配と鳳凰を描く。28片接合。二次的な被熱。破片により被熱の度合が異なる。
P-44	肥前?磁器 染付水鏡	1埋土	1/4欠	器高6.9 幅11.2	◎普通 ◎白色	底部内外面布疋。天井部外面は型押しにより菊を浮き出させ、裏に呉須を施す。注ぎ口と反対の水口部は無軸。空気穴は裏の部分に小さく開ける。6片接合。

櫻島川端 21区5号溝(4)

番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計 測 値 (cm)	胎土・焼成・色調	特 徴 ・ そ の 他
P-45	製作地不詳 土甕	1埋土	口縁部 4/5、体部 一部欠	器高10.1 口径5.2 底径6.3	◎やや緻密 ◎良好 ◎灰白色	体部外面下位を除き緑色釉を施す。底唇部に小さい脚を3カ所貼り付ける。焼融。二次的な被熱により釉が一部剥落する。24片接合。
P-46	瀬戸・美濃陶器 油徳利	1埋土	取っ手欠 口縁一部欠	器高15.5 口径2.0 底径6.5	◎普通 ◎青灰色	胴部に尖帯を巡らし、一カ所に油が流れ込む穴を開ける。全面に鉄泥を施し、底部のみ拭い取る。二次的な被熱著しく、釉色が黒変している。
P-47	瀬戸・美濃陶器 汁注ぎ	1埋土	取っ手欠	器高8.5 口径7.3 底径6.0	◎普通 ◎灰白色	外面に鉄泥を施す。高台皿以下と内面無釉。内面に油状のものが付着しており、油注ぎとして使用されていたと考えられる。
P-48	瀬戸・美濃?陶器 汁注ぎ蓋	1埋土	口縁1/2欠	器高1.8 径7.9	◎普通 ◎灰白色	汁注ぎの蓋とし。下面は無釉。上面は鉄泥を施す。47より径が小さく、別個体の蓋である。
P-49	肥前磁器 染付燗反碗	1埋土	口縁一部欠	器高6.2 口径11.7 底径4.6	◎普通 ◎白色	高台「ハ」字状に開く。口縁部外反する。外面には「壽福壽」の文字と墨押きによる松竹梅文を一つづつ描く。口縁部内面は墨押きによる雷文帯、内底は輪を描く。9片接合。
P-50	肥前磁器 染付燗反碗蓋	1埋土	つまみ一部欠	器高3.1 口径10.0 つまみ径4.3	◎普通 ◎白色	天井部外面に「壽福壽」の文字と墨押きによる松竹梅文を一つづつ描く。口縁部内面は墨押きによる雷文帯を描く。49の蓋。二次的な被熱。10片接合。
P-51	肥前磁器 染付小鉢	1埋土	口縁1/2欠	器高5.0 口径9.2 底径4.4	◎良好 ◎白色	口縁部内面輪を描き取る。外面丸文を描く。底部内面には浅い煙突状の凹線を巡らす。52の身。11片接合。
P-52	肥前磁器 染付小鉢蓋	1埋土	天井部一部欠	器高3.0 口径8.6	◎良好 ◎白色	天井部外面に丸文を描く。身と接する部分は無釉。リボン状のつまみを貼り付ける。10片接合。51の蓋である。
P-53	肥前磁器 染付小皿	1埋土	1/4欠	器高2.5 口径9.9 底径5.8	◎普通 ◎青灰色	志田窯産。内面に桜間山水文を描く。口縁。二次的な被熱著しい。7片接合。
P-54	肥前磁器 染付小皿	1埋土	口縁1/3欠	器高2.7 口径10.0 底径5.8	◎普通 ◎灰白色	志田窯産。内面に桜間山水文を描く。口縁。7片接合。
P-55	肥前磁器 染付小皿	1埋土	底部3/4 口縁(10.0)	器高2.5 口径(10.0) 底径5.7	◎普通 ◎灰白色	志田窯産。内面に桜間山水文を描く。口縁。二次的な被熱著しい。5片接合。
P-56	肥前磁器 染付皿	1埋土	口縁1/4欠	器高4.0 口径12.9 底径7.6	◎普通 ◎青灰色	口縁部輪花に作る。外面簡略化した唐草文、内面南と不明文様を描く。底部内面コンニャク判による五弁花。花。外底1重角溝。被佐見系。5片接合。
P-57	肥前磁器 染付皿	1埋土	口縁一部欠	器高4.0 口径13.5 底径7.6	◎普通 ◎青灰色	外面簡略化した唐草文。内面簡略化した植物文を描く。内底コンニャク判による五弁花。外底簡略化した渦渦。内面二次的な被熱。被佐見系。16片接合。
P-58	肥前磁器 染付皿	1埋土	口縁1/4欠	器高4.0 口径13.2 底径7.5	◎普通 ◎青灰色	口縁部輪花に作る。外面簡略化した唐草文、内面南と不明文様を描く。底部内面コンニャク判による五弁花。外底1重角溝。被佐見系。7片接合。二次的な被熱。
P-59	肥前磁器 染付皿	1埋土	口縁1/4欠	器高4.5 口径13.8 底径7.9	◎良好 ◎青灰色	外面簡略化した唐草文。内面簡略化した植物文を描く。内底コンニャク判による五弁花。外底簡略化した渦渦。口縁部二次的な被熱。被佐見系。17片接合。
P-60	肥前磁器 染付皿	1埋土	口縁1/2欠	器高3.1 口径13.5 底径6.8	◎普通 ◎青灰色	内面蛇ノ目輪刺ぎ。内面簡略化した唐草とコンニャク判による五弁花。内底二次的な被熱。被佐見系。3片接合。
P-61	肥前磁器 染付皿	1埋土	1/4欠	器高4.1 口径13.2 底径7.7	◎普通 ◎青灰色	外面簡略化した唐草文。内面簡略化した植物文を描く。内底コンニャク判による五弁花。外底簡略化した渦渦。全面二次的な被熱。被佐見系。5片接合。
P-62	肥前磁器 染付皿	1埋土	一部欠	器高4.1 口径13.2 底径7.8	◎良好 ◎灰白色	外面簡略化した唐草文。内面簡略化した植物文を描く。内底コンニャク判による五弁花。外底簡略化した渦渦。被佐見系。16片接合。

樽島川端 21区5号溝 (5)

番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(cm)	胎土・焼成・色調	特徴・その他
P-63	肥前磁器 染付皿	1埋土	一部欠	器高3.9 口径13.5 底径7.7	◎普通 ◎青灰色	外面簡略化した唐草文。内面簡略化した植物文を描く。内底コンヤク判による五弁花。外底簡略化した渦渦。部分的に弱い被熱。波佐見系。25片接合。
P-64	肥前磁器 染付皿	1埋土	1/5欠	器高4.2 口径13.6 底径7.5	◎良好 ◎灰白色	外面簡略化した唐草文。内面簡略化した植物文を描く。内底コンヤク判による五弁花。外底簡略化した渦渦。波佐見系。6片接合。
P-65	肥前磁器 染付皿	1埋土	1/6欠	器高3.9 口径13.6 底径7.4	◎普通 ◎青灰色	外面簡略化した唐草文。内面簡略化した植物文を描く。内底コンヤク判による五弁花。外底簡略化した渦渦。部分的に二次的な被熱。波佐見系。13片接合。
P-66	肥前磁器 染付皿	1埋土	一部欠	器高4.0 口径13.6 底径7.5	◎普通 ◎青灰色	外面簡略化した唐草文。内面簡略化した植物文を描く。内底コンヤク判による五弁花。外底簡略化した渦渦。部分的に二次的な被熱。波佐見系。21片接合。
P-67	肥前磁器 染付皿	1埋土	1/3欠	器高4.2 口径13.6 底径8.1	◎良好 ◎灰白色	外面簡略化した唐草文。内面簡略化した植物文を描く。内底コンヤク判による五弁花。外底簡略化した渦渦。波佐見系。14片接合。
P-68	瀬戸・美濃磁器 染付碗	1埋土	1/2	器高5.0 口径9.4 底径4.0	◎良好 ◎白色	端反碗。外面梅花文を散らす。透明釉はやや青みを帯びる。2片接合。
P-69	瀬戸・美濃磁器 染付碗	1埋土	1/2	器高5.0 口径9.4 底径4.1	◎良好 ◎白色	端反碗。外面梅花文を散らす。透明釉はやや青みを帯びる。2片接合。
P-70	肥前磁器 染付碗	1埋土	1/5欠	器高3.9 口径8.4 底径(3.5)	◎普通 ◎灰白色	小皿広東形碗。外面は横間山水文、内底は不明文様を描く。二次的な被熱。7片接合。溝みに一部違いがあるが、7とセットであろう。
P-71	瀬戸・美濃磁器 染付碗	1埋土	1/2	器高4.8 口径9.2 底径4.0	◎良好 ◎白色	端反碗。外面梅花文を散らす。透明釉はやや青みを帯びる。3片接合。
P-72	瀬戸・美濃磁器 染付碗	1埋土	一部欠	器高5.0 口径9.2 底径4.2	◎良好 ◎白色	端反碗。外面梅花文を散らす。透明釉はやや青みを帯びる。8片接合。
P-73	瀬戸・美濃磁器 染付碗	1埋土	体部1/2欠	器高4.9 口径9.2 底径3.4	◎普通 ◎白色	端反碗。外面簡略化した唐草文、内底不明文様を描く。二次的な被熱。8片接合。
P-74	肥前磁器 染付碗	1埋土	一部欠	器高4.0 口径8.9 底径3.3	◎良好 ◎白色	小皿広東形碗。外面は横間山水文、内底は不明文様を描く。具須の発色は良い。弱い二次的な被熱。10片接合。
P-75	肥前磁器? 染付小碗	1埋土	1/4欠	器高3.6 口径8.5 底径3.2	◎不良 ◎灰白色	外面梅の折れ枝文を描く。胎土は磁化していない。釉は離れたようになり全体に掛かっていない。二次的な被熱。4片接合。
P-76	肥前磁器 染付小碗	1埋土	口縁1/2 底部欠	器高3.8 口径8.2 底径2.9	◎やや不良 ◎灰白色	外面に不明文様を描く。主文様は欠損する。波佐見系。
P-77	瀬戸・美濃磁器 碗	1埋土	体部一部欠	器高4.7 口径9.5 底径3.1	◎普通 ◎白色	端反碗。外面簡略化した唐草文、内底不明文様を描く。二次的な被熱。11片接合。
P-78	瀬戸・美濃磁器 碗	1埋土	口縁1/2欠	器高4.8 口径9.3 底径3.2	◎良好 ◎白色	端反碗。外面簡略化した唐草文、内底不明文様を描く。3片接合。
P-79	瀬戸・美濃磁器 碗	1埋土	口縁一部欠	器高4.9 口径9.4 底径3.4	◎普通 ◎白色	端反碗。外面簡略化した唐草文、内底不明文様を描く。3片接合。
P-80	瀬戸・美濃磁器 碗	1埋土	口縁1/4欠	器高4.9 口径9.5 底径3.5	◎普通 ◎白色	端反碗。外面簡略化した唐草文、内底不明文様を描く。二次的な被熱。6片接合。
P-81	瀬戸・美濃磁器 碗	1埋土	高台欠 口縁一部 底径一	器高一 口径(9.5) 底径一	◎良好 ◎白色	端反碗。外面簡略化した唐草文、内底不明文様を描く。4片接合。

樽島川端 21区5号溝(6)

番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(cm)	胎土・焼成・色調	特徴・その他
P-82	瀬戸・美濃磁器	1埋土	口縁1/2欠	器高4.9 口径9.3 底径3.3	◎普通 ◎白色	端反脱。外面簡略化した唐草文、内底不明文様を描く。二次的な被熱。10片接合。
P-83	瀬戸・美濃磁器	1埋土	口縁一部欠	器高4.9 口径9.1 底径2.8	◎良好 ◎白色	端反脱。外面簡略化した唐草文、内底不明文様を描く。二次的な被熱。12片接合。
P-84	肥前磁器？ 染付漆器	1埋土	口縁部欠 体部1/4欠	器高9.1 最大径16.0	◎不良 ◎青灰色	外面一方に大きく植物文を大きく描く。胎土の色調により器表青灰色を呈する。部分的に二次的な被熱。45片接合。
P-85	瀬戸・美濃陶器 片口鉢	1埋土	底部1/4欠	器高8.4 口径16.6 底径8.8	◎普通 ◎青灰色	削り出し高台。高台脇削りにより段を付ける。高台脇以下を除き灰釉を施す。内底目跡2カ所残る。体部の立ち上がりは直線的。7片接合。
P-86	在地球器 火酒壺	1埋土	口縁一部欠 つまみ欠	口径(25.5)	◎普通 ◎部分的に 鈍い褐色・黒灰色	天井部外面型押しによる刺離材残る。口縁部回転軸で。肩部型押し。天井部内面回転軸で。つまみ残存。10片接合。
P-87	制作地不詳 陶器 大皿	1埋土	一部欠	器高7.8~7.3 口径26.5 底径17.7	◎白色磁物多く含む。 ◎普通 ◎赤褐色から 灰褐色	高台脇以下無釉。灰オリーブ色の釉を掛ける。高台幅広い。内底目跡5カ所。23片接合。
P-88	在地球器 焙烙	1埋土	1/3	器高4.4 口径3.5 底径32.8	◎白色磁物少量含む。 ◎普通 ◎によい褐色 5YR6/4	底部外面型押しによる刺離材残る。体部外面から内面回転軸で。内面底部周縁はなだらかに体部に移行する。耳は1カ所残存。10片接合。
P-89	信濃？陶器 すり鉢	埋土	1/5	口径(37.9)	◎硝・長石多く含む。 ◎普通 ◎内面淡赤 褐色2.5YR7/3、外面 褐色2.5YR6/6	口縁部に薄く鉄泥を施し、体部に流れる。外面回転軸目跡。口縁部外面に凹線状に窪む。口縁部内面も凹線状に強く窪む。2片接合。20区9溝と接合。
P-90	堺・明石陶器 すり鉢	1埋土	口縁一部欠	器高11.3 口径28.2 底径13.7	◎良好 ◎赤色10R 4/6	体部外面回転削り。底部外面砂付着。口縁部内外面凹線状に窪む。底部内面使用により摩滅する。二次的な被熱。12片接合。
P-91	在地球器 十徳	1埋土	取っ手欠		◎白色磁物含む。 ◎普通 ◎褐色・黒 灰色	外面型押しによる刺離材残る。内面無釉。2片接合。接合部で明確に色調が異なる。割れた後に二次的に熱を受ける。
P-92	在地球器 火鉢？	1埋土	一部欠	器高9.1 1辺27.7	◎磁物含む。◎普通 ◎褐色	平面方形を呈し、底部に半球形の脚を4個張り付ける。底部外面型押しによる刺離材残る。口縁端部熱により刺離・変色する。暖房具ではなく厨房具か。11片接合。
P-93	堺・明石陶器 すり鉢	1埋土	一部欠	器高11.7 口径31.1 底径16.0	◎普通 ◎鈍い赤褐色 から暗赤灰色	体部外面回転削り。底部外面砂付着。口縁部内外面凹線状に窪む。底部内面使用により摩滅する。35片接合。接合部で色調が異なり、割れた後二次的に被熱。
P-94	瀬戸・美濃陶器 すり鉢	1埋土	1/4欠	器高18.2 口径30.7 底径15.7	◎普通 ◎によい褐色 2.5YR5/4	口縁部外方に折りを施す。高台脇以下を除き灰釉を施す。口縁部から体部に刺離線を流し掛ける。部分的に鋭い二次的な被熱。
P-95	瀬戸・美濃磁器 染付陶	1埋土	口縁1/2 底部欠	器高4.9 口径9.3 底径4.1	◎良好 ◎白色	端反脱。外面梅花文を散らす。透明釉はやや青みを帯びる。6片接合。
P-96	常滑陶器 壺	1埋土	体部上半	口径(46.5)	◎内外面灰褐色 7.5YR5/2、断面褐色 2.5YR6/6	口縁部は厚く、外方に水平に延びる。49片接合。内面には炭酸カルシウム状の白色物が付着する。便所であろう。
番号	種類	出土位置	残存状態	計測値(cm・g)	石質	特徴・その他
S-1	磁石	埋土	2/3	長さ9.5 幅2.9 厚さ2.1 重さ94	磁石	3面にたがね状工具痕残る。
S-2	磁	埋土	ほぼ完形	長さ17.3 幅6.3 厚さ2.4 重さ310	人造	障の左側使用により窪む。
番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(mm)		特徴・その他
M-1	不明銅製品	埋土	1/2か			金具の一部か
M-2	寛永通寶	埋土	完形	外径23.6~24.0、内径19.8~20.5		銅、1文銭。

公田東 I区4号溝

番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(mm)	特徴・その他
M-1	寛永通寶	埋土	完形	外径22.7~22.8、内径18.9~19.2	刷1文銭。

公田東 I区5号溝

番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(mm)	特徴・その他
M-1	開元通寶	埋土	完形	外径22.7~23.0、内径18.3~18.6	唐、845年初鋳。

公田東 III区10号溝

番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(mm)	特徴・その他	
M-1	文久永寶	埋土	完形	外径26.0~26.2、内径19.8		
番号	器種	出土位置	寸法 長さ・幅・厚さ(cm)	木取り	特徴	登録番号
W-1	漆椀	埋土		横木	全面朱漆仕上げの椀。外面の漆はほとんど剝離している。	242
W-2	漆椀	埋土		横木	高台と口縁部を欠損する。内面に朱漆、外面を黒漆で仕上げ、外面に朱漆で草文を描き、高台内に朱漆で風号を記す。	241
W-3	刷毛?	埋土	12.8×9.4~1.8×1.0	板目	櫛づけなどをとする際に使用する刷毛の本体であろう。椀毛は、両端に挟んだであろうか。	238
W-4	柄杓柄	埋土	28.0×2.7×1.9	割材	角材の一方を細く削り、角を取って断面6角形とする。先端は段を付けて細く仕上げられる。取っ手側には、側板を接合した漆が付着している。	247
W-5	下駄	埋土	15.4×7.5×2.1	横木	近・現代の子供用下駄。前の鼻緒を付ける部分に丸い窪みを有する。半円形の金属をはめていたのであろう。	245
W-6	用途不明	埋土	直径:11.0×厚さ:1.0	板目	断面台形を呈する円盤状木製品である。周囲の削りは粗く、容器底版ではない。欠損部には本釘が2本認められ、2枚板で円形を形作っていたと考えられる。	240
W-7	用途不明	埋土	直径:8.7×厚さ:0.8	板目	円盤状を呈する。中央には門を掘った際に使用したと推定される中心点が認められる。	239
W-8	柄杓底版?	埋土	直径:14.0×厚さ:0.5	おいね	一部欠損。曲物側板と共に出土しており、曲物底版と考えられる。347から推定される直径と同じであり、柄杓の本体と考えられる。	246

公田東 IV区17号溝

番号	器種	出土位置	寸法 長さ・幅・厚さ(cm)	木取り	特徴	登録番号
W-1	用途不明	埋土	12.0×3.3×1.2	板目	小張の板材で、整った直方体を呈する。表面は丁寧に調整される。	237
W-2	枕	埋土	26.6×3.4×3.3	丸木	樹皮の付いた丸材の一端を粗く尖らす。	235
W-3	板材	埋土	30.3×2.7×0.6	おいね	幅2.7cmの棒状の板材である。表面は調整されており、製品の一部分の可能性がある。	234
W-4	棒	埋土	39.1×5.4×2.0	板目	板目板の両端を斜めに丁寧に切断する。木取りから棒の底版もしくは蓋版であろう。	236

樽島川端 6区1号井戸(1)

番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(cm)	胎土・焼成・色調	特徴・その他
P-1	瀬戸・美濃陶器杯	埋土	1/4	口径(6.5)	青濁 灰黄色 2.5Y7/2	高台縁以下を除き灰輪を施す。輪に細かい買入る。外面体部下位以下回転彫り。2片接合。
P-2	中国?磁器碗	埋土	1/4	底径(3.4)	青濁 白色	高台端部断面三角形に面取りする。外面暗褐色釉、内面透明釉を施す。明代。
P-3	瀬戸・美濃陶器杯	埋土	1/2	器高4.1 口径(6.8) 底径3.0	良好 灰白色	灰輪を施す。高台外面から内面にかけ無釉。外面口縁部以下回転彫り。不良品で底部に小孔がある。3片接合。

樽島川端 6区1号井戸(2)

番号	種類・器類	出土位置	残存状態	計測値(cm)	胎土・焼成・色調	特徴・その他
P-4	瀬戸・美濃陶器 香炉	埋土	1/2	器高4.5 口径3.3 底径3.1	◎良好 ◎灰白色	口縁部から外面体部下端灰釉を施す。貫入する。口縁部内面側に突出する。2片接合。
P-5	肥前磁器 染付碗	埋土	1/2	器高4.1 口径8.3 底径3.1	◎良好 ◎白色	外面コンニャク判により変形状の文様、筆により井桁状の文様を描く。被佐見系。
P-6	肥前磁器 染付碗	埋土	口縁1/4 底部完	器高5.1 口径(10.0) 底径3.8	◎普通 ◎青灰色	外面に青輪軸文、高台内に不明文様を描く。4片接合。
P-7	瀬戸・美濃陶器 碗?	埋土	体部片		◎良好 ◎灰白色	細かい貫入の入る灰釉を施す。外面に鉄線具で文様を描く。
P-8	瀬戸・美濃陶器 徳利	埋土	1/3	底径(6.2)	◎不良 ◎青灰色	底部外面を除き鉄泥を施す。体部下位を覆ませる。
P-9	瀬戸・美濃陶器 香炉	埋土	1/3	口径(10.0)	◎普通 ◎淡黄色5Y8/3	胎土・焼成・口縁部形態は4と同じ。外面に細かい貫入の入る灰釉を施す。体部外面下半部輪目が目立つ。3片接合。
P-10	堺・明石陶器 すり鉢	埋土	口縁片		◎良好 ◎内面鈍赤褐色2.5YR4/3、外面暗赤褐色2.5YR3/2	口縁部内面突出する。外面口縁部下端鋭削り。
P-11	瀬戸・美濃陶器 すり鉢	埋土	口縁片		◎普通 ◎淡黄色2.5Y8/3	口縁部内面段をなす。口縁部肥厚する。鉄泥を施す。
P-12	瀬戸・美濃陶器 すり鉢	埋土下層	破片		◎普通 ◎断面淡黄褐色10YR8/3	口縁部外傾し、端部は肥厚する。鉄泥を施す。体部外面下端の輪は拭い取る。
P-13	瀬戸・美濃陶器 すり鉢	埋土	1/6	口径(31.0)	◎普通 ◎灰白色2.5Y8/2	口縁部外方に折り返すように肥厚する。鉄泥を施す。6片接合。
P-14	瀬戸・美濃陶器 すり鉢	埋土	1/2	底径12.9	◎普通 ◎にぶい褐色7.5YR6/4	底部右回転糸切り無調整。鉄泥を施し、外面体部下端から底部の輪を拭い取る。使用により底部内面と底部外面周縁摩滅する。5片接合。
P-15	瀬戸・美濃陶器 すり鉢	埋土中層	口縁1/3欠	器高13.1 口径32.0 底径12.3	◎普通 ◎淡黄色2.5Y8/3	口縁部下位外面を凹輪状に窪ませ、内面は突出する。口縁部平坦。底部右回転糸切り無調整。鉄泥を施す。内面底部周辺使用により摩滅する。10片接合。
P-16	在土土器 皿	埋土中層	1/2	器高2.3~2.0 口径9.5 底径6.9	◎黒色鉄物含む ◎普通 ◎明黄褐色10YR7/6	底部左回転糸切り無調整。底部周縁外方に小さく突出する。口縁部小さく立ち上がる。8片接合。軽い。
P-17	在土土器 皿	埋土上層	2/3	器高1.9 口径10.2 底径7.1	◎黒色鉄物含む ◎普通 ◎にぶい黄褐色10YR7/3	底部左回転糸切り無調整。底部周縁外方に小さく突出する。口縁部小さく立ち上がる。5片接合。軽い。
P-18	在土土器 鍋	埋土上層	破片	器高(12.3) 口径(36.8) 底径(19.9)	◎白色鉄物含む ◎普通 ◎灰色5Y4/1	内面調整は丁寧。口縁部平組。底部外面型作り時の新羅材。外面無調整。外面紐作り痕残る。外面輝付着。5片接合。中程は図上復元。
P-19	在土土器 鍋?	埋土上層	破片		◎白色鉄物含む ◎普通 ◎褐色、断面黒灰色	口縁部外面小さく突出する。口縁部平坦。外面輝付着。3片接合。
P-20	在土土器 焙烙	埋土上層	破片		◎白色鉄物含む ◎普通 ◎褐色10YR6/1	底部内面から口縁部右内面に貼り付けた耳は欠損。体部外面磨表面黒色。
P-21	瓦	埋土	破片		◎夾雑物少ない ◎不良 ◎灰白色	片面に切斷するため考えられる切り込みがある。2片接合。
番号	種類	出土位置	残存状態	計測値(cm・g)	石質	特徴・その他
S-1	礫石	埋土	1/3	長さ5.8 幅2.7 厚さ1.8	砥沢石	2面を主に使用。

標島川端 14区2号井戸(1)

番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(cm)	胎土・焼成・色調	特徴・その他
P-1	肥前陶器 皿	埋土	破片		◎普通 ◎灰黄褐色 10YR6/2	内面に青緑釉、外面に透明釉を施す。体部中位で屈曲する。内野山産。
P-2	製作地不詳磁器？ 小瓶	埋土下層	口縁1/3 底部完	器高4.0 口径(7.6) 底径2.6	◎不良 ◎灰白色 7.5Y7/1	外周口縁部下回転削り。高台は厚く、胎土は磁化していない。灰リブ色がかった釉はやや不透明である。口縁部割れ口に漆付着。
P-3	肥前磁器 染付碗	埋土下層	1/5	口径(9.9)	◎普通 ◎白色	外周に植物文を描く。
P-4	瀬戸・美濃陶器 染付碗	埋土下層	1/2	器高5.6 口径(8.9) 底径3.6	◎不良 ◎灰白色	丸脚。外周に茶葉文を描く。底部内面は帆掛け船か、軸にはピンホールがあり、一部白濁する。
P-5	丹波・信楽陶器 すり鉢	埋土下層	小片		◎普通 ◎灰黄色	内周口縁部下大きく凹縁状に窪ませ、外周は外方に折れる。口縁部は凹縁状に窪み、更に外傾して延びる。
P-6	瀬戸・美濃陶器 半割罎	埋土下層	1/4	器高27.4 口径(27.9) 底径(17.0)	◎普通 ◎断面灰黄色 2.5Y8/3	特輪を施し、外面体部下以下は拭い取る。口縁部外周に2次の凹縁返し、体部下端には2段の段差を付ける。内底に1か所目跡残る。10片接合。
P-7	在土土器 盤？	埋土下層	小片		◎黒色磁物含む。◎ 普通 ◎残黄色2.5 Y7/3	器高低い。口縁部折り返すように外方に延びる。割れ口の方は平滑に磨られている。転用品か。
P-8	在土土器 焙烙	埋土下層	小片	器高5.1	◎黒色磁物含む。◎ 普通 ◎断面・器表 黒灰色、器表下灰白 色	外面紐作り痕残る。体部外面下半型作り痕残す。
P-9	在土土器 焙烙	埋土下層	小片	器高5.3	◎黒色磁物を含む。◎ ◎内外黒褐色 5 YR3/1、断面明褐色 灰色5 YR3/1	外面紐作り痕残る。体部外面下半型作り痕残す。内面耳の張り付け痕残る。耳は欠損。
P-10	在土土器 焙烙	埋土下層	小片	器高5.3 口径(36.3)	◎黒色磁物を含む。◎ 普通 ◎内外黒色 10YR1.7/1、断面灰 黄色2.5Y7/2	外面紐作り痕残る。体部外面下半型作り痕残す。体部外面漆付着。
番号	器種	出土位置	寸法 長さ×幅×厚さ(cm)	木取り	特徴	登録 番号
W-1	栓状木製品	埋土	16.4×直径：1.6	丸木	細い丸木を使用した棒の一端にくびれを削り出す。	100
W-2	栓状木製品	埋土	16.5×直径：1.7	丸木	細い丸木の一端に穴を開け、他端はくびれを削り出す。くびれ部は摩滅している。	102
W-3	用途不明	埋土	8.5×直径：3.2		節を抜いた短い竹にぼぞ穴をあけている。	99
W-4	漆碗	埋土		横木	内外面朱漆。体部外面下位は髹をなす。	103
W-5	容器底板	埋土	直径：19.7×厚さ：1.1	おい疋、板目	2枚の木取りの異なる板を木釘で合わせて円形とする。	98
W-6	容器底板	埋土	直径：20.0cm×厚さ：1.0cm	おい疋	2枚の板を木釘で合わせ、円形の板としている。表面には万動輪が認められる。	97
W-7	容器底板	埋土	直径：18.5×厚さ：1.0	おい疋	欠損部に木釘が2本認められ、2枚の板を合わせて円形にしていたと考えられる。同一箇所から割った竹が出土しており、桶・樽の可能性が考えられる。	83

標島川端 2区4号井戸(1)

番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(cm)	胎土・焼成・色調	特徴・その他
P-1	瀬戸・美濃陶器 碗	埋土	口縁1/2欠	器高5.2 口径10.4 底径4.1	◎普通 ◎灰黄色	高台内まで施釉。軟輪と灰輪の掛け分け粥。9片接合。
P-2	瀬戸・美濃陶器 すり鉢	埋土下層	小片	口径(31.0)	◎普通 ◎灰黄色 2.5Y8/4断面	口縁部下位外面凹縁状に窪ませる。口縁部肥厚する。4片接合。

標島川端 2区4号井戸(2)

番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(cm)	胎土・焼成・色調	特徴・その他
P-4	瓦	埋土下層	破片	幅10.2 厚さ2.3	④黒色灰物含む。⑤やや不良 ⑥灰白色	製斗瓦か。両木口欠損。片方の側面には削り面が認められる。
S-1	石臼	埋土	挽き手部	孔3.1 厚さ9.2 重さ4,670g	粗粒輝石安山岩	埼玉北部から群馬県にかけて分布する。挽き手穴を外周に作りつける上臼。
S-2	石臼	埋土	1/2	直径33.7 厚さ15.2 重さ8,654g	粗粒輝石安山岩	下臼。すり目は磨滅する。

標島川端 2区5号井戸

番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(cm)	胎土・焼成・色調	特徴・その他
P-1	在土土器 焙烙	埋土下層	口縁小片		④黒色灰物含む。⑤青濁 ⑥器表黒灰色、断面灰白色	外面下半部作り時の痕跡明確に残す。口縁部から体部内面回転軸で調整。

標島川端 21区4号井戸

番号	器種	出土位置	寸法 長さ・幅・厚さ(cm)	木取り	特徴	登録番号
W-1	漆椀	下層		横木	内面朱漆、外面黒漆仕上げ。底部外面には朱漆で屋号を記す。底部厚く、高台欠損する。	92

標島川端 21区9号井戸

番号	器種	出土位置	寸法 長さ・幅・厚さ(cm)	木取り	特徴	登録番号
W-1	漆椀	底面		横木	器壁が薄く、体部外面下位に腰を有する。内面朱漆、外面褐色の漆仕上げ。	93㉔
W-2	漆椀	底面		横木	高台から底部外、口縁部面欠損する。内外面朱漆仕上げ。体部下位腰を有する。	93㉕

標島川端 6区遺構外

番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(cm)	胎土・焼成・色調	特徴・その他
M-1	鉄滓 塊状滓	表土	ほぼ完形	長さ5.4 幅5.7 厚さ2.5		碗状を呈し、下部には炭化物を挟む。

標島川端 20区遺構外

番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(cm)	胎土・焼成・色調	特徴・その他
P-1	在土土器 香炉	ピット111	口縁片	口径(11.6)	④夾雑物ほとんど含まない。⑤良好 ⑥灰色7.5Y5/1	外面の器表は瓦のような色調と光沢を有する。口縁部外面には菊花状の押印を巡らす。口縁部内湾する。中世の所産である。
P-4	在土土器 焙烙	3号周溝基 付近	一部欠	器高5.7 口径34.9	④灰物含む。⑤やや軟質 ⑥黒灰色から黄褐色	体部と底部の境は丸みを帯びて移行する。凡疋。耳は3カ所に貼り付ける。出土時には残存していた2カ所の耳に針金が付けられていた。耳には針金によって吊っていた際に生じた擦れが認められる。明治～昭和の所産である。
P-5	在土土器 香炉	ピット118	口縁片		④夾雑物ほとんど含まない。⑤良好 ⑥灰色7.5Y6/1	内外面の器表は瓦のような色調と光沢を有する。口縁部外面には菊花状の押印を巡らす。口縁部内湾する。口縁部外側には菊花状の押印を巡らす。口縁部外側には内側に小さく折り返す。中世の所産である。

公田東 I区遺構外

番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(mm)	特徴・その他
M-1	寛永通寶	表土	完形	外径22.8～22.9、内径18.8～18.7	銅、1文銭。
M-2	寛永通寶	表土	完形	外径21.7、内径17.0～17.5	銅、1文銭。
M-3	寛永通寶	表土	完形	外径28.0～27.8、内径21.0～21.2	4文銭。背11枚。

公田東 II区

番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(mm)	特徴・その他
M-2	寛永通寶	表土	完形	外径27.9、内径20.2	4文銭。背11枚。やや重む。
M-3	寛永通寶	表土	一部欠損	外径24.4～24.5、内径19.2	銅、1文銭。

公田東 Ⅲ区

番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(mm)	特徴・その他
M-1	寛永通寶	表土	完形	外径25.2～25.1、内径19.8～19.7	文銭。文銭。
M-2	寛永通寶	表土	完形	外径23.7～23.8、内径～	銅、1文銭。
M-3	寛永通寶	表土	2/3	計測不可能	文銭。古寛永。

公田池尻 5区

番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(mm)	特徴・その他
M-1	寛永通寶	表土	完形	外径23.7～23.8、内径19.3～19.4	銅、一文銭。

公田池尻 8-3区

番号	種類・器種	出土位置	残存状態	計測値(mm)	特徴・その他
M-1	寛永通寶	表土	一部欠損	計測不可能	銅、1文銭。

公田池尻 9区遺構外

番号	種類	出土位置	残存状態	計測値(cm・g)	材質	特徴・その他
S-5	不詳	表土	1/2か	長さ6.8 幅7.4 厚さ3.1 重さ17g	玉髓	表面は摩滅して丸みを帯びる。遺跡地において認められる石材ではなく、目的をもって搬入されたものであるが、用途は不明。
S-6	火打石	表土	完形	長さ2.55幅2.15 重さ8g	玉髓	2か所を使用する。大ききから携帯用火打金に使用された石であろう。

報告書抄録

ふりがな	ぬでしまかわばたいせき・くでんひがしいせき・くでんいけじりいせき											
書名	榑島川端遺跡・公田東遺跡・公田池尻遺跡											
副書名	主要地方道前橋長瀬線道路改築(改良)工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書											
巻次	第2集											
シリーズ名	(財)群馬県埋蔵文化財調査事業団発掘調査報告書											
シリーズ番号	第225集											
編著者名	下城 正、追川佳子、大西雅広、佐藤明人、藤巻幸男、右島和夫、齋田康成、横山千晶											
編集機関	財団法人 群馬県埋蔵文化財調査事業団											
所在地	〒377-8555 群馬県勢多郡北橋村大字下箱田784-2 ㊟ 0279-52-2511											
発行年月日	1997年3月25日											
ふりがな	ふりがな	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因				
所収遺跡名	所在地	市町村	遺跡番号	° ' "	° ' "		m ²					
ぬでしまかわばた	まえばしし ぬでしま ま	10201		36° 20'	139° 7'	19900101~ 19960329	24,876	道路改良工事に伴う事前調査				
榑島川端	ち・くでん			40'	30'	詳細は例言参照	7,375					
くでんひがし	まち・かみ											
公田東	さとりまち											
くでんいけ	前橋市榑島											
じり	町・公田町											
公田池尻	・上佐島町						12,520					
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物		特記事項						
榑島川端	集落	弥生後期	弥生以降竪穴住居	弥生土器		幕末の良好な一括資料が出土。						
	生産	古墳	古墳前期周溝墓	土師器、須恵器								
	墓	奈良・平安	古墳以降水田・畠	中世陶磁器、石臼								
		中世	中世環壕集落	近世陶磁器、石臼、砥石								
公田東	集落	近世	中世火葬所	中世火葬骨		前方後方形周溝墓が調査され、溝から良好な土器群が出土した。鶏形土製品も出土。						
		近世集落										
		古墳	古墳前期周溝墓	土師器底部穿孔壺など								
		奈良・平安	古墳以降竪穴住居	土師器、須恵器								
公田池尻	集落	古墳	古墳以降竪穴住居	土師器、須恵器		初期貿易陶磁(白磁)片1点出土。						
									奈良・平安	古墳以降水田・畠	中世陶磁器、石臼	
									中世	中世環壕集落		



群馬県埋蔵文化財調査事業団発刊調査報告書第225集

標島川端遺跡

公田東遺跡

公田池尻遺跡

〈本文編〉

〔主〕前橋長井線遺跡改修(改良)工事に伴う埋蔵文化財発見調査報告書第2集

平成9年(1997年)3月20日印刷

平成9年(1997年)3月25日発行

編集／群馬県埋蔵文化財調査事業団

〒377-8585 群馬県勢多郡北碓村大字下碓田784番地の2

電話(0279)52-2511(代表)

印刷／上毎印刷工業株式会社
